

まちの「将来像」に関する町民アンケート 調査報告書

－第三次大山町総合計画策定に向けて－

令和7年1月

大 山 町

目 次

I	調査概要	P1
II	調査結果	P2
	・ 回答者の属性	P2
	・ 大山町の将来像	P3
	分野別回答の概要	P4
	将来像を表すキャッチフレーズ	P10
	・ まちづくり全般	P12
資料	大山町の将来像について個別回答	P13
	①教育・子育て	P13
	②文化・芸術	P22
	③産業・雇用	P28
	④保健・医療	P35
	⑤福祉・人権	P41
	⑥移住・定住	P45
	⑦道路・水道	P50
	⑧ごみ・資源	P55
	⑨情報通信	P59
	⑩公共交通	P63
	⑪エネルギー	P67
	⑫自然環境	P70
	⑬防犯・防災	P75
	⑭地域自主組織	P79
	⑮住民参画	P83
	⑯その他	P86

《調査概要》

■ 調査目的

概ね10年後を見据えて大山町が目指す方向性を検討するため、住民の皆様が考える将来像（こうなってほしいまちの姿）をお伺いし、第三次大山町総合計画策定のための基礎資料に活用するものです。

■ 調査対象

令和6年4月1日時点で満18歳以上の大山町民2,000人を抽出

■ 調査方法

郵送により調査票を配布し、郵送による調査票の返送またはとっとり電子申請サービスによる回答により収集

■ 調査期間

令和6年8月26日～令和6年9月25日

■ 回収状況

回収数 243票（うち 用紙194票 電子49票） 回収率 12.15%

Ⅱ 調査結果

回答者の属性について

回答区分	(3) 全体	Q1-1 男性	Q1-2 女性	Q1-3 未回答	Q1-4 無回答
件数	243	102	136	3	2
割合	100.00%	41.98%	55.97%	1.23%	0.82%

回答区分	(12) 全体	Q2-1 18～24歳	Q2-2 25～29歳	Q2-3 30～34歳	Q2-4 35～39歳	Q2-5 40～44歳	Q2-6 45～49歳	Q2-7 50～54歳	Q2-8 55～59歳	Q2-9 60～64歳	Q2-10 65～69歳	Q2-11 70～74歳	Q2-12 75歳以上	Q2-13 無回答
件数	243	13	10	9	21	18	15	17	22	24	23	30	40	1
割合	100.00%	5.35%	4.12%	3.70%	8.64%	7.41%	6.17%	7.00%	9.05%	9.88%	9.47%	12.35%	16.46%	0.41%

回答区分	(10) 全体	Q3-1 大山地区	Q3-2 所子地区	Q3-3 高麗地区	Q3-4 御来屋地区	Q3-5 名和地区	Q3-6 庄内地区	Q3-7 光徳地区	Q3-8 上中山地区	Q3-9 下中山地区	Q3-10 逢坂地区	Q3-11 無回答
件数	243	42	36	20	16	22	21	23	14	18	29	2
割合	100.00%	17.28%	14.81%	8.23%	6.58%	9.05%	8.64%	9.47%	5.76%	7.41%	11.93%	0.82%

大山町の将来像について

Q 4	①～⑮の分野ごとに、大山町で大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）をご記入ください。また、概ね10年後の大山町はどんなまち（将来像）になっていてほしいと思うかご記入ください。さらに、思い描いた大山町の将来像を実現するために、あなたご自身にできると思うことがあればご記入ください。
-----	--

設問【1】	大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）
設問【2】	10年後の大山町の将来像（こうなってほしいまちの姿）
設問【3】	思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

回答区分		記述回答数			回答率		
		【1】	【2】	【3】	【1】	【2】	【3】
①	教育・子育て	134	151	106	55.14%	62.14%	43.62%
②	文化・芸術	114	88	74	46.91%	36.21%	30.45%
③	産業・雇用	118	132	82	48.56%	54.32%	33.74%
④	保健・医療	102	112	103	41.98%	46.09%	42.39%
⑤	福祉・人権	68	82	63	27.98%	33.74%	25.93%
⑥	移住・定住	83	93	65	34.16%	38.27%	26.75%
⑦	道路・水道	82	96	67	33.74%	39.51%	27.57%
⑧	ごみ・資源	64	76	70	26.34%	31.28%	28.81%
⑨	情報通信	60	84	56	24.69%	34.57%	23.05%
⑩	公共交通	65	93	49	26.75%	38.27%	20.16%
⑪	エネルギー	53	62	45	21.81%	25.51%	18.52%
⑫	自然環境	89	86	66	36.63%	35.39%	27.16%
⑬	防犯・防災	79	75	55	32.51%	30.86%	22.63%
⑭	地域自主組織	64	61	58	26.34%	25.10%	23.87%
⑮	住民参画	45	44	39	18.52%	18.11%	16.05%
⑯	その他	30	29	19	12.35%	11.93%	7.82%

※回答率はアンケート調査回答者数 243 に占める記述回答数

一分野別回答の概要

①教育・子育て

設問 【1】	教育分野では、将来を見据えた教育を重視している方が多く、大きく分けて英語教育・ふるさと教育、大人も子どもも学習や活動にチャレンジできる環境や制度のふたつでした。子育て分野では、地域の取り組みに参加する機会や自然とのふれあい、子育て支援・経済的補助などを現状のまま未来に残したいなどが挙げられました。
設問 【2】	進学や就職で県外に出ても、将来的に大山町に住みたいと思えるまちになっていることが多く挙げられていました。安心して子育てができることや町全体での子育てのサポートがあるほかに、図書館・コミュニティスペースなどの公共施設と英語教育の充実が挙げられました。
設問 【3】	自分自身でできることについては、子どもたちに大山町の地域の行事をはじめ、スポーツやボランティアなどの様々な活動を行い、魅力を伝えることが挙げられました。

②文化・芸術

設問 【1】	文化分野では大山寺周辺などの歴史的文化財が特に多く挙げられました。そのほかに、絵などの芸術、公民館活動やサークル・祭りなどの地域の集まり、図書館や紹介冊子の充実などが挙げられました。
設問 【2】	公民館での文化教室や講座、作品や音楽などの発表の場が人々の交流の場となって、今よりもアートがより身近にあり、生活の中に溶け込んでいる存在となっていることが挙げられました。
設問 【3】	歴史や文化を伝えるほか、公民館などでイベントやボランティアに積極的に参加するなど、文化・芸術を通じて交流と発展を図ることが挙げられました。

③産業・雇用

設問 【1】	産業・雇用の分野は大山町の自然を活かした農業・漁業など第一次産業を生業にしていることが幅広い年代から挙げられました。未来に残していきたいところでは、大山ブランドを育成し全国規模に発展することで、今より若手の担い手を増やすことや工業団地の優良な企業の充実が挙げられました。
-----------	---

設問 【2】	第一次産業の農業・水産業などの後継者や農林水産業を志す若者が安心して働ける環境であること、それ以外の様々な分野の仕事も受け入れ、若者が就きたい職種の選択肢を増やすことが挙げられました。一方で第一次産業のほかに、ITや情報通信の業種が来られる環境があればよいという意見も挙げられていました。
設問 【3】	キャリア育成などを通じて若い世代に農業や漁業の魅力を伝えたり、担い手の育成、技術指導に協力したりするとったことが挙げられました。

④保険・医療

設問 【1】	地域に根付いた保健・医療施設があり、かかりつけ医などの必要な医療と介護の提供ができていることが挙げられていました。今後も残していきたいところとしては、気軽に参加できる運動環境やプログラムがあり、健(検)診や小児医療費の無償化がされていることが挙げられました。
設問 【2】	10年後の将来像としては、地域コミュニティのつながりが太く、健康と医療が充実し、子どもから高齢者、障がい者などみんなが住みやすいまちになってほしいと挙げられました。
設問 【3】	将来像の実現のためには、バランスのよい食事と運動を心掛けて病気の早期発見と予防に努める、地域活動の場を作って家族や地域への声掛けをして積極的に参加する、健康管理に努めるという方が多くおられました。

⑤福祉・人権

設問 【1】	大事にしたいところは、お互いを尊重しあい、誰もが自分らしく生きられる支えあいのまちであることが多く挙げられていました。また、高齢者施設や福祉サービスなどの充実、子どもの頃からの人権教育や講演会の重要性を挙げられる方も多くおられました。
設問 【2】	将来像としては、差別や偏見がなく、一人ひとりが安心して楽しく元気で自分らしく住みやすいまちが全年代から挙げられていました。福祉の分野では、高齢者や認知症のある人にとって交通の便がよく、買い物などの外出を気兼ねなくできるよう支援する仕組みが充実していることなどが挙げられました。
設問 【3】	将来像の実現に向けては、いろいろな人の意見や価値観に触れて視野を広く持ち、セミナーなどで時代に合った人権感覚を学ぶことが挙げられました。

⑥移住・定住

設問 【1】	大事にしたいところは、移住定住の際のサポートや助成金があるところ、空き家バンクで空き家を活用できるところが挙げられました。
設問 【2】	将来像では、これ以上空き家が増えず、今ある空き家を利用して移住者が増えるまちが挙げられました。
設問 【3】	実現に向けては、地域の行事で移住者と積極的に交流し移住者の定住を図ることが多く挙げられました。

⑦道路・水道

設問 【1】	大事にしたいところは、道路と水道のインフラが充実しており、きれいでおいしい水が飲めるところが多く挙げられました。
設問 【2】	10年後の将来像は、道路分野では今より街灯が増えて明るくなり、インフラの充実や除雪等によって通行がしやすいように道路が整備されていることが挙げられました。水道分野では、上下水道の料金が値上げされておらず、現状のままおいしい水が飲み続けられるまちであってほしいと挙げられました。
設問 【3】	実現に向けては、道路の草刈りをして景観を守ることが全年代から挙げられました。水道の分野では水の資源を大事にするために節水し、排水は食器の油物等を拭き取ってから流すようにすることが挙げられました。

⑧ごみ・資源

設問 【1】	大事にしたいところは、全年代からごみの分別に取り組んでいるところが挙げられました。資源の再利用とコンポストによる生ごみの削減なども挙げられました。
設問 【2】	10年後の将来像としては、リサイクルや再利用の促進が多く挙げられました。ほかにも不用品の交換場所が設置されており、資源ごみの回収場所と回収頻度が増加しているなども挙げられました。
設問 【3】	実現に向けては、すべての年代からごみを出さないようにしてリサイクルする、ごみを捨てる際は分別をしっかりとすることが多く挙げられたほか、不要な物は買わないなども挙げられました。

⑨情報通信

設問 【1】	大事にしたいところでは、防災無線や大山チャンネルなどの情報発信の手段が充実していることがすべての年代から挙げられました。
-----------	--

設問 【2】	10年後の将来像としては、役場にオンラインで行かなくても手続きや申請ができるようになることが全年代から挙げられました。また、情報リテラシーが勉強できることやネットワークの充実、デジタルに苦手意識のある人が取り残されないようにデジタル機器の教室が開催されるようになっていることが多く挙げられました。ほかにも進学や就職で県外に出た若者に向けて、地元に戻りたいと思える情報発信がされていることなども挙げられました。
設問 【3】	実現に向けては、手続き・申請のオンライン化、デジタルに苦手意識のある人を減らすためにデジタル機器の講習会などのサポートを行うこと、ネットリテラシーを学ぶことが挙げられました。

⑩公共交通

設問 【1】	町内に5つの駅とバスがあること、片道100円で乗車できるデマンドバスがあるところが挙げられました。
設問 【2】	10年後の将来像としては、運転免許の返納後や高齢者・子どもが利用しやすい公共交通が確立されていることが多く挙げられました。町内だけでなく、町外への移動ができるまちになり、ライドシェアが拡大していることや大山町にあるタクシー会社の存続することなども挙げられました。
設問 【3】	実現に向けては、バスや電車などの公共交通を利用しつつ、デマンドバスも利用することが挙げられました。

⑪エネルギー

設問 【1】	町民の省エネ意識が高く、自然資源を守りつつ自然エネルギーを利用しているところが挙げられました。
設問 【2】	10年後の将来像としては、自然エネルギーによる環境にやさしいまちになっていることが挙げられました。
設問 【3】	実現に向けては、省エネ器具・家庭用発電設備等の導入でエネルギー・資源の無駄使いを減らすことが挙げられました。

⑫自然環境

設問 【1】	大山・海・田園風景があり、おいしい水が飲めることがすべての年代の方から挙げられました。
設問 【2】	10年後の将来像としては、自然を活かしつつ、便利になって住みやすいことが挙げられました。

設問 【3】	実現に向けては、町外に大山町の魅力を伝えることが多く挙げられていました。また、ごみを減らす、ごみを拾うなどの人の手による管理を重視する意見も多くありました。
-----------	--

⑬防犯・防災

設問 【1】	大事にしたいところは、災害が少ないことがあげられました。防犯分野では、子どもたちの防犯意識を高める教育、地域で子どもを見守る活動や環境など、防犯対策の徹底による安全なまちづくりが挙げられました。
設問 【2】	10年後の将来像としては、災害が起きた時の避難所や避難先の備えが充実していて、シェルターや避難の仕組みができていることが挙げられました。また治安がよく、一人ひとりに居場所や人のつながりがあり、社会に自分の役目があることなども挙げられました。
設問 【3】	実現に向けては、ハザードマップによる避難所や避難ルートの確認が多く挙げられていました。アウトドアの経験などを通して、いざという時に行動できるように備えるほか、普段から身近な人とコミュニケーションをとる、近所づきあいや地域活動に参加してつながりを作るといった重要性も挙げられていました。

⑭地域自主組織

設問 【1】	大事にしたいところは、住民のために主体的に活動し、地域を盛り上げてくれる人が多いところが多く挙げられていました。いつでも誰でも活動に参加やチャレンジできる場が用意されていること、地域自主組織同士のつながりも増え、活動を盛り上げて集落活動の維持に励んでいるところが挙げられました。
設問 【2】	10年後の将来像としては、地域の困りごとが相談・解決できるまちが多く挙げられていました。人と人のつながり、協力や助け合いができることを重視する方が多くおられました。集落ではできない活動を地域自主組織が補うことで、子どもや若い人が参加できる行事・イベントがあるまち、高齢者が安心して暮らせるきめ細かい活動ができるまちなどが挙げられました。
設問 【3】	実現に向けては、地域活動や草刈り、イベント・ボランティアなどに参加することが全年代で挙げられました。多様性を受け入れて思いやりを持ち、集落で話し合いを行うことや、地域住民の活動の場として地域自主組織で企画の立案や評価、改善を行うこと、積極的に仲間づくりを行うことなども挙げられました。

⑮住民参画

設問 【1】	大事にしたいところは、地域行事・イベント・自治会活動を通してまちに意見を言える仕組みがあるところが挙がりました。また、テゴテゴプロジェクトや中学生議会の開催などで町政を知り、まちに関わる機会があることなども挙げられました。
設問 【2】	10年後の将来像の回答では、誰でもイベントに参加できること、まちづくりに関わる一人だと実感できることが挙げられました。また、意見など言いたいことが言えるようになることも挙げられました。
設問 【3】	実現に向けては、まちの様々なことに関心を持つこと、イベントや自治会の活動に参加して社会に加わり、人とのつながりを作ることなどが挙げられました。

Q 5

概ね10年後の大山町の将来像（こうなってほしいまちの姿）を一言で表すとどんな言葉がいいと思いますか。キャッチフレーズがあればご記入ください。

個々の回答を要旨に分けると、自然、住みやすい(暮らしやすさ)、共存(共生)、のんびり(のびのび)、住み続け、健康、子育て、子どもの声、楽しさ自給率といった言葉が多くみられ、暮らしやすさや住みやすさを連想する回答が多くありました。

- 伝統と革新が共存するまち
- 健康で豊か、イキイキと笑顔で安心して暮らせるまち
- 地産地消のまち
- 人が減らない町
- 多国籍の町大山町
- 住みたい、住み続けたいと思えるまち
- 誰もが生き生きするまち
- 自然と共存
- 大自然が多くて住みよい町へ
- 子供たちが大人になっても住み続けるまち
- 仲間の輪で助け合う大山町
- 子供の声が聞こえる町
- 安心安全の平和なまちへ
- 屋外で多くの人に出会える町
- 遊びに来てね大山町へ
- 誇り続ける永久不滅の町へ
- 田園風景の中のベッドタウン
- 楽しさ自給率の高いまちへ
- 自然と共に子供を育てる
- 魅力いっぱい、住みたいまち
- あたたかく親切的なまちへ
- 暮らし創造、変わらぬ安心の町
- 農業で利益をあげれる町へ
- 人間らしく生きる大山町
- 自然豊かな大山町
- 神の棲む山（大山）
- 活気のある町
- 子供の笑い声が絶えないまち
- 楽しさ自給率の良い町をお願いします
- 風通しの良い町
- 自然満喫、笑顔あふれる町
- 穏やかな時間が流れる町
- 生活しやすいまち(老人でも、一人暮らしでも)
- のんびり過ごせるまち
- 0才からのびのび楽しく過ごせる大山町へ
- 遊べ大山、見ろ大山、登れ大山
- 楽しさ自給率の高い町へ
- 日本海と大山に30分以内に行ける町
- 自然を自然のままに受け入れ、不便のままに楽しめる感性の育成
- 大山町1番
- 子ども含むのびのびとした生活ができるように
- 平和なまち
- 田舎でも住みやすいまち
- 自然と生きる大山町

- 人を大切にするまち大山！
- 子供、高齢者の住みやすいまちへ
- 百万一心
- のんびりと一人ひとりが光ってるまち
- 豊かな自然と共生するまちへ
- とびぬけてなくていいから不足のない町
- イベントのある時は参加して、知人が多く出来る様に明るい町でありたい
- 全住民へやさしい町
- 自然多き、楽しい町、生活力有る町
- 老いも若きも参加の町
- 気持ちの良い挨拶ができる人が多い町に
- 子供の声がたくさん聞こえる町
- すみやすい町大山
- 人生 100 年時代健康第一に！
- 海、山。人と共存する町
- いつまでも変わらない町大山へ
- おいしい農作物や水産物があるまち
- 自然との協生ができるまちへ
- パワーと安らぎのある町
- 文化的な街だなあー
- 公共空間がきれいな町だなあー
- ガンになっても安心して暮らせる町
- 生活しやすい町に
- 住み続けたい町No.1
- 安全、健康、豊かな安定した町
- スローライフを楽しむ
- 良い空気公害のない町、安全な食が出来る町
- みんなにこにこ健康な町
- 自然と共に成長する大山町
- 誰一人取り残さない誰もが輝くまちへ
- 地球にやさしい生活をおくるまちへ
- 住んで良かった、誰もが住みたいまち
- 私は大山町に暮らして悪玉コレステロールが半分になりました！
- 人柄、風景、空気の良さがいつまでも続きますように
- だれもがいきいきとくらせる町
- We love Daisen.
- 心を広げる豊かな町
- 日本に大山あり 大山とともにあゆんで、日本の拠点に
- こどもも大人も無理なくみんな楽しく過ごせるまちへ
- 誰もが安心して住めるまち 住みやすく訪れやすい街
- ハッピーだいせんちょう！
- つよい町 ダイセンここにあり
- 明るい、行ってみたい町
- 若者が暮らしやすいまちづくり
- 歴史とトレンドのまち
- やりたいことが実現するまち
- 魅力ある田舎づくり
- 子どもが元気に育つまち
- 移住者が魅力を感じるまち
- 移住者増加
- 子供が豊かに育つ町
- 子どもも大人も楽しめるまち
- 「暮らし」にこだわる豊かなまち わくわくを生み出すまち
- 人口が減っても元気なまち
- 自然を愛で、学び、共生するまち
- 子どもを大事に育てる町日本一
- Be together!あなたとわたしと大山さん
- I am here in Daisen. I am happy in Daisen.
- おいで ただいま 大山町
- 次は大山町へ！！
- 皆で作る笑顔自給率の高いまち
- 自然豊かな大山路

まちづくり全般について

Q 6

これからのまちづくりに向けて、改善すべきと思われる点や力を入れるべきと思われる点など、ご意見がありましたらご記入ください。

町政運営全般について、135 人が意見を記入されました。内容により 206 件の意見に分け、39 の項目に分類しました。

■項目別の意見数

1	子育て支援に関すること	14 件	21	道路管理に関すること	2 件
2	学校教育・学校施設に関すること	4 件	22	空き家・空き地に関すること	7 件
3	人権・多様性に関すること	4 件	23	土地利用に関すること	2 件
4	農林水産業に関すること	9 件	24	人口減少対策に関すること	5 件
5	商工振興に関すること	4 件	25	移住・定住に関すること	7 件
6	企業支援・起業支援	5 件	26	住宅整備・宿泊施設に関すること	2 件
7	雇用・企業誘致に関すること	6 件	27	遊び場・集いの場に関すること	2 件
8	地域経済に関すること	3 件	28	デジタル推進に関すること	1 件
9	観光振興に関すること	7 件	29	SDGs に関すること	2 件
10	健康維持に関すること	1 件	30	行財政運営に関すること	18 件
11	高齢者福祉に関すること	10 件	31	アンケート調査に関すること	11 件
12	障がい者福祉に関すること	2 件	32	行政組織・職員に関すること	4 件
13	介護支援に関すること	3 件	33	行政サービスに関すること	3 件
14	交通対策に関すること	3 件	34	公共施設に関すること	3 件
15	交通安全・防犯に関すること	4 件	35	政策立案に関すること	8 件
16	エネルギーに関すること	3 件	36	情報発信に関すること	11 件
17	環境保全に関すること	3 件	37	住民参画に関すること	6 件
18	地域資源に関すること	5 件	38	地域コミュニティに関すること	6 件
19	ごみ処理・削減に関すること	5 件	39	まちづくり全般に関すること	7 件
20	生活の利便性向上に関すること	5 件	合計		206 件

資料 大山町の将来像について個別回答

①教育・子育て

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■若者や移住者、地域住民などがチャレンジできる場（環境）があること。 ■学ぶ場が子どもの身近にある。 ■学校、保護者、地域住民が一体となって子育てをするところ。 ■子供の交通安全の見守り。 ■農業体験。 ■子育て支援、ボランティア活動。 ■地域の方々との交流が盛んで、一緒になって昔ながらの伝統行事や風習を伝えていける環境。 ■子供への支援。 ■給食費・定期券補助、高校生までの保険料カバーなどサポートが充実しているところ。 ■自然豊かな安全な環境で体を動かしながら成長できるところ。 ■給食が無償なところ。
25 歳～29 歳	■子供たちが自然や動物と触れ合える体験ができることを増やせたらいいと思う。 ■自然でのんびりした環境。 ■教育支援（お金）。 ■地域一帯で温かく子供たちを見守っていける環境。 ■地域で子育てをする姿勢、教育に力を入れる（給食費補助など）、子どもが活躍できるような祭りなど、子どもをたいせつにできる町。 ■地域全体的に子育てを人達の支援。 ■子育てサポートをきちんとしてるところ。 ■中学生の短期英語留学があるところ。子供にとっても視野が広がり、自分の経験にもつながるので、これからも残していくべきだと思います。 ■家庭保育支援給付金があるところ。妊娠、出産と費用がかさむので給付金の存在は大きかったです。
30 歳～34 歳	■地域全体で子育てをサポートするところ。 ■教育費が必要最低限しかかからないところ。保育料の無料年齢引き下げや小中学校の給食費無料など。 ■保育園の無償化や祝い金など子育てに手厚いところ。 ■のびのび過ごせる教育。 ■子どもの医療費無料や、助成金等は非常に助かっています。次の世代を増やすためにも最優先になると思います。
35 歳～39 歳	■学校や公園、グラウンドといった子育てに必要な施設。 ■子育てに関する金銭的補助、手当。 ■ふれあい会館、子育ての旅、充実した今の保育所。 ■地域全体で子育て（特に障がい児を育てる親）をサポートするところ。 ■豊かな自然、子供を育てることへのサポート。 ■給食費は無料だと助かります。 ■周囲の大人が子どもを大切にすること。 ■小学校でのボランティアさんとの交流。 ■地域とのつながり。 ■子育てに負担が少なく、親も子も健やかに過ごせるところ。 ■子育てサポートに手厚いところ。 ■子育て支援センターで子ども同士はもちろん親の交流もできて助かる。 ■豊かな自然の中で子どもが伸び伸びと育つところ。 ■地域の運動会。 ■豊かな自然の中で、のびのびと子育てできるところ、子育て支援が充実しているところ（給食費の補助など）。 ■挨拶をする。
40 歳～44 歳	■素直で純粋な人づくり。 ■自然にたくさんふれて、イキイキと子供らしく、伸び伸びとした環境。 ■地域とのコミュニケーション。

40 歳～44 歳	■大山町だから受けられるサポートがいくつかある所は本当助かっています（補助等）。 ■教育支援が充実しているところ。 ■ふるさと教育、子育て中の補助が手厚いところ。（保育料、教育費、授業料、通学費 等） ■こどもは未来なので、教育を充実させたい。防災に力をいれ、安全なまちづくりをしたい。 ■外国や他県との交流。 ■地域で見守ること。 ■英語教育。 ■子どもが安心して遊べる環境。 ■自然（子どもが遊べれる場所など）大山町の農業（おいしい食べ物） ■自然が身近な環境、自然環境を利用した保育や学校活動。
45 歳～49 歳	■国際交流、沖縄交流、給食費無料、教材費補助など教育子育てのサポート。 ■子育てを相談できるところ。 ■保育園の土曜保育の見直し、親が働いていなくても子供を保育園に預けられる制度を取り入れていないところを早く取り入れる。 ■子育てや高齢者に対する金銭的な支援の充実。 ■子ども、大人関係なくみんなが助け合えるところが増えるようにしたい。 ■第一次産業。 ■英語教育に力を入れているところ、保育園から大山賛歌を歌うので町歌に親しんでいるところ、給食費・教材費などの補助があるところ、保育園から中学校まで連携しているところ。
50 歳～54 歳	■子供たちの成長、やりたい気持ち、機会を応援するところ（高校、大学進学への援助、資格取得の援助等）。 ■保育料などの無料サポート。 ■子育て環境の良さ、自然のあるところでの子育て。 ■子供に優しいところ。 ■子育てしやすい環境、助成。 ■保育所や小学校のグラウンドの芝生など、緑を大切にしているところ。 ■少子化につき、各子供の個性を育てていけるような取り組み。 ■町全体でのサポート。 ■地元を愛する気持ち。 ■給食費や定期代等、負担を少なくしていただけるところ。 ■中学までの給食の無償化がありがたい。 ■給食がおいしい。 ■個別の困り感に寄り添ったサポート、柔軟な対応をしてもらえる可能性が市と比べて高いところ。 ■待機児童がいない？ところ。 ■小中学校の奉仕作業等、地域で学校を支えているところ。
55 歳～59 歳	■町で子育てサポートあれこれすごいと思います。 ■読み聞かせボランティア。 ■この地域でしかできない体験ができる。自然、山、海。 ■大山の中での子育て。 ■地域とのつながり。 ■小学校行事のスキー教室、登山。 ■きれいな水、空気、山、海、川などの人が安心して住める環境。 ■地域で助け合うところ。 ■現在ある保育施設の拡充、整備、遊び場の拡充。 ■地域で横断歩道の前で車を停めて子供たちの列がすぎると、振り返って「ありがとうございました！」と言う習慣があるところ。
60 歳～64 歳	■子供会の活動、幼児へのサポート。 ■学校、家庭で子供を育てる。 ■地域で子育てをサポートしてくれるところ。 ■放課後児童クラブがあるところ。 ■一人一人の子供たちの笑顔を守る。それぞれの個性を尊重し、長所を伸ばしてあげる。 ■中学校までの教育はたいへんよい。 ■保育料の無償化の継続。 ■都会と比べて世帯人数が多いので子育てのサポートが受けられるところ。 ■子供を大切にするのは良いですが 腫れ物に触るような行動になってる気がする。 ■スクールバスの運行。

60 歳～64 歳	■子育て支援が手厚いところ（保育料が他町村より安いと評判）。 ■学校教育設備（ソフト面ハード面共に）が充実しているところ
65 歳～69 歳	■他の市町村より充実していると思う。利用者は少ないが。 ■子供たちの力を信じ、地域活動への参加を促すところ。 ■児童クラブがあり、母親が勤めることができる。 ■自然が豊かな所。 ■温かい心でつながる人間関係、美しい自然。 ■楽な子育てができる環境。 ■子どもたちへの貴重な体験、交流活動の提供。 ■合併問題、これ以上統合すると通学が困難になり過疎化が進みます。 ■教育、子育ての前提としては子供の減少を食い止めて、子供の人数を増やすことを目標とする。大山町で実施中の子育て支援制度を他より特徴を出して、もっと魅力をアップする。（ブラッシュアップをしていく） ■給食の無料化など助成制度が充実している。 ■大山を始めとするこの自然。 ■地域全体で見守りをするとところ。
70 歳～74 歳	■安心して生める、育てられる。（出産、育児、小中学生補助） ■自然、人を大切にするとところ。 ■児童館。 ■自然を生かした子育てができる町。 ■大山町は子どもたちの教育、子育てに関してのサポートはすばらしい。 ■学校に行くための通学路の充実、西小学校に行くのに 1 km 位歩いて行くが、屋根なし、かべなしなど対策の検討が必要。カバンが重い、教科書などを学校に置く様にすれば楽になる、先生あるいは教育委員会の人も同じ様な行動をして実感して欲しい。先生等大人は車で動いているから分からないと思う。 ■まちづくり組織を中心に地域でも子供たちと関わっているところ。 ■子どもから大人まで学ぶところがあること。 ■大山町をいつまでも大切に作る気持ちを育成する教育。県外から生徒が入学できる「未来の学校」の開校。 ■海から山まであり、四季がはっきりわかる自然があるところ。 ■自然。
75 歳以上	■伝統行事などは残したい。 ■豊かな自然と人情。 ■子供たちが無料で安心できる遊び場所の設備。 ■自然。 ■地域教育で子供の心を育てる。子供の遊びに力を入れる。 ■子ども達の声が聞こえるまち、保育所、学校が近くにある。 ■周りの人はサポートされています。親も働かないといけないので。とてもいいことだと思う。 ■活性化センターを利用して運動面、教育面、精神面を生かせる施設、広い場所があるので、考えて使って欲しい。 ■子供が喜んで学校へ行くところ。 ■昔の様に集落で集会所に集まって学習したり、話し合っって悩みを吐き出したりして、一人で悩まない。 ■子供がいない地域になると過疎化が進む。子供が健全に、犯罪やいじめに合わない地域にしてほしい。 ■小規模でもきめ細かい教育指導が出来る。 ■住民がみんな顔見知りで子供達に声かけやすい。 ■部落内で助け合って生きる。 ■今生まれている子供たちをブックスタートで育て給食、医療費を無料とする。（高校生）

【2】 10 年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■一生大山町に住みたいと思ってもらえるまち。 ■自らの夢をそれぞれが大山町で実現できるようになっている町。 ■学ぶ場が子どもの身近にある。 ■県外で働いたら帰ってきたいと思う町。 ■人権教育を充実し、命を大切にする、子供たちが増える町。 ■周りの大人が負担なく子どもとのびのび楽しく関わり合えてると良い。 ■一度町外に出ても、やっぱり大山町の雰囲気が好きで、育った環境と同じ環境で子育てをしたいなどの思いが湧き、皆が帰ってきたくなるまち。
-----------	---

18 歳～24 歳	■地域それぞれが声かけや手助けができる子育てと教育に関して。 ■親がいない時にこどもが安心して過ごせる場所（こどもの居場所）を増やしてほしい。台風などで学校が休みになっても親は仕事に行かなくてはいけない時など。
25 歳～29 歳	■農業を積極的にするようなことが増えるといいな。 ■優しい子が多いと良い。 ■ふるさとをほこりに思う心。 ■子供たちが地域のために仕事がしたい、貢献したいと思えるような魅力がある町。 ■社会にでたときに大山町がやっぱりいいなと思えるまち。 ■大山町の魅力をたくさんの人が語れる町。 ■生まれた場所がここで良かったと子供達と思える場所。 ■子供が遊べるところを増やしてほしい。 ■子ども達に住み続けてもらうために、子供たちが大山町を好きになる教育をする。
30 歳～34 歳	■ふるさとを大切にする子供たちが増えて、大山町に住み続けたい子供たちが増える。 ■交通不便のため、そこをなんとかしてほしい。 ■小児科も米子市の小児科みたいに大きくて若い先生達になってほしい。 ■挨拶が当たり前に来る子供が多い町。 ■今の子供たちが地元を好きになって住み続けてほしい。 ■子どもが多く、活気のあるまち。 ■田舎でも子どもが情報を多く得られる。 ■治安の良さが維持されている状態。 ■I ターン・U ターン・移住等で若者が家庭を持ち、子育てできるまち。
35 歳～39 歳	■大山町に住んで大山町で働く人が増える。通学路の除雪が行き届いた町（現在は通学路に雪が寄せられて危険だと思う）。 ■進学で県外へ行ってしまっても、いずれは大山町へ戻って生活をする子供が増える。大山町に住み続けたいと思う子供が増える。 ■大山町を大切にしたい。 ■ふるさとや障がいを持つ友達を大切にする子供達が増える町。 ■三人目出産に 100 万円贈呈。 ■子育てがもっとしやすい環境。 ■安心して子育てができるまち。 ■自らを大切に、今後の日本を支えられる人になってほしい。 ■町内の子供達の交流が増えてほしい。 ■肯定的でお互いの夢や人生を応援しあえる関係性、良き伝統は残しながらも、新しいものも積極的に取り入れる開かれた町。 ■時代に合った子育てができるまち。町や自治会、保護者会など決まり事に縛られず、親も子も自分らしく過ごせるまちになって欲しい。 ■大山町に残る子供達がふえる町。 ■中学、高校の学費無償化。先生の負担を軽減し、授業の質が高くなるよう雑務を行う事務員が配置される。無駄な予算を削減し、必要な予算を作り出せるまち。学業、子育てがやりやすければ、大人になったあと帰ってくるこどもができて経済も回りやすくなる。 ■新しいタウンエリアが増えるのは人口増加に繋がるため賛同だが、景観は保持してほしい。 ■大山町のよいところを町外、県外、国外の人に堂々と語れる子どもがたくさんいるまち。 ■子供人口の増加。 ■今の子ども達、若者が大山町に残って、あるいは戻ってきて子育てがしたいなと思えるまち。町外からも移住して子育てがしたいと思えるまち。 ■大人になっても挨拶をする。
40 歳～44 歳	■大山の人は信用できるといった人たちが増えるまち。やさしい人がたくさんなまち。 ■習い事や集まれる所（子供連れ）が少ないので増えると嬉しい。 ■次世代が夢や希望をもって生きていける街。 ■いつも子供の声が聞こえる町。 ■さまざまなスポーツや体験活動に取り組めるまち、スポーツを通じた子どもたちの身心の健全育成に地域全体で取り組むまち。 ■コミュニティスクールを通して地域で学ぶ、地域を学ぶことができるとよい。 ■安心して子供たちが育つまち。 ■活気あふれるまち。戻ってきたいと思えるまち。

40 歳～44 歳	■人口が増えて活性化してほしい。 ■Ｕターンするこどもが増えるまち。 ■子どもがいろいろな体験ができる機会を増やすことで、どうせ田舎だからだめだ、と思わない子に育って欲しい。 ■図書館の充実。本があるだけでなく、居場所となるようなコミュニティスペースが欲しい。 ■低所得者、ひきこもり、発達障がい者、いじめなど弱者に優しい町（思いやりのある子どもになって、困っている人たちを助ける大人になってもらいたい）。虐待のない町。 ■子供の数自体が少なくなり、維持できなくなる教育システムや体制が出てくると思いますが、少ないからこそ教育に重きを置いて、政策を決定してほしい。自尊心を高められるような、身近にあるものの価値に気づいてそれを楽しめるような、そういう手助けを大人がする。多様な生き方を許容できる子どもたちが増える。
45 歳～49 歳	■ふるさとを大切にしていほこりに思い、大山町で暮らしたいと思う子供が育つまち。 ■大山町に住みたいと思ってくれる子供が増えて欲しい。 ■虐待やネグレクトを無くす、町でサポート。 ■たくさん子供がいる。 ■子供が夢を持って働くことができる環境の構築。 ■小さい子供が大きくなり、結婚して大山町に住んでくれる町。 ■子供が安心安全に遊べる町、公園の充実。 ■ふるさとを大事に思う子供が増えると良い。 ■昔の様な損得勘定なしの町。 ■今でも英語教育に力を入れているが、英会話に興味を持つ子供が増えてほしい。 ■教育にかかる補助を続けてほしい。
50 歳～54 歳	■様々な世代が生き生きしているまち。高齢者と子供達の交流。 ■子供が増えている。 ■大山町に残ってくれる子供が増える。 ■人口減少の中でも、子供の声が聞こえるまち。 ■未来の宝、子供を大切にする町。 ■子どもが住みやすい町。住み続ける。 ■子供たちがのびのび過ごせたり、お互いが尊重できたりする、育ちをまわりがサポートしていく環境でありたい。 ■人口増。 ■今後の子育て世代へのサポート。 ■ふるさとの良さを語れる子どもがたくさんいるまち。 ■施設（教室や体育館など）の全てにエアコンが完備されている。 ■特別な支援が必要な子どもに適切な教育の場、子どもの将来につながるサポートがもっと提供してもらえるまち。障がい特性について理解したうえで対応してもらえる、子どもの自己肯定感を低下させない、育ててくれるまち。 ■子どもの特性を理解しようとしてくれる学校、家族と対話し一緒に考えてくれる学校、支えてくれる福祉、いろいろな機関が連携し、孤立させない、サポートする人たちが増えるまち。行き渋り、不登校の子どもを放置しない、二次障がいによる不登校をつくらない、登校以外の方法で学力や大切な知識、スキルを身につけ、学力を保障する、社会参加できる体制が整っているまち。 ■子どもの多様性が認められ、自己肯定感を低下させることなく、地域で学校生活がおくれる環境づくりができるまち。 ■いずれ帰ってきたいと思う子供が増えるまち。
55 歳～59 歳	■子供たちが今後増えたら良いですね。 ■子供、若者と高齢者との交流のある町。 ■スマホ、メディア漬けになっている子供たちが多いまち。 ■子育てしやすい環境、町からの手厚いサポート。（助成） ■米子市とかに行かなくても大山町でと考えられる教育の充実。 ■ふるさとに帰ってきて家を建てる。 ■不登校の生徒にも力を注いでもらえるような町に。 ■各家庭が持続可能な形で安心して収益が得られる様になっていること。 ■老人も障がいがあっても安心して暮らせるまち。 ■差別のない町。表面上その様に見せていても、姻戚関係を結ぶ時には本音、ギャがある。 ■結婚、子作り、家庭の大切さを再教育し、子供の時から子育ての大切さを教え込む。 ■大山町のことを好きで折に触れてみんなが集まる町でありつづけること。

60 歳～64 歳	■子供が多いまち。 ■大山町全体で子供を育てる。 ■地元に根差していく方が増えて欲しい。 ■空き家が増えないまち。 ■ふるさと大山町の人々のやさしさ、思いやり、人のぬくもり→また帰ってきたい。 ■一学年に一人の地域なので、一人でボール遊びをしている子を見てもっと子供が増えてほしいと思う。 ■年長者を敬う様な町になってほしい。 ■人口増加。 ■現在の学校教育環境になじめない児童生徒にも対応できる新たな形の学校があるまち。 ■子育てしやすい、暮らしやすい町。
65 歳～69 歳	■名和小では図書室の本を処分することになり、その生徒と保護者が処分するなら欲しいといったところ×だと、ゴミになったそう。 ■自然が豊かで災害の少ない住みたいまち。 ■いつかは帰ってきたいと、ふるさとでの子育てをしたいと思えるまち。 ■コンパクトシティみたいな、外（都会）に働きに出る事無く近い町内で暮らせるようになって欲しい。 ■おかえりなさいと言えるまち、故郷に住む人又はどんな場合でも県外から帰ってきた人々。 ■楽な子育てができる環境の育成、子どもたちがしっかり学び、しっかり未来を語れる。 ■若者が多い町になりますように。 ■学力の保証。 ■過疎集落にも若者世代が増えてると良い。 ■大山町の人口減少による衰退を食い止めて、自然豊かで活力のある町（大山地区、名和地区、中山地区、のこれまで以上の融合を図る施策を立案する）東西に長いがゆえに、一体制に欠ける様に感じてしまう。 ■皆が協力し大山町が良くなる事です。 ■子育てがしやすい。若い人が定着し、長年住み続けることができるまち。 ■郷土に誇りを持てる。 ■自然の中で笑いあえる。（子供が増える） ■子どもは都会に出てしまっている。学校及び都会に出る前に、必ず大山町に帰ってくることを約束させるべきだった。 ■ふるさと好きなこども達が多いまち。
70 歳～74 歳	■小学校、中学校、中山、名和、大山をひとつ。 ■老人がたくさんでなく、若い人が多く集まる町になって欲しい。 ■子供たちが住みたい町。街灯が少なく暗いので夜も明るい町へ。 ■子供が増えてにぎやかなまち。 ■現在いる子供たちも大山町に住みたいと思う町に。 ■小規模になってもきめ細かい教育、子育て支援があるまちであってほしい。 ■若い世代がこの町に残る仕事を増やしてほしい。 ■子どもも大人も元気で明るく楽しい町。 ■教育（小・中・高）を終え、いずれふるさとに戻りたいと思う子供が増えること。 ■農業が主であってもいい、自然は再生することができないので大切にしてほしい。
75 歳以上	■農業でできるだけ自立できる。子供を大学にやることのできるまち。 ■公共施設の設備。地区に遊園地、図書館。 ■元気な子どもが楽しく過ごしている。 ■祭り、村の行事が廃れずに続いてほしい。 ■大山町を誇りに思う子ども達がたくさんいるまち。 ■産業が増えて地元に定着出来る。 ■小学校の統廃合を進め大山町の子供を育てる体制を検討。 ■大山町は、海、山、が近くて、野菜、魚、食料は農家に有り。ただ楽しめる所がない。働く場所がないので大切にできないのでは。 ■一生住みたい所。 ■ふるさとを忘れないこと。 ■ふるさと教育をして、授業の中に取り入れて感心と愛着心を育てる。 ■大山町に誇りを持つ子供を増やすようにしたい。 ■子どもたちの声があふれるまち。 ■元気よく挨拶できる子育て。 ■人口が増えて人にやさしい町。

75 歳以上	■ 国立公園大山に一番近い大山小学校がありますが、この自然豊かな土地を知る小学校として将来も残してほしい。 ■ 人口が増えてゆくことを希望。部落の存続が危ぶまれる。 ■ 大学・専門学校に通う人への授業料補助。 ■ 南海トラフ被害想定地域から会社・工場を従業員（社員）ごと誘致。
--------	---

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■ 農業を憧れの職業にする。 ■ 子供たちや移住者等と関わっていくこと。 ■ 挨拶。 ■ 少しでも負担を減らしていきつつ、気持ちよく仕事をしながら子どもとの関わりを大切にしていく。 ■ 協力し合えるような環境を作る。 ■ まちの良さを再発見する。
25 歳～29 歳	■ 子供をいろいろな人と会わせる、体験をさせる。 ■ 教員として関わる。 ■ 子供たちが少しでも安心して過ごせるように周りに危険がないか、いざとなったら匿えるように日頃から意識作りをする。 ■ 大山町に住み続ける。 ■ 大山町で得たつながり（同級生など）を大切に続ける。 ■ 生まれ育った場所はこれからの子供たちに伝える。 ■ 自然豊かな場所や施設に連れていき、大山町で過ごすことに楽しさ、居心地の良さを感じてもらえるようにする。ふるさとの特産物、新鮮な食材に触れる。
30 歳～34 歳	■ まちのいいところを子供たちに伝え、いい町だと思える環境作り。 ■ 会った時は自分から挨拶する。 ■ デジタルツールの使い方を広める。 ■ 地域環境の維持や、イベント（前回のマラソン大会等）にできる限り協力する。 ■ 大山町がどのような政策を行っているかを調べてみる。
35 歳～39 歳	■ 農業に勤しむ。 ■ 自分の子供へ、地域のイベントに参加や地域の人と関わる経験をさせる。 ■ 地域の祭りに参加。 ■ 税金を支払う。 ■ 子供と一緒に大山町の良いところを（遊び場や自然）楽しむ。小学校、中学校のスクールバスの体制を手厚くする。 ■ キャリア教育の早期導入。 ■ 目の前の人を肯定したり応援したりする。新しい考えやものなどを受け入れる寛容さや好奇心を持ち続けること。視座の高さや視野の広さを広げて成長し続ける。 ■ 変更するべき事や新しい事を考えて発言する事。そういう機会や気軽に提案出来る所があると良いですね。 ■ 魅力を伝える。 ■ できるだけアンケート答える。ちゃんと議会が機能してるか興味を持って見張ること。子育て、学業支援が十分に出来なければ、10 年後にさらに人が少なくなりいい未来は来ないことを伝える。 ■ 町内の自然の中で子どもとたくさん遊ぶ。 ■ 大山町のいいところを子ども達、また町外の人にも伝えていく。 ■ 挨拶をする。子供たちも活動できる場を作る。
40 歳～44 歳	■ 良い見本（マナーやあたたかさ）を見せること。笑顔で接すること。 ■ 愛着を持たせる。 ■ 子供たちの見守り。 ■ 体験活動等のイベントへの積極的な参加。 ■ PTA 活動等の地域活動に積極的に参加する。 ■ 挨拶。 ■ 町長になって、まちを支えたい。 ■ 子供に理想を伝える。 ■ 大人側のいろいろな働き方や余暇を見直す動きや、働き手不足の解消などにも影響は受けますが、子供たちとの時間を取ってとるようにしていく。子供とのかかわり方の場の選択肢を増やす。個人的に大勢の人がいる場に出ることが得意ではないので、そうじゃない関わり方もできるような場所があったらいいなと思いました。大人側の忙しさの解消や、がんばりすぎない姿勢でいるなど、自分自身もっと見直したいです。（自戒をこめて）。

40 歳～44 歳	■子どもに嫌われないようにする。 ■大山町でできる体験をどんどんさせる。（田植え、稲刈り、くだもの狩り、山登り、海遊び、魚釣り、味噌作り、ちまき作りなど）
45 歳～49 歳	■大山町で楽しい体験をする、大山町を知る。 ■農業、漁業、林業など地元で働くことのできる場所を伝えていく。 ■旅行に出かけた時等に大山町にここが良いということを話す。 ■事業承継。 ■自分も英語を勉強する、町長が応援する。
50 歳～54 歳	■地域行事に参加し、子供に地域とのつながりを伝える。 ■大山町の特徴、自然について教えていく。 ■祭りや地域の行事などへの参加。 ■子供に優しくする。 ■子供の話に耳を貸す、目を配る、自分の子供だけでなく、地域の子供たちに声を掛けられるよう日々気を付けたい。 ■町長を見きわめる。 ■美化活動。 ■地域の子どもたちを大切にする。 ■ボランティア活動などを通じて大山町に貢献すること。 ■サポート体制が改善された時、少しでも支えてもらった時、感謝しまくる。今ある資源を活用する。責めない伝え方で発信する。 ■地域のまつりや地域自主組織のイベントの手伝いをして地域の子供に楽しさを提供する。
55 歳～59 歳	■一緒に畑をする。一緒に海や山へ出掛けきれいな自然を見せる。 ■外遊び、スポーツの楽しさを伝える。 ■地域の子供達とふれ合う。 ■自然の素晴らしいところを知るため体験させる。 ■今までの農業では収益を得ることが難しい。田畑、山を活用できる新たな産業を模索中。 ■町内の自然界、美しい環境と景色を持続できるよう歴史的建物を伝承、見学させる。 ■今ある大人の行事や役目に成人した子どもや中高校生を参加させて一緒に汗を流すこと。
60 歳～64 歳	■子供会活動に参加する（機会があれば）。 ■コミュニティ広場。どんな人もいつでもいける場所、くつろげる場へボランティア手伝いができればいいと思う。 ■まちの環境を良くすること。 ■娘の婚活を支える。 ■自分の子供にも他の子供にも大人の威厳を持って接してほしい。 ■豊かな自然。 ■子供、近所づきあいを大事にする。
65 歳～69 歳	■伯耆町のある廃校になった小学校が図書室の本を処分することになったが、町外の人にも無料であげたとのこと。税金で買った本だ、欲しいという人にはあげたらどうか？ ■墓参り（掃除、花立て含む）、地域の祭りに参加（稚児行列、奴さん）。 ■自らゴミを拾ったり、自然の豊かさと共存を行動で示したりする。 ■思いやりの心を持って地域の子供と接する。 ■どこかで、片隅ででも、下支えする覚悟です。 ■これまでに充分してきました。寺子屋への援助など。 ■スポーツを通じた魅力を子供たちに伝える（農業者トレーニング等の利用を考えても、都会で考えるとすごく恵まれた環境であると言える。（いつでも利用しやすい、利用者費用が安い）大山町の一つの魅力として考えては。 ■郷土の誇りを子供たちに伝える。 ■子ども達とふれあう。
70 歳～74 歳	■伝えることが必要である。 ■見守るだけ。 ■安全に遊ぶ所が欲しい。児童クラブの充実を考えて欲しい。 ■自立した高齢者でありたい。（心も身体も） ■自分の育った地域を将来思い出に残るような祭りなど行事に参加させること。 ■所有する農地が荒廃しないように手入れする。
75 歳以上	■高齢の為、活動は活発にできないが、若干の寄付位はできる。 ■人との対話。 ■特に知り合いでなくても、挨拶ができること。 ■家族をサポートする。

75 歳以上	■挨拶する。 ■農業は苦しくて、忙しくて、重労働で、おもしろくないと思っていると思いますが、農業は人の血となり肉となる人間形成を作る物であるという一番大事なことを教えて無い。作る人がいなくなったら、食べることができなくなるのです。 ■見守ること。 ■今やネットですべて検索すればわかるけど、もう少し手配の人や身近な人に聞いてコミュニケーションをとってもらいと、親近感があっていいのでは。 ■子供達より先に挨拶や声掛けをします。 ■家庭で、小学生、中学生の内から（ふるさとの良さ、家族の良さ）を、伝えていく。 ■現在大山保育所の年長組と一緒に近くの山（佐摩山、妙見山）に登っていますが、大山地区の自然の豊かさを将来にわたって知ってほしいため私ももう少し付き合いたいと思います。 ■大山、田園風景の良いところを残し伝える。 ■自然の中で生活することはとても大切と思うので出来る限り PR する。 ■子育てに関してもっと老人の知恵と経験を利用する。
--------	--

②文化・芸術

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■神事、寺など。 ■大山寺。 ■学校に大山登山や大山讃歌など独自の文化、伝統があるが、それらによって大山町民である意識が芽生えていたなと気づいたところ。
25 歳～29 歳	■妻木晩田遺跡。 ■伝統文化。 ■自然や寺、昔ながらの町並みが風情あり美しいところ。 ■大山寺など、文化財。 ■大山の自然、スキー場。 ■神社や寺があるところ。 ■文化財は現代においては貴重であると思うので、保全していただきたいと思います。御来屋港のストリートアートがあること。ダンスサークルがあること。
30 歳～34 歳	■歴史のある社寺などの文化財が豊富にあるところ。 ■大山や大山寺があるところ。 ■大山寺周辺の文化財、観光地。 ■大山を綺麗にする。 ■名和神社に毎年参拝しているので、維持費の支払いは毎回行っています。このまま綺麗な状態で残っていて欲しいです。公民館の図書館は必ず未来でも価値あるものになると思います。
35 歳～39 歳	■公民館活動、大山町の文化祭。 ■町の文化祭は毎年楽しみにしています。規模が大きすぎず、ちょうど良いです。 ■名和だいこや名和長年、後醍醐天皇の文化財。 ■大山寺など。 ■地域の神社、人とのつながり。 ■文化財。 ■名和神社。 ■大山だけでなく麓にあるたくさんの文化財や歴史的建造物、大山町出身のアーティスト。 ■名和神社、木の根神社、さいのかみさん。 ■歴史的な文化財の保存。 ■歴史的な寺社仏閣、御来屋周辺のアート。 ■住民がまちの歴史を語る。
40 歳～44 歳	■大山寺、大神山神社。 ■大山の魅力。 ■伝統的な文化（財）を大切にしているところ。 ■歴史のある社寺などの文化財、食文化。 ■自然。 ■国立公園大山や歴史的な建造物・場所がある。 ■習いたいことが習える。 ■ええがな大山さんの映画上映が毎月あるところ。 ■神社、寺。
45 歳～49 歳	■大山寺周辺の歴史建物。 ■大山。 ■みんなが大山さんと話をするところ。 ■大山、自然。 ■大山寺などの文化財。 ■海。 ■ドリームカーフェスタ。歴史や文化にあまり興味がないけど、例えばドリームカーフェスタを通して歴史や文化について知ることができ興味が持てた。町外の人にも、大山町のことが知ってもらえてうれしい。
50 歳～54 歳	■町の文化祭。 ■名和神社。 ■お祭りなど昔ながらの行事や文化伝承。 ■若いアーティストを呼び込む。 ■歴史と自然。 ■大山寺を中心とした山岳仏教の伝承。 ■歴史深い神社や仏閣があるところ。

50 歳～54 歳	■荒廃した田畑や社寺の整備をして、わけのわからない土地とかを綺麗にして住みやすくしてほしい。 ■全国大会出場への補助があるところ。毎年サークル活動（公民館）の紹介冊子が配布され、情報収集できるところ。図書室や学習室が夜 10 時まで開いているところ。県立図書館の本が町内の図書館で借りることができること。
55 歳～59 歳	■温泉館ホール。 ■文化財があるところ、大山信仰など。 ■歴史的にも重要な場所、建物があるところ。 ■昔ながらの行事等、建造物。 ■大山とその裾に広がる環境と社寺などの歴史ある文化財。 ■部落で行うお盆のまんどい、どんとさんなどの季節行事。 ■大山、のどかな田舎っぽさ。 ■大神山神社、大山寺、退休寺、名和神社、住雲寺などを見学させ、教育に役立たせる。 ■他に類を見ない貴重な文化財が多いこと。昨年度大神山神社の屋根替えの見学に参加してとてもよい経験ができた！子供たちに伝え、子供たちは今年参加します。
60 歳～64 歳	■大山寺での催物を大切にしている。 ■古墳等。 ■特に大山周辺の文化財は貴重である。 ■月一回の巡回図書の利用を始めたが、ずっと探していた本を探していただき、読むことができた。横浜では叶わなかったことで感謝しています。読書ができる環境を整えてくださっていることは素晴らしく、続けていってほしい。 ■文化財。 ■公民館活動が充実しているところ。（身近な所で様々な文化や芸術に触れるチャンスがあるところ） ■大山寺や山、自然を大事にしたい。
65 歳～69 歳	■大山町の国の特別天然記念物の保護活動を町が率先すべし。 ■神社の祭り、盆の風習。 ■古くからの成り立ちを調査し、歴史的な文化財が多くあるところ。 ■地域の歴史。 ■音楽、美術、文化財、民俗芸能等の手厚い保護。 ■地元で愛される神社、寺でいてほしい。現状は、金もうけに走ってる人がいて、氏子、檀家を抜きたい。 ■歴史ある建造物がある。 ■歴史のある社寺などの文化財があるところ。 ■県道 30 号、赤崎大山線の大山道（川床道）川床～地蔵峠の景観。（一息坂展望駐車場、香取草谷展望駐車場含む） ■寺社、大山の景色。 ■歴史的建造物が保存されている。 ■神社、寺、他。 ■地域での集い、まつり等、だれでも参加できる場所。
70 歳～74 歳	■歴史的な文化、例えば神社などに残る行事（獅子舞など）。 ■町には大山あり、そこへ向かう出発点の大山口駅にもっと観光をアピールすることが出来ないのか？ ■大山寺周辺はさびれることなく残っていて欲しい。 ■海岸奉仕作業のように、歴史ある神社、地をピックアップして計画的に整備して残せるように。 ■大山寺、大神山神社を始め、歴史ある文化財。 ■開山 1300 年の歴史、神社、寺の由来。 ■昔からある行事を大切に継続すること。
75 歳以上	■最近の DNA の結果から今の日本人は大陸、この山陰の地は中国から渡ってきた、そのようなことを大切にしたい。 ■大山寺を中心とした飲食店の整備と販売店の充実化。 ■大山、大山寺の文化財等。 ■地域に根差した文化財を用いて発展させること。 ■今ある生活の中の行事。 ■歴史あるもの、古くからの言い伝え、残されているものがある。 ■社寺などの文化財をきれいに県内外から関心を持たれるように。 ■東積の中山神社、石井垣神社、羽田井観音様。 ■歴史ある所を学校で見せてほしい。 ■大山寺等の昔からある行事を残していくこと。（御幸行事） ■身近なところから掘り起こして調べれば、意外と楽しくなると思います。

75 歳以上	■大山町の歴史・文化を皆で共有できるようにしたい。 ■歴史ある文化財。（特に大山寺、大神山神社） ■公民館活動を盛り上げたい。 ■大山寺、名和神社の歴史を将来に語り伝えてほしい。 ■文化財があっても管理掃除できていない。 ■社寺などの歴史的な建物の他、伝統的な文化芸術はすべて未来に残すべき町の財産。 ■大神山神社の天井画を修復して残すべき。 ■歴史のある社寺や文化材があるところ。 ■伝健地域なのでこのまま残したい。 ■歴史は大事なので良いところは残す。 ■むきばんだ遺跡と周辺関係を明らかにして発信する。
--------	--

【2】10年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■昔の良さを残しながらも、新しいものの良さを取り入れて、町民が自分のやりたいことを自分のやりたいことを自分らしく挑戦できる環境。
25 歳～29 歳	■古いものを守りつつ、新しいものも否定せず受け入れられチャレンジ出来る町。 ■県外の人達が楽しめる場所。 ■歴史について知り触れることができる町。 ■恥ずかしながら今回のアンケートで大山町の文化財について知りました。文化財の中には社寺や門脇家住宅等大変風情があり、ドラマや映画にも出てきそうな施設でした。撮影地に使われると観光客の方も増えそうだと思いますが、実際問題なかなか難しいのでしょうか。御来屋港だけでなく、大山町の至る所にアート作品があると、アート巡りができて町としても楽しいですし、観光客の方も来てくださりそうだと思います。ネットを活用し、ブログ等で町のスポットや良さを配信、投稿すると、全国海外の方から大山町のことを知ってもらえると思います。
30 歳～34 歳	■町民音楽祭や絵画にチャレンジできるまちへ。 ■歴史を大事にし（残し）つつ、新たな芸術も取り入れているところ。
35 歳～39 歳	■公民館は商業施設のカフェのようなふらっと立ち寄れる、多くの人が利用目的のある施設になって欲しい。図書館利用やサークルの人以外も来るような。 ■文化を大事にする町。 ■溝口の鬼のバス停のように大山町ならではのモニュメントなどを身近なところに設置する。 ■スポーツや音楽にチャレンジできるまち。 ■空き家や使われなくなった場所にアートのスポットを作る。 ■歴史を学べる機会。 ■アートや音楽など、学べるところができてほしい。やりたいことを身近で気軽に挑戦できる。 ■僕がまちの歴史を住民に語る。
40 歳～44 歳	■月に1度、無料の映画鑑賞。バンドやオーストラミたいなものが身近で生で聞けるまち。 ■自然がきれいな街。 ■新しい文化を創造できる町。 ■子どものころから芸術にふれることのできるまち。食文化が継承されているまち。 ■大山をもっとさまざまな面でいかす。文化面でも経済面でも。 ■音楽や芸術が得意な人が増えてほしい。 ■オンラインも駆使して習い事の選択肢が増える。 ■ここではない、と思わずに、ここでもできることを小さく始めたいと思えるまち。一度外へでても、外で得たことを持ち帰ろうと思ってもらえるまち。 ■笑いの絶えない町、音楽や絵などで笑顔ある町。 ■アートが溢れている町は、見る人の視界的にも、住んでいる環境的にも、気持ちの余裕が感じられていいと思います。継続して大山町に住んでいるアーティストの方に支援やスポットが当たるようにし、アーティストの子供やお年寄りとの活動を支援できるといいと思います。
45 歳～49 歳	■今まで以上に小さい時から歴史など教えて、大山町の顔になって欲しい。 ■ドリームカーフェスタがこれからも続いてほしい。音楽フェス大山町でできたらうれしい。
50 歳～54 歳	■気軽に文化に触れられるまち。 ■自然と芸術の共合。

50 歳～54 歳	■ いろんな自然を通してそれを生かした場所や野外コンサートなどできる活用場所があるといいな。 ■ クリエイターの創造力あふれる作品が注目されるまち。 ■ 観光を発展させてほしい。 ■ 小、中、高等学校での部活などの活躍について、スポーツ系と同様に文化系の活躍についても拾って応援できるまち。
55 歳～59 歳	■ 大山野外フェス、若者の宿泊先があり、釣りなどアウトドアのしやすい町。 ■ 芸術にいつでも触れ、体験できる。 ■ 町外からもたくさんの人達が訪れる町。 ■ 音楽、芸術に慣れ親しむ町。 ■ 身近に感じることが出来る公開活動が open であり、ダンスや歌、絵画、書道などみんなの作品を発表・展示できる場があること。
60 歳～64 歳	■ 若者が定着できるまち。 ■ 歴史のある寺など、文化財のある町なので、観光地のアピールをした方がいいと思う。観光客など呼べる町。 ■ 趣味を持って、仕事の他に自分の世界を楽しんで豊かではなくとも人生を楽しんでいる人が多いと思います。きっかけを作る意味でも、カルチャースクールが公共の場を利用して出来ると良いのではないのでしょうか。 ■ どんな世代の人も自分に合った楽しみを持てるまち。各種の店の人が講師になり、プロならではの知識や技術を教えてくれる少人数制のミニ講座。これをきっかけに興味を持ち大山町の文化芸術の後継者を目指す子供や若者が現れるかもしれない。 ■ 山や自然を残していきたい。
65 歳～69 歳	■ 公民館でいろいろな経験（カルチャースクール）をできるまち。 ■ 日々の暮らしの中に音楽や文学、絵画などが身近に感じられるまち。 ■ 住んでる街の歴史をもっと知りたい。 ■ 芸術家が多いのに、披露される場が少ない。文化祭では、聞きたくもないものが長時間舞台している。 ■ 芸術文化の普及で心豊かな町民生活の向上。 ■ 観光道路としての賑わいを創出する。（サイクリングやトレッキング等の自然を満喫できるもの） ■ 作成した物を大切にしたい。 ■ 芸術家が大勢集まる。 ■ 芸能人でも来られるホール。 ■ 自然が多く残っている町。
70 歳～74 歳	■ ぐるっと旧大山町として、一年中楽しめるものが欲しい。春はチューリップ、桜。夏は魚とり、秋はコスモス、冬は雪だるま。 ■ 文化面の進展があまり見られない、野外コンサート等、他からの参加者を集めるようにして、大山町の良さをアピールできれば良い。 ■ 財源が厳しくなっていく中、あまり文化芸術の充実は望まない。個人個人の裁量で。 ■ 音楽で癒されるところ。（ジャズ喫茶など） ■ プロ・アマ問わず展示が開ける機会をもっと増やしてほしい。 ■ 様々な芸術表現を体感できる町。イトナミ大山芸術祭、町総合文化祭等。 ■ 公民館内にミュージックを体験、実演、稽古のできる場所づくり。
75 歳以上	■ 今の若い人たちの音楽もいいのかもしいが、昭和初期の音楽も大切にしたい。 ■ 地域に根差した活動が活発な町。 ■ 豊かな自然。 ■ 子供の絵画を地域でほめて喜びを大切にする。 ■ 公民館活動の発表が続いてほしい。 ■ 音楽や絵画を制作するような人達を誘致して芸術の町に出来たら楽しい町になると思います。 ■ 町民全員で子供を見守る。 ■ 来訪者や移住者を大切に、交流を拡大する。 ■ 若い人、子供が増えること。 ■ 海、山の景色を写真や絵で、大山の良さを PR し、人々が行ってみたいと思う町になってほしい。 ■ 老人を大切にする町づくり。 ■ 傾斜地での水の豊かさを活用した音楽噴水設備はどうでしょう。音に合わせて噴水が躍る様子や、ライティングによる演出が特徴です。 ■ 音楽や絵画にチャレンジできるまち。 ■ 公民館活動を続けて残す。

75 歳以上	■クラシックを聞いたり、ダンスを見たり、大体鳥取市の方であるので団体で良い物の開催する時に集会できたらいいと思います。
--------	---

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■様々な町のイベントに参加する。
25 歳～29 歳	■もっと市の方にも宣伝して人を呼んだ方がいい。 ■町内でそういった展示会などあれば会場に訪れる。 ■大山町外の人達に言葉で伝える。 ■神社や寺に行き歴史について教える。
30 歳～34 歳	■文化、芸術の良さを公民館活動等で伝える。 ■大山町が芸術分野で何に力を入れているのかを調べる
35 歳～39 歳	■イベント等の情報を収集して参加してみたい。 ■歴史遠足は残して欲しい。名和だいこ（小4）続けて欲しい。 ■魅力を伝える。 ■文化祭だけでなくライブパフォーマンスの場、イベント等を増やす。 ■自分がまちの歴史をおもしろがる姿を子供に伝える。 ■自分の得意な音楽などを、簡単なことなら教えてあげたい。 ■文化、芸術に触れることができる場をつくる。
40 歳～44 歳	■音楽の腕をあげ、披露する場を求める。 ■環境整備、清掃活動。 ■文化的な活動への参加。 ■大山町の伝統料理を子どもに伝える。 ■イベントを盛り上げる。 ■自分の得意なことを教える。 ■外である良い活動を、可能な限り持ち込む、紹介する。 ■子供たちがアートに触れる機会をつくる。
45 歳～49 歳	■大山を SNS など使い認知度を上げる。 ■大山町を動き、子供と一緒に勉強すること。 ■ドリームカーフェスタに参加する。いつかドリームカーを購入できるように頑張る。
50 歳～54 歳	■文化祭への参加。 ■いろんな場所に出かけたり見たりして新しい考え方を増やしていく。違った考え方の人の意見をどんどん取り入れる。 ■大山町の情報に常にアンテナをはる。 ■公的なイベントへの参加、ボランティアでの参加。 ■これから図書館の夜利用、学習室の利用など、細々と利用し続けることで必要としていることをアピールする。
55 歳～59 歳	■子どもたちに伝えていく。 ■町の文化活動に参加する。 ■公民館活動、社協活動、各種団体の活動など、積極的参加し活動できるようにすること。 ■様々なイベントに参加することでチャンスを広げる一助とする。
60 歳～64 歳	■出来る事があれば協力する位です。 ■ボランティア活動
65 歳～69 歳	■公民館活動に参加する（習いたいことがある）。 ■小さなサークル活動が小さな空間でも発信できる可能性を探る。 ■もはや公民館活動は少し時代遅れ…？温故知新が自分には必要と感じています。 ■誰もが何かの分野で役目を果たしその一員としても活動する。 ■公共の場を利用して展覧会などしてほしい。 ■文化行事に積極的に出向く。 ■県道 30 号、赤崎大山線の大山道（川床道）川床～地蔵峠の魅力を伝えることを考えていきたい。また、いつでも走りやすい（車でも自転車等でも）環境であるが見守っていくこと。（路面状況などの見守り） ■何らかの文化・芸術にかかわる。 ■文化、芸術を教える人をどんどん探してサポート出来たら。 ■公民館活動に参加する。
70 歳～74 歳	■PR 大使としてガンバレルーヤをもう少し活躍して欲しい。 ■公民館活動を続けていくこと。 ■地域の共同作業(活動)に若い人がもっと多く参加できるよう工夫をする。

75 歳以上	■観客として行ける程度か？ ■頑張る人を応援。 ■今あるものを大きくいじらない。 ■老若男女が文化、芸術に感心を持つ。 ■文化、芸術を大切にし、生きがい出来るようにしたい。 ■公民館活動をもっと盛んに。 ■孫と大山町の良さを話し合い、県外の友達に広めてほしい。 ■公民館活動は一部の人になっている。 ■例えば、盆踊りを公民館活動であれば関心はあります。 ■文化・芸術の良さを公民館活動で伝える。 ■訪問者に伝健地区の良さを話す。 ■民間の住人によるプロジェクトチームをつくってその一員になりたい。
--------	---

③産業・雇用

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■農業。 ■農業が盛んな所、果樹、野菜など全国に誇るブランドがる。 ■畑、田、果樹園を残したい。 ■農業、漁業、林業など第一次産業が小さな頃から比較的身近にあること。
25 歳～29 歳	■農業したい人にもっとさせてあげる場所や状況を作った方がいい。 ■農業、田畑を受け継いでいく。 ■農業、酪農盛んなところ、若い人たちもチャレンジできるところ。 ■有名な特産物がある。 ■農業をすることのできる自然の豊かさ。 ■魚、畜産、酪農、野菜が新鮮で手に入りやすい価格で購入でき、生活の中でなくてはならないのでさらなる活躍を期待しています
30 歳～34 歳	■農業などの第一次産業を生業にできるところ。 ■大山どり、大山ブロッコリーなど「大山」とつくと品質がいいんだというイメージ。 ■農業。 ■中小企業への補助金。
35 歳～39 歳	■農地、水路、ため池。 ■古民家を改善して店舗にするなど今まであったものを使って、新しいことを始める人がいるところ。良さを残したまま次へつなげようという取り組み。 ■農業、漁業は大事にしたい。 ■第一次産業。 ■農業を大切にできる。 ■地域おこし協力隊等の取り組み。 ■農家、漁師、観光業が生業にできるころ。 ■二次産業以降の増加。
40 歳～44 歳	■きれいな棚田、田園風景。おいしい農産物。 ■漁業、農業。 ■農業。 ■第一産業が身近にある。 ■好きな仕事で起業できる。 ■季節仕事があるところ。 ■農業。産業はない。 ■家業が和牛一貫の農業法人です。詳しく書けるのが、和牛業界のことになりますので、他品目の農家さんの事情はあまり詳しくありません。和牛の業界で言えば、国の政策や公共団体のバックアップの今後の在り方にもよりますが、水や自然環境の豊富さから、牛舎で発生した堆肥を循環させ、可能な範囲でできるだけ飼料作物つくり、放牧などもおこないながら、維持していくことが可能だとは思いますが。和牛農家は経営的に苦しい局面で、高齢化も激しく、離農も増えていくのがリアルだと思いますが、法人化や今までにない飼い方に着手して工夫しながら、牛の歴史のある地域に、和牛や酪農も含め、地域の産業として残っていけるとうれし、そのために動きたいと思います。
45 歳～49 歳	■農業、水産業を残すこと。 ■農業で付加価値を付けて利益の出る農業。 ■大山町の特色をいかした産業。 ■農業、宿が新しいことをしているところ。 ■農業。 ■若い人たちが、大山町で農業しようとする魅力的なところ。最近飲食店ができてきているので大山町を選んで出店してもらえるところ。
50 歳～54 歳	■農業、漁業工場などがある所。 ■大山の黒ボクを生かした農業、大山の観光資源。 ■農業等気軽にできるところ。 ■日本の自給率の低さからみると、大山町はまだまだ農業を頑張っているところ。 ■農業を支えるところ。 ■農林業、観光業の発展。 ■農業しかない。 ■大山町の自然を残した産業。（農業、水産業） ■美しい田園風景。

50 歳～54 歳	■子育て世代に優しいところ。 ■農業・漁業の技術、ノウハウ。
55 歳～59 歳	■農業がしたい方に空いている田畑が使えるように。 ■大型農業ができる田畑。 ■農業の発展。 ■米、野菜、果物が豊富。 ■農業、漁業で生計を立てれる。 ■食料生産が出来る場所。海外からの輸入が途絶えれば国民は飢餓の状態になる。 ■最近では若い人達が共同でブロッコリーなど栽培する姿が見られます。良い事だと思います。 ■食糧不足が始まる前に職の確保策、野菜（スイカ、梨など）自給策を先取りすること。 ■農業（農家）が安心安全でおいしいものをたくさん作っているところ。
60 歳～64 歳	■一次産業の担い手に若者が携わる。 ■農業、漁業。 ■農業で食べていけたら ■農業法人設立など若い人が新しい取り組みをしていてよい。 ■農業（梨、スイカ、米）活動の継続。 ■農業。 ■地域では 80 代が現役でしっかりと仕事をして、60 代の私たちが追いつけない程に大活躍されています。農業の良いところは健康な身体と老人の居場所と尊厳が守られる所です。横浜では 70 代は施設で一日過ごして肩身の狭い思いをしています。 ■町内企業の誘致及び雇用。 ■大山の恵み（豊かな水、黒ぼくの土）を活かして営まれてきた農業、林業、漁業ができるところ。田畑や海や山という財産（人間が生きていくために最も必要な財産）があるところ。
65 歳～69 歳	■梨、米農家の後継者がいない、町が支援金を出しても守るようにすべきだ。 ■農業を続けられる態勢があれば続けたい。 ■農業、漁業、林業が稼げる地域として残したい。 ■一度県外に出ても、Uターンしやすい環境づくり。 ■農業のあり方の変化及び効率化。 ■農地が豊富。 ■梨の新甘泉となりや苺店の苺とおきじゃ私のイチオシ商品です！！全国にアピールできると確信しています！ ■梨、ブロッコリー、スイートコーン、メロンなどのブランド化。 ■若者が農業就労に取り組んでいること。 ■今ある田、畑、山林等の活用。 ■福祉（在宅介護、児童福祉、老人福祉）施設の充実を図り、大山町を福祉環境による雇用の創出を図る。 ■1 次産業をたいせつにする。高収入高収益化の仕組みづくりが課題。 ■農業だけで生活できる環境が有ること、工業団地の企業が優良であること。 ■大地の米。 ■まず農業で食べていける、農業で儲かる町づくり。（農家が高齢化し、休耕地等が増えている） ■農業などの第一次産業を生業にできるところ。
70 歳～74 歳	■農業などの第一次産業を生業にできるところ。 ■農業など温度差を利用できる品種のもの。 ■農業をしなくなるところが増加している。大規模農業をする人の確保、特に困っているのは、田んぼのアゼ草管理。（人材確保必要） ■豊かな自然に恵まれた農林水産資源。 ■農業は大変ですけど、若い方が喜んで出来るように何か工夫をしてほしいです。 ■第一次産業～第三次産業まで様々な職があるところ。 ■地元の宝（自然、食料生産、伝統行事）を活かして観光業を振興。 ■水田は行政(国も含めて)力を入れて管理できるようにしているが、畑の荒廃が目立つので力を入れる必要がある。
75 歳以上	■農業を自立できる（子供を学校へ、特に大学へ）職業としたい。 ■一次産業を大切にする。 ■耕作放棄地を集約して産業を創り出すこと。 ■農業などの第一次産業。 ■農業は大事にしたい。 ■自然環境を大事に、第一次産業も大事に。 ■農業や色々生業も誇りを持ってやっていこう。

75 歳以上	■農業をしたい若者を誘致して、大型農業がやれるように、県や町が協力して、また雇用を募って行くと一次産業が活性化するのは。 ■農業など、なるべく後継者について継続していく。 ■山あり、海あり、自然に恵まれた町を工夫しながら残していきたい。 ■農業など一次産業と商業やサービス業、製造業の調和的混在を持続させることがよい。 ■恵まれたし自然を生かした農業、水産業の持続化。 ■大山ブランドの育成、発展で活性化。 ■農地、山林があるから魅力的な農業を営み、若い人が職業として、住みついてくれたら良いと願う。 ■自然をもっと大切にする。 ■農業は大山町の基幹産業、農地の最大限活用は町全体の活力源。 ■小規模農家はこれからますます減ると思いますので何とか現在ある農業法人社が生業できるようになってほしいです。 ■大山のきれいな田園風景を残す。 ■農業がないと生活出来ないと思うので子供の時からもっと農業に関わらせて欲しい。 ■水産・農業において希望者を3年間役場の臨時職員で雇用して人物を見極める。
--------	---

【2】10年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■日本から世界の食糧を生産する。 ■様々な業種を選択できる。 ■農業に関わってみたいと思える町、自分で仕事をうみだしていける町。 ■自分のしたい仕事ができる、できるようにアドバイスができる場所がある。 ■自給増。 ■それぞれの雇用が充実し、仕事を選ぶことができるなど、個々の負担が少ない町。 ■地産地消で第一次産業を衰退させない、農漁業の魅力を広め他府県からも従事者を増やす、魅力を活かした様々な産業が共生できるまち。 ■食べ物がおいしいところは大山町の魅力であるので農業や漁業など第一次産業を行う若者がいる町。
25 歳～29 歳	■もっと若い人たちがチャレンジ出来るような町。 ■企業誘致をして、職場を増やして欲しい。 ■職種を選べるまち。 ■大山町ブランドの農畜産品がたくさんあるので、インフルエンサーさんやYoutuberの方とのコラボ商品が計画されると、さらに注目を浴びそうだと思います。
30 歳～34 歳	■第六次産業で有名なまちで、いろいろな仕事を選べるまち。 ■仕事をしやすい税制サポートがある。 ■福利厚生がしっかりした会社を増やしてほしい。 ■IT関係の事業など、場所を問わずにできそうな業種の企業が来れるような環境になってほしい。
35 歳～39 歳	■農業の盛んな町、農業で生活できる町。 ■いろいろな種類の仕事を選べるまち。新業種が入ってくるのも良いと思う。 ■農業会社や若い人で漁業する人が増えて欲しい。 ■障がいがある子を持つ親が安心して働ける場所。 ■第一次産業を残すためにも、子ども達に触れ合える機会を増やして欲しい。 ■農業、漁業、学業を大切にする。個人でもお店を出しやすいまち。 ■県外海外からたくさんの人が移住。 ■自然を相手にした一次産業、自然を観光資源とした観光産業が発達したまち。 ■職業種の増加。 ■自分のやりたいと思う仕事ができるまち。様々な分野の企業が進出してくれると嬉しい。 ■大企業、他で成功した手法などで無個性化してほしくない。
40 歳～44 歳	■リモートワークができるまち。情報発信がすごいまち。副業でパートやアルバイトの情報がすぐえられるまち。 ■特産品の加工、充実。 ■起業がしやすい町（支援が充実している）。 ■農業が職業として生計が建てられるまち、起業への支援、個々のプロフェッショナルが生かされるまち。 ■雇用がある町。

40 歳～44 歳	■農業で、生計がたてられるまち。 ■第一産業が栄えてほしい。 ■起業が当たり前のまち。 ■子育て中の母の仕事の選択肢が少ない。資格を持っていないとかなり働ける場所が限られる。 ■色々な企業がたち、雇用の促進。 ■専業農家は減るかもしれませんが、副業を含め、農業にかかわってくださる人口が増えているとうれしいです。
45 歳～49 歳	■雇用に関して、大山町に住んでいる人を優先的に採用すべき。 ■カニ、サザエ、ブロッコリー、大山どりなど「大山」のブランド化。 ■町内で働く場所がたくさんある。 ■米子に行かなくても大山町で生活できる。 ■大山町で働きたい人達を選べるくらいの職場の充実さ。 ■若い子達が安定した金額のお金をもらえるようにして欲しい。 ■農業を中心とした町。個人でも未来のある形。 ■人口が増えて、マクドナルドやコストコなど大きいお店も出店したいと思ってもらえるようなまち。
50 歳～54 歳	■若者がいろいろな仕事を選べるまち。 ■農業従事者の減少を最低限に抑えているまち、大山への人の流れが生まれるまち。 ■デジタル、ネット等活用した仕事が普及してるまち。 ■若い人が働ける企業、産業の職場の確保。 ■農業者の増加。 ■町をあげて仕事の種類の充実をはかる。 ■10 年後、30 年後生き残るには世界に向けた仕事を作ること。 ■大山町の特色を生かした仕事も選択出来るように。 ■緑豊かなまち。 ■仕事を選ぶためには選べるだけの仕事がないといけないのでまずは町内にもっと働ける場所ができていて良いと思います。 ■いろんな職場の基本給があがり、生活に余裕がある町。 ■車がなくても働けるまち。障がい者雇用の拡充。 ■若い女性に魅力を感じてもらえる仕事のあるまち。
55 歳～59 歳	■若い方が農業できる町。 ■うどんチェーン店、ケンタッキー、マクドナルド、ピザの宅配等の誘致。 ■大きな道の駅（遊べる、泊まれる、おいしい、地元野菜を食べられる食堂、わざわざ行きたい道の駅）。 ■仕事を選べるまち。 ■若者の働く場所がたくさんある町。 ■町民が町内で働ける町。 ■ネットや一次産業が営める町。 ■仕事の種類が少ない分、年齢が高くなると働ける仕事も減ってきます。もっといろんな仕事があって元気なうちはずっと働けるようにしてほしい。 ■農家が裕福になっていること。 ■もっと農業（農家）を兼業であっても大切にしてほしい。今のままでは負担が大きいので子供たちは引き継ぎとうしない。
60 歳～64 歳	■不耕作地が少ない。不耕作地を他に有効活用する。（所有も含む） ■店がなくなってきたので、店が1軒でも増えたらと思う。 ■大山町で働きたいと思う企業が増え、若者が住みやすいまち。 ■空き家が増えないこと。 ■スーパーマーケット等日用品の買い物が便利であることは必須。 ■企業の誘致がないので雇用が少ない。 ■若い人が仕事を選べる町。 ■人口が日本一少ない事がマイナス面ではない事がコロナの時に感じられたと思います。少ない事は良い事だというアピールをして、現状の人口を維持して欲しいです。 ■後継者育成ができる環境の整備。 ■第一次産業を中心に維持、発展するまち。Uターン、Iターンで起業(いろいろな産業や事業)する人を全面的に応援する(土地や建物の誘致、費用の援助)まち。企業誘致に取り組むまち。
65 歳～69 歳	■大山の特色ある特別栽培米を作って、消費者を確保すべきだ。特に今は米不足と言われているからチャンスだ。長期に渡って支援すべし、農業は！ ■米子の住宅地。 ■米子市内、中部（倉吉方面）のベッドタウン化。

65 歳～69 歳	■一次産業をベースに三次産業として町内外のつながりを広げること。 ■都会と変わらない賃金。 ■農業法人化されてきて雇用も増えたように思います。 ■この夏帰省中の娘の旦那さんから、この辺の人達はどこに働きに行ってるのかと聞かれショックを感じました。（東京出身者） ■頑張っただけ所得が増える農業の維持確保。 ■地道に今のやり方を続けてください。 ■地産地消の割合が誇れる町。 ■地域別に特産品があるとおもしろい。 ■大山町へ行けば安心して老後の生活ができる、安心安全な環境充実の町。 ■安定した生活ができる。 ■農業、工業 盛んになり人口が増えてほしい。 ■若い農業後継者が増えること。町内及び集荷内に。 ■やりたい仕事をできるまち。
70 歳～74 歳	■基盤整備と集約（農地）、スマート農業導入。 ■若い人が働ける場所が近くにあったらいいです。 ■耕作放棄地をなくす。農業を志す若者が未来を描ける支援をすることで、安心して働けるように。 ■生活できる収入のあるところ。 ■企業数を増やし、若い人の勤めるところができると良い。その分人口が増える。 ■仕事が選んで働けるまち。 ■新たな企業を受け入れ大山町の人口を増やす。 ■農業放棄地を団地に出来ないのか？高速を使えば、通勤地へも通勤しやすい、子供の育てるのには、十分に近い環境あり、子育てしやすい町に。 ■せめて現在の農林水産資源の活用は維持できる町に。 ■農地（米作り）の担い手、請負者の充実。 ■各人に合った様々な仕事を選べて仕事できる町。 ■地域の特徴を活用した生業を自分で追い求めることのできるまち。 ■企業誘致をしていると思うが、なんとか誘致ができないだろうか？
75 歳以上	■日本の中で一番安心安全（災害等の少ない県）の県。企業もそのこと良く解っていない。 ■企業誘致、大山町内で仕事ができる（生計できる）まち。 ■色々ボランティアを有料にして年配者でも活躍できることを創る。 ■若者が楽しげに働ける仕事の種類。 ■子どもの考え方を大切にして多種類の仕事に関心を高める。 ■中規模農業でも必要な時にサポート体制があればもう少し楽な農業ができると思う。 ■良く把握していないけど、選べる仕事があればいいと思う。 ■色々な分野の人たちを呼び寄せて、人が集まることで色々な仕事ができ、人が増えることで活性化できる。 ■大山町で作るものに自信を持とう。 ■これといった仕事がないため、若者を呼び寄せるためにも多種にわたる仕事があれば、町は活気づく。 ■雇用が良ければ若人も地元に残り、活気になると思います。 ■就業機会の多様化と生活力が持続できる収入機会を増やす。「総活躍」社会化。 ■恵まれた自然を生かした農業、水産業の持続化。 ■老若がバランス良く協力する社会に。 ■それぞれ個人個人の特技を生かし、集会の場を設けて話し合い、協力していい町にしてほしい。 ■この町にずーっと居りたいと思う町。 ■農業が基本だと「かたくな」に思っています。工作物の種類を多くする。 ■若い人も増えてやさしい町。 ■リモート会議も出来るし遠い所に住まなくても出来る仕事を増やすこと、人材の確保。 ■自然と一次産業、工場とが共存できる町。

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■農業の高収入化を確立する。 ■自分のわかる範囲で大山町の仕事について紹介。相談のる。 ■地産地消に努める。農漁業を推進したい。
-----------	--

25 歳～29 歳	■現在の仕事を継続しつつ、新しい試みなど見守ること。 ■様々な知識を身につけ、それを町民の方に伝えていく。
30 歳～34 歳	■自分の仕事での経験を活かして、キャリア教育に協力する。 ■大山町の企業・面白い活動をしている企業などがあるかを調べてみる。大山町が何か政策を行っているのかを調べてみる。
35 歳～39 歳	■他の農業者と連携する。 ■地元の野菜、お米、海の幸を食べる、買う。 ■第一次産業のありがたみを伝えること。 ■SNS 等で発信する。 ■一次産業、観光業の魅力を伝える。 ■大山町でもできる、この場所でしかできないことを実現する。
40 歳～44 歳	■ニーズを把握してできることからする。 ■若い世代に魅力を伝える。 ■町内産食材の購入。 ■大山町の農作物の購入。 ■地産地消に協力する。 ■起業して、起業を応援する。 ■多様な働き方を知り、できることを増やす。 ■現状、職場環境の整備(待遇・福利厚生)などを整備し、適度な住まいさえあれば、県外からの移住での雇用者を望める状況です。(現在も移住の方が3名在籍されています)今後も、それが可能な方向で、会社の運営を考えていきたいと思っています。
45 歳～49 歳	■何もない、今は仕事、給料に納得してないので。 ■今あるお店が減らないように、町内でしっかり消費する。
50 歳～54 歳	■農業を後に伝える。大山の観光資源の良さを伝える。 ■所得を増やしモデルを伝える。 ■今育てている子供をしっかり自立できるよう応援していくこと。またこちらに帰ってきたい、住んでいたいと思えるように言い聞かせること。 ■自分のスキルが少しは役に立つと思いますが他の人の力も必ず必要です。 ■自然を大切にする。 ■できることがあれば協力する。
55 歳～59 歳	■名和道の駅⇒風見鶏⇒御来屋漁港食堂⇒たい焼き⇒コーヒー⇒醍醐のうどんなど食べ歩きマップ作成。 ■地域で働き続ける。 ■役場への提言などが出来る。 ■キャリア教育に関わる。 ■キノコ栽培を町の特産品にしたい。 ■福祉教育、食育教育、AI 教育の場をつくって欲しい。 ■一緒にできることをしながら伝えていく。近所の若い働き手も誘い合って作業する。
60 歳～64 歳	■所有地を綺麗に保つ。 ■地域のつながり。 ■病氣予防、年を取っても病氣にならない体づくり。 ■農業(梨、スイカ、米)活動の実施。 ■学校教育の中で社会保障制度、年金制度、医療制度を教育して自身の生活を守る術を知っておくべきだと思います。アメリカでは投資する方法まで教えるので私は教育者ではないのですが、40 年の社会人生活と 7 つの職業を経て思うことです。 ■地域活動への参加。 ■大山町の取り組みを発信し全国、世界の多くの人に関心を持ってもらう。 ■なんでもかんでも理由なしに否定しない。
65 歳～69 歳	■町外の人に大山町の住みやすさを伝える。 ■「地産地消」として、地域のものを買うこと。 ■人と人とのつながりを微力ながら大切にする事、地元の人と仲良くする事、争い事をしない、悪口を言わない。(無理かな?) ■町内生産物の積極的な購入。 ■体力に自信がないのでこうして具申するだけです。 ■町内での販売など生産物を購入する。 ■福祉施設等、地域の受け入れへの協力。 ■できるだけ長く、規模を縮小しながらでも、田畑を守っていきたい。
70 歳～74 歳	■農業の担い手の育成、果実生産必要な技術指導。 ■このことで何か自分にできることがあればしたい。 ■経験を活かしたもので協力できるもの。

70 歳～74 歳	■現在の仕事の中で雇用にも協力する。 ■大山町の自然の豊かさ、人間味のある所など魅力を県外で関わる人に伝えていきたい。 ■自分自身、何ができるかと言われても出来ませんが、少しは出来ることは協力していただきたい。 ■すべてのベテランが「自分の仕事での経験を活かしてキャリア教育に協力する」意識に目覚めること。 ■自治会運営に協力するくらいです。
75 歳以上	■高齢者でもできることをアピールする場所があれば良い。 ■作ることの楽しさ、六次産業も大事です。名和、中山が衰退する中、町もなんとか活性化できるように頑張ってください。 ■見守ること。 ■ことぶき学級を活性化する。 ■年を重ねて小規模になったけど、自家菜園で生ゴミを土に返し、野菜はほとんど自給自足すれば、安心安全な食生活が営まれると思う。 ■キャリアのある人と無い人もいっしょに出来ること。 ■ひたすら自身の健康維持に留意します。 ■ボランティアの参加。 ■高齢者となって、また人の集まる所から離れているので今は若い人に従ってゆくのみ。 ■プロジェクトチームの一員になること。

④保健・医療

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■3B 体操など気軽に参加できるプログラムがある。 ■地域に根付いた保健、医療施設。 ■運動を行える環境がある。 ■参加人数が減り運営の負担が増している懸念点があるが、地区ごとに運動会などがあり、健康増進かつ交流ができる点。
25 歳～29 歳	■健康寿命を延ばす。 ■介護が必要な家庭に介護用品の支給活動があるところ。 ■健康寿命が長いまち。運動する場がある（カーブスなど） ■年一でやってるスポーツ大会の運営。 ■健康診断等の案内。 ■小児の医療費が無料になったので大変助かりました。
30 歳～34 歳	■町民総健康づくり運動で健康づくりに取り組むところ。 ■健康診断の個別検診無償や費用の助成があるところ。
35 歳～39 歳	■診療所。 ■健康づくりやスポーツ、カーブスなど熱心なところ。 ■子どもも大人も健やかに過ごせるまち。子育て負担が少ないところ。 ■大山町で検査づくりにとりくむ。 ■地縁の繋がりにより孤独になりにくいところ。 ■空気汚染が無いところ。 ■とくにお年寄り向けの健康のための活動はたくさんあると思う。 ■健康診断無料は助かっています！
40 歳～44 歳	■健康診断やすいところ。 ■定期的な運動ができる施設。 ■保健、医療体制の維持。 ■町の各種スポーツ大会、カーブスの誘致。 ■健康づくり。 ■医療費ゼロ。 ■健康作りの声が多い。 ■地域で必要な医療が受けられる。 ■地域自主組織で福祉の良い活動をしているところがある。
45 歳～49 歳	■町内で医療が受けられる。 ■予防接種の全年齢の補助、無料化。 ■健康診断に取り組んでいるところは素晴らしいと思う。 ■大山賛歌でまち職員さんや子ども達が健康体操をしていて興味を持ちました。保健師さんが親切です。
50 歳～54 歳	■病院が多いところ。 ■健康診断が無料なところ。 ■健診など充実しているところ。 ■健康診断が受けやすく良いです。 ■山間部の診療所の存続。 ■町の検診がしっかり受けられるようにしてほしい。 ■ちょっとしたことでも病院に行けるのがよい。待ち時間が少ない。 ■子供及び高齢者の住居づくり。 ■町全体で健康づくりに取り組むところ。 ■イベントを町民が前より積極的にしておられるので、さらに広げたい。
55 歳～59 歳	■大山町が健康づくりを推進。 ■基本健診などの持続、訪問介護など。 ■町民全体の健康。 ■年配の方、子供たちへの支援がたくさんあるところ。 ■体操教室。 ■健康診断の推進。 ■大山町の人口が増え裕福な町になれば病院も充実していくだろう。 ■基本健診が無料で受けられるので参加しやすくなり良かったと思います。病気も早期発見できて、医療費も削減されその分他の必要な物に対応出来ると思います。 ■自分の趣味に合ったクラブ活動に参加しながら自分なりに健康づくりに努力する。

55 歳～59 歳	■健康診断等の案内が無料なところ。本当に助かっています！
60 歳～64 歳	■健診への補助。医療費無料化。（～高校生） ■地域医療を意識してくださっているところ。 ■集団検診等。 ■楽しくて気持ち良くて継続できる内容のある体操。 ■検診への積極的な支援は評価できる。 ■利用しやすい運動施設や健康づくり。 ■内科の病院は待ち時間が少なく、診察も丁寧で助かっている。横浜では一日かかることもあり、介護者の負担も大きかった。 ■スポーツイベントが数多く実施されているところ。健康増進のための施設や設備、制度があるところ。
65 歳～69 歳	■コロナワクチン、8 回目のレプリコンは伝播感染が甚だしい、未接種者にも伝播感染が来る。TV では危険性は絶対に報道していない。泉大津市の南出市長は唯一ワクチンの危険性を発信している。南出市長の動画があるのでぜひ見て勉強して欲しい。NHK が（8/28）ようやくワクチンの被害を発表し始めた。全国の集団訴訟の話はまだ放映されてないが、これから次々とワクチンの闇が明るみに出る。 ■町の健診（毎年受診）。 ■保健事業は予防が大切であるが、健診での数字ばかりにとらわれている。 ■無料ガン健診。 ■カーブス、ブルーディアへの力入れ。 ■バレーボール、バドミントン、卓球等、誰もができる、参加できる場所があると思います。 ■町の指導員が各地区の公民館をたずねて、部落の住民へ直接指導をする時間を四半期毎に 1～2 回の頻度で実施する。これは、食事での健康維持についての指導や軽い運動についての指導で若者の運動不足の解消を図る。 ■元気でいられるよう一人一人が気をつけるところ。 ■人間ドッグの助成制度が有ること。 ■病院をなくしてほしくない。（小谷医院は特に） ■皆が健康づくりに取り組むところ。
70 歳～74 歳	■町民総健づくり運動で健康づくりに取り組むところ。 ■病気予防のための様々な取り組みがあること。 ■健康づくりに取り組むところ。 ■町の一般検診は無料で受けられますが、人間ドッグ（以前はあった）の補助金を増やして受信者を増やす必要があります。過去のドッグで私の場合、脳、心臓の手術をしましたが、初めて受けた脳ドッグでは動脈瘤が発見されました。大山町では、初心者でも出来るグランドゴルフが人気です。もっとアピールして参加者を増やし、仲間作りの手助けをしてほしいです。 ■行政のきめ細かい町民の健康づくり。 ■どんなスポーツでも地域内で可能な施設が利用できること。 ■農業ができれば健康でいられる。
75 歳以上	■とにかく町民が病気にならないこと。 ■今の大山診療所の持続、医師の人柄を含めて。 ■散歩、ジョギング、マラソン参加をポイント制にして活性化をはかる。 ■医療が充実。 ■ブルーディア、水中ウォークなど健康づくりに役立っていると思う。途中やめする人が多いようなので継続を進める必要がある。 ■身近に健康づくり運動などがある。 ■健康づくりは大切です。よいと思う。 ■子供達に運動をさせて健康な野菜、米を食べさせていくと健康な身体になり、大人になっても健康でいられる。 ■町民の方が健康作りに一生懸命取り組んでくださるところ。 ■健康診断等を継続するところ。 ■緑豊かな自然を大切に、まず町民の健康づくりに取り組む運動に力を入れる。 ■ことぶき学級を大切にする。 ■運動だけでなく、他の事で集まる所。 ■だれもが健康づくりに気軽に参加出来るようになったらと思います。 ■健康診断、カーブス、ゲートボール、グランドゴルフ、ベタンクなどの運動。 ■検診などはないのでこのまま残す。 ■歩く事！

【2】10年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■元気に過ごせるまち。 ■少子高齢化が少しでも改善され、高齢化を支える人の人口が増える。 ■高齢になっても生き生きと暮らせる町。 ■医療等の心配がなく安心して暮らせる町。 ■病院の先生が話をちゃんと聞いてほしい。耳鼻科、皮膚科が増えてほしい。 ■保健、医療の充実。 ■老後安心して生活できるまち。一人暮らしの老人も安心して暮らせるまち。車を運転できなくても安心できるまち。 ■高齢者や子供など全ての世代が運動を通して健康寿命を伸ばす。 ■ジムのような年齢関係なく、集まって運動できる場所があり、全ての人が健康を維持できる、そういった機会にアクセスできる環境。
25 歳～29 歳	■今のままでも十分。 ■高齢者に対しても高齢者を介護する方々に対しても支援の厚い町。 ■いつ参加しても楽しめる場所。 ■健康でいられる町。 ■高齢者の方が住み慣れたこの地で、様々なサービスが提供され、受けられること。
30 歳～34 歳	■生涯現役でもっと楽しめるまち。 ■健康で生きると何かの税制優遇があること。
35 歳～39 歳	■国保が日本一安い町。 ■みんなスポーツや筋トレにいそしむ。 ■それぞれの個人が感情の仕組みを理解して、笑顔で穏やかに過ごせる人が増える。自分で自分の気持ちを汲み取れて、他者との違いを認め合える関係性。 ■高齢になっても引越す必要がなく、生涯のびのびと過ごせるまち。 ■年をとっても楽しめる街。 ■まちで健康づくりをおこなえる。 ■高齢化も進んでいるので、何かあった際の救急車到着時間を早くしてほしい。 ■地縁のつながりが残っているまち。 ■空気がキレイなまま。 ■様々な年代の人が一緒にスポーツなど楽しめるまち。病院は米子まで出ているという人が多いので、とくに小児科など、町内でも病院が充実してほしい。 ■生涯現役で楽しめる町。
40 歳～44 歳	■スポーツジムみたいなのが無料もしくは安く手軽に利用でき、元気で長生きできる人を増やすまち。 ■スポーツイベントの充実。 ■現状が続いて欲しい。 ■健康寿命の長いまち。 ■元気なご老人がいるまち。 ■保健業界の拠点。 ■健康寿命が長い長寿の町。 ■必要な医療を必要なときに受けられるまち。 ■途切れない支援が受けられる町。今は、縦割り行政のため、子育て支援センターを卒業したママの居場所がないなど、手厚い支援があっても、ブツリと切れて、その狭間で困っている人がいると感じる。 ■精神障がい者、発達障がいなど精神障がい者にも優しい町。
45 歳～49 歳	■安心してかかれる医師がいる。 ■タバコと酒の独自規制の成立。 ■元気で何かしら働けるまち。 ■病院の充実。 ■健康寿命を長くしたい。 ■米子に行かなくても、町内で専門医に見てもらえるようになればうれしい。（小児科、眼科、耳鼻科など）
50 歳～54 歳	■定期健診が受診されて、健康な町民が多いまち。 ■医療機関が充実して米子まで行かなくてもすむ。 ■皆が健康であるまち。 ■子供と高齢者がいきいき暮らせるようなまち。 ■訪問系サービスの充実。 ■長寿の町になって欲しい。 ■町医者が一部地域に集められている場所があり、その周りに高齢者、障がい者が生活する場所がある。

50 歳～54 歳	■現役世代を含めた健康対策のある町。 ■健康寿命が延びるまち。 ■近隣の方の連絡体制をよくして、犯罪をなくしたい。 ■今ある病院が閉院せず、受け継がれ受診できるまち。
55 歳～59 歳	■一生涯元気で楽しめる町、助け合いができる町づくり。 ■夫婦が生涯健康であること。 ■笑顔で青空のしぜんと人が集まる体操の場。 ■生涯現役で楽しめるまち。健康寿命が長い。 ■いろんな分野の病院が増えている。 ■皆がスポーツに親しめる施設がある。 ■病気、寝たきりになっても安心して暮らせる在宅医療の充実。 ■皆が笑顔で長生き出来る町。 ■ガンマーカーやがん検診を 40 代以上には隔年でもよいので無料になって欲しい。
60 歳～64 歳	■自分で生活が出来る年齢を上げていく取り組みを行い、あまり医者にかからない。老健施設に入居者が少ないまち。 ■もう少し病院が欲しいです。 ■10 年後といわず、大山賛歌体操は暗いので今すぐ改善を。 ■子供医療費の無料化。 ■いきいきと生活できるまち ■90 歳過ぎのヨタヨタだった人がスタスタ歩ける様になったと聞きました。農業をしている人に腰痛を抱えている人が多いので、プールでの水中ウォークは続けていって欲しいし、もっと効果をアピールしても良いと思います。 ■男女ともに風疹、子宮頸がんワクチンを打てる人は打てるようにしてほしい。
65 歳～69 歳	■気軽に行ける健診（行かない人が多い）。 ■安心して住むためにも、保健師さんたちの見守り活動を重点にしていこう「見守られている大山町」になって欲しい。 ■皆が集える場所がない。昔は集落で顔を合わせる機会があったのに、今では顔を合わせる事が少ない。 ■カーブス、ブルーディア…必ず健康への貢献、健康度の底上げにつながる。＜町としても力入れをもっとすべき＞ ■たとえ寝たきりになっても生活をサポートしてくださる方に恵まれ心は元気に過ごせる町であってほしい。 ■寝たきりになるお年寄りをできるだけ少なくする。医療費などの削減が図れる。 ■県外から帰ってきた人をあたたかく迎えてくれる。移住者とのコミュニケーションがとりやすい環境がある。 ■高齢者がウォーキングを楽しみ健康維持できる。 ■生涯現役で楽しめる町。
70 歳～74 歳	■住み慣れた所で生涯を終えるための行き届いた支援のあるまち。 ■生活、医療など、一人暮らしでも山間地でも住みやすい場所。 ■自立した町民の健康のための土台作り。 ■健康寿命全国一。 ■明るく、楽しく生活できる町、病気になっても安心して暮らせる町。 ■全世代の人が楽しく暮らせるために地域内交流行事が盛んになる町。
75 歳以上	■鳥大病院との今以上のネットワーク。 ■移住者を増やす環境づくり。交通機関の整備と買い物（特にスーパーの充実）。 ■高齢者が楽しく暮らせる町。 ■地域のつながりが感じられる。 ■生涯現役 楽しいは健康。 ■町立、私立を問わず診療所が存続する大山町であってほしい。 ■健康、医療、生活面を助成していかれると、人も増え雇用も増え、産業も増え活性化するのは。 ■町民が皆で取り組む町。 ■「生涯現役」が無理なくできるための健康で医療環境の充実を実現させたい。 ■老人が元気になる町。 ■人が集まる町。 ■町民の多くが生涯現役で人生を楽しめる町。 ■ブルーディア、カーブス）半額補助、生涯、人間ドッグ（41 歳以上、助成金、同額にて。 ■運動などで体力作りが出来る町。 ■通院の心配がないようになってほしい。 ■現状維持！ ■障がい、独居、ひきこもりで常に声をかけイベントなどに参加を呼びかける町。

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■健康管理。 ■運動に対しての呼びかけ。 ■どうしたら運動をする人が増えていくのか考える。 ■定期的に運動する。
25 歳～29 歳	■バランスの良い食生活。 ■健康に気を付ける。 ■予定が合えば積極的に参加。 ■健康に気をつける。 ■高齢者の方が住み慣れたこの地で、様々なサービスが提供され、受けられること。
30 歳～34 歳	■健康に気を付けて生活する。 ■健康に気をつける。
35 歳～39 歳	■安心安全な野菜を作る。 ■とりあえずカーブス続ける。 ■貯金。 ■健康に気をつける。 ■地域行事に積極的に参加する。 ■様々な活動に参加する。 ■退職後も活動できるような場を作る。
40 歳～44 歳	■食や運動の知識をつけ実行すること。 ■3食食べられる生活。 ■健康診断を受ける。 ■食事管理。 ■健康に気を付ける。 ■健康寿命を意識する。 ■かかりつけ医をもつ。 ■人と人をつなぐ。人と場所をつなぐ。リンクワーカー的な動きをしていく。
45 歳～49 歳	■町内で受診する。 ■元気である。 ■体力、ボケたりしないでみんなに迷惑かけない。 ■健康に気を付けて生活する。 ■体を動かす。周りの人の健康も気に掛ける。
50 歳～54 歳	■定期検診を受ける。 ■毎年、健康診断を受ける。 ■日々食生活や運動をできることを無理せず、少しずつする。 ■身心共に健康であること。 ■自分の健康に気を付けて過ごす。 ■健康第一。 ■健康を意識した生活をする。 ■地道に生活する。
55 歳～59 歳	■健康で長生きする。 ■食生活より健康管理（体操）。 ■体操をする。 ■運動する。健診を受ける。 ■健康な体づくりに努力する ■地域での声かけ。 ■アルツハイマーやうつ病、癌などの新薬ができるかもしれない。そこへの投資。 ■各種スポーツ活動に参加すること。 ■家族に声をかけて無料検診に行き、みんなで自分の健康を意識して大切にする。
60 歳～64 歳	■定期的に健康診断を受診する。 ■地域の話し合い。 ■まず私自身が食事、運動等の習慣に気を付けて楽しく気持ちよく生活すること。 ■カーブスを活用。 ■食事や健康に気を付けて生活すること。 ■若い人達への負担を減らすためにも病気の予防と今飲んでいる薬を減らせるように心掛けていきたいです。 ■根拠のない陰謀論に惑わされないようにする。
65 歳～69 歳	■毎年健診を受けていることを伝える。 ■自分自身の体や心の声を聞きながら、自らも学びいかに生きるかを考えて生活していく。

65 歳～69 歳	■病気にいかからず、自分自身や家族が健康な心と身体でいること。 ■ブルーディアを続けられるだけ続けて、低医療費に貢献したい。 ■車いすで生活しています。毎日ヘルパーさんに来てもらっています。誰かのために何もできませんが、一日一日大切に生きることを心掛けて行こうと思います。 ■健康を意識して生活する。 ■各運動等の参加により年を重ねても健康で生活をする。 ■とにかく体を動かすこと。 ■出来るだけ体を動かし、出来ることを積極的に行う歩くこと、そして仕事をする。 ■町民総健康づくり運動に参加すること。
70 歳～74 歳	■健康に気を付けて生活する。 ■元気で動ける体を維持できるよう努力する。 ■年を取っても自分のことが自分でできるために必要な日々の努力。 ■みんなでできる体操。 ■健康で人に迷惑かけないように生活する事。 ■心身ともに自立した生活が出来るよう日々努力する。 ■健康には気を付けているつもりですが、まだまだ。 ■血圧測定、運動等出来るだけ自己管理に気を付ける。 ■友達、相談できる人を作ること。 ■親しく付き合える人を一人でも多くする。
75 歳以上	■病院の世話にならない。 ■健康に気を付ける。 ■健康第一に日々体を動かして活動する。 ■挨拶、大声。 ■子どもが大人の老化とはと、関心、考えられるように地域教育に力を入れる。 ■ピンピンコロリをめざしてがんばりたい。 ■食事、運動に気を付けて動けるうちは働けること。 ■出来る限り、与えられて外出できること。 ■健康に気を付けても、沢山の添加物、農業、肥料、除草剤を使った食品を食べているから健康にもなれません。そういった物を使わないような食材を食べると健康になります。 ■何よりも健康が一番ですがボケないように会話を楽しむ仲間づくり。 ■自立した生活が死ぬまでできるよう健康に留意する。 ■体力強化に努める、プール、リハビリ。 ■出来るだけ体を動かし、出来ることを積極的に行う。 ■一人一人が健康に気を付ける。 ■まず自身が健康であるよう努める。 ■運動。 ■認知症にならずに米作農業が続けられたらと思います。 ■頭と体を使うよう生活の中で努力している。 ■私は健康に留意し食べ物はバランスよくとっていますし、体操など出来る範囲で頑張ってます。 ■健康！ ■現在の新聞配達と妻木晩田ボランティアを続けること。

⑤福祉・人権

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■福祉サービス、施設、人権学習。 ■自分の意見を持ち、言いたいことが言える。 ■町民も移住者も全ての人をみんなで受け入れる雰囲気。
25 歳～29 歳	■人間感覚が高いところ、広報誌などで人権のページがあるところ。 ■人権教育を行うところ。 ■性別、年齢関係なく平等で生活できるところ。
30 歳～34 歳	■誰もが自分らしく生きられるところ。 ■周りを気にしないで生きられる社会。
35 歳～39 歳	■「支えあいのまち」である所。 ■障がい児に対しても優しい心を持って接してくれる子供達。 ■誰もが自分らしく生きられるところ。 ■近所の人、誰もが顔見知り。 ■誰もが自分らしく生きられるところ。
40 歳～44 歳	■安心して治安良く暮らせるところ。 ■他人を大切にする。 ■障がいがある人が安心して暮らせる町。 ■人権教育。 ■皆が暮らしやすいところ。 ■人権を政策の柱に。 ■風通しのよいところ。 ■人権センターが良い講演会を定期的に行っている。
45 歳～49 歳	■一人でも不安なく暮らせる。 ■学習会を無くす、地域で区別をしない。 ■子どもたちからの人権教育。
50 歳～54 歳	■今の様に、人権教育を住民に対して行って欲しい。 ■住み慣れた土地で生活できること。 ■町民が大事にされるまち。 ■放課後等デイサービスがあるまち。ペアトレができる町の職員さんがおられるまち。ファミリーサポートセンターがあり子育て中の人に頼れる選択肢があること。
55 歳～59 歳	■隣近所がわかること。 ■人に迷惑をかけたくないという日本人としての礼儀。 ■好きなことをやれるようにやる。
60 歳～64 歳	■誰もが声をかけ合う事。 ■互いに尊重し合う。 ■高齢者施設が充実しており、デイサービスはもちろん、入所も待たされず可能なのがよい。 ■人手不足から高齢者が働く事がようになってきているが労災が多いので事故の多い職場はハローワークの対象から外すなどして対応してほしい。
65 歳～69 歳	■いろいろの事情に寄り添った先進的福祉の町。 ■人権問題は難しい。 ■人の悪口は言わず、考えは発信できる、困っている人を見捨てない。 ■立ち入りすぎない。（つかずはなれず）、家族のような関係。（近所方々等と） ■他人を大切にすることを学ぶことが、結果的に自分を大切にすることの現実。 ■差別なく誰もが笑顔で暮らせるところ。 ■他人の大変さがわかる。 ■誰もが自分らしく生きられるところ。
70 歳～74 歳	■大切な場所。 ■安心して暮らせるところ。部落内のあたたかいつながり。 ■地域。 ■福祉が充実していてこそ大山町、町が意識してほしい、今以上に！ ■誰もが楽しく暮らし、他人と親しく付き合える。
75 歳以上	■近所の関わり。 ■イベントが増えると人との和が出来る。 ■自分らしく生きられるということは、自分可愛いで、人を思いやる心が失われていく、人を思いあって皆が楽しく生きられる町に。 ■係りの方が一生懸命取り組んでくださること。

75 歳以上	■福祉の充実。 ■安心、安全な町作り。 ■誰もが自分らしく生きられるところ。 ■現状のままでよい。 ■あらゆる行事、イベントに声かけをすること。（制度化）
--------	---

【2】 10年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■町民全員が笑顔のまち。 ■「〇〇な人」ではなく「ーさん」というように、一人一人の個性を尊重し、偏見や差別的考えがない。 ■福祉サービスの充実。 ■個別性が尊重され、人それぞれの人生を過ごすことができる。 ■悪い噂ではなく、良い部分が広まり活かされるまち。さまざまな価値観が理解されるまち。 ■家庭の事情に左右されることなく、子供から高齢者までが自分らしい生き方をできるところ。
25 歳～29 歳	■誰もが安心して住めるまち。 ■価値観の違いがなく一人一人の人権が守られるまち。 ■さまざまな福祉のサービスを受けられること。
30 歳～34 歳	■様々な価値観が理解しあえるまち。福祉サービスも充実しているまち。 ■多様性を認める。
35 歳～39 歳	■「支えあいのまち」が続きますように。 ■障がい児を育てる家庭の大変さが理解される町。 ■移住して 10 年程になりますが、何年経っても余所者には住みづらさが残ります。部落関係や、人付き合い。支え合い助け合うには干渉も必要なのかもしれません。様々な価値観、色々な家族の形、人の個性を理解してほしいとまでは思いませんが、見守る事ができる町であってほしいです。 ■孤独死の無い様に。 ■さまざまな価値観が理解される町。
40 歳～44 歳	■オープンマインドな人が増えるまち。色んな人のこと理解を自然とできるまち。（広報や放送とかで） ■年齢問わず理解する。 ■すべての人が希望をもって暮らせる町。 ■皆に優しい町。 ■部落課題の解決、進展。 ■人権尊重が出来る人が多くなる ■女性や若者が、おじさんに気をつかわないまち。 ■人権センターの講演会が、人権センターだけでなく、休日の図書館で開かれるなど、一つの施設で完結せずに、興味なかった人でもその会に参加できるように重なり合うとより良いと思う。
45 歳～49 歳	■高齢者が外へ出られるための支援（家族ではなく）。 ■体の不自由な人や困っている人も窓口に行かずともどうすればいいか教えてくれる。 ■いろいろな価値観が大切にされる。 ■住んでいる場所や人種や性別で差別されない町。高齢者が安心して生活できる町。
50 歳～54 歳	■誰もが「自分らしく」生きられるまち。 ■交通の便を良くする、バス、安いタクシー。 ■生活弱者が住みやすい町。 ■保育所や小学校での子ども同士の関わり合いが小さいコミュニティだからこそ大切でその親の意識も大切、いろんな人間の中でお互いを大事に思っていて欲しい。 ■思いやりの気持ちをもって、子供たちが成長して欲しい。 ■障がい者やまだ働ける高齢者、若者が一緒になって働き生活を共にできるコミュニティ。 ■住んで良かったと思えるまち。 ■放課後等デイサービスが今より増えているまち。B型事業所、生活介護事業所、グループホームが増えているまち。障がい児（発達障がい）の保護者対象のペアトレをおこなうまち。ひきこもりについての把握、支援が具体的に考えられているまち。

55 歳～59 歳	■支援を受けられる場が増える、選べる。 ■偏見、差別のないまち。 ■福祉が充実しているまち。 ■若い人、中高年のシェアハウス。高齢独り住まいでもずっと安心安全で暮らせる福祉のセーフティネット。 ■日本人としての礼儀正しさが維持されていること。 ■いろいろな価値観を尊重され、障がいがあっても自立して暮らせる。 ■誰もが尊重される町、働く場があり生活する場所があること。 ■誰にとっても居心地の良い町でありたい。
60 歳～64 歳	■高齢者、認知症などの方、買い物困難をサポートし楽しく生活する事。障がいのある方も安心して住める（生活できる）地域体制。 ■福祉に手厚いまち。 ■老人には住みやすい町、介護認定が厳しいと思われる。ほかの市町村に比べ認定をなかなか出してくれない。 ■区別をしない町でも尊敬される町。 ■障がい者や高齢者をよく見かけるまち。高齢者が元気なまち。 ■差別と区別の違いをわきまえてほしい。
65 歳～69 歳	■貧富の差ではないが、家柄がどうのこうの…まだ続いているからなくなると良い。 ■地域の中で、子供もお年寄りも皆、障がいのある人もない人も仲良く暮らせるまち。 ■特に人権教育は、消極的になってはいけないもの。過ぎるくらいが結果を生む。全ては自分に返ってくる。 ■子供達が伸び伸びと育っている町。 ■様々な価値観が理解される町。 ■地域での支えあいができる。 ■様々な価値観が理解され、自分らしく生きていける町。
70 歳～74 歳	■何かの理由で町を出てもいつでも帰れる場所。 ■利他の心が育つような余裕のある生活ができるまち。 ■高齢者も住みやすい町。 ■集落の中で気軽に集まる場所があり、交流ができる。 ■自分らしさ認められる町。
75 歳以上	■多国籍の人が安心安全で暮らせる街づくり。 ■気づかい、気づきあい。 ■子供が多様な生き方、考え方ができるように大人が価値観の多様化を示す。 ■老若男女を問わず同等に尊重される。 ■10 年後は現在と違ってきていると思う。人との和は変わらないと思う。 ■今の若い人達は、自分勝手な考えで自分の生活を守らないといけないかも知れませんが、親達も家族なのだから一緒に生活をして守っていくのが家族ではないですか？そういった道徳精神を教えることも人権ではないですか？ ■高齢者も自分で買い物が出来るように週 1 回程度定期的に食材の店に連れて行っていただきたりするシステムを希望します。10 年よりもっと早くに。 ■会話と歌声の響く町、笑いのある町に。 ■1 人 1 人が生きやすいまち。 ■安心のできる町作り。 ■誰もが大山町に住んでいて良かったと話せる町。 ■現状が長く続く事。 ■おせっかいな人を増やす。（県とタイアップして）

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■個別性への理解と、人それぞれの意見の尊重。 ■いろいろな価値観に触れるとともに周りに発信する。
25 歳～29 歳	■いろんな価値観があるのは当たり前だという意見を持ち続け、自分と違う考えを恐れない。 ■価値観に触れる。 ■様々な方と会話したりして触れ合う機会をもつ。
30 歳～34 歳	■いろいろな価値観に触れて視野を広く持つ。 ■否定しない。
35 歳～39 歳	■たまに人権セミナーを開きに行く。 ■自身の辛さをいろいろな人に訴える。

35 歳～39 歳	■声かけ。 ■いろいろな価値観に触れて視野を広く持つ。
40 歳～44 歳	■いろいろな人と触れて経験を積む。人の気持ちを察し、コミュニケーションをとる。 ■人間関係を大事に。 ■先入観なく話を聞く。 ■視野を広く持つ。 ■価値観を理解する。 ■おじさん文化の打破。 ■なるべく人権センターの講演会に参加してみる。
45 歳～49 歳	■携帯で調べ知っているところは教える。 ■自分と他人との違いを理解すること
50 歳～54 歳	■偏見を持たず、人と付き合う。 ■母子家庭等に手助けをする。 ■興味を持っているんな人の話を聞いたり、勉強したりしたい。 ■時代に沿った人権感覚を身に着けたい。 ■介護 20 年の経験を活かせる。 ■周りの人を尊重する。 ■インスタなどでの大山町の宣伝。 ■発信する。
55 歳～59 歳	■誰もがいろいろな価値を広くしていけたら。 ■困っている方へのちょっとした手助け。 ■講演会などで話を聞く。 ■年代を越えてのコミュニケーションをとる努力。 ■日本人としての礼儀正しさを維持していくこと。 ■沢山の人と関わりながら理解を深める。
60 歳～64 歳	■地域のつながりの強化。 ■自分の知る人達が平安に暮らせる様に自分の力を尽くすこと。 ■平等な心を持ち続ける。 ■多様性という意味を少し考える。
65 歳～69 歳	■地域の役をもらった時は、一生懸命つとめる。 ■いつか人のお世話になるので元気なうちはできること、仲良く暮らす行動をしていきたい。 ■相手の立場に立って物事を考えたり接したり。 ■町の施策を応援していく一員であり続ける。 ■外に出ることが出来ず、何もできませんが、将来のある子供達が元気に育つことを願うだけです。 ■いろいろな価値観に触れて視野を広く持つ。 ■適度な運動を継続して健康を維持し他人に迷惑をかけないように努力する。 ■公民館などを利用していろいろな価値観に触れ、視野を広げる。
70 歳～74 歳	■いろいろな価値観に触れて視野を広く持つ。 ■自分の意志を通すだけでなく、人の意見を聞いていろいろな見方を探す。 ■多様性を認める心を持てるように努力する。 ■集落内の行事に加え、他集落にも気楽に行けること。
75 歳以上	■視野を広く持つ。 ■一人合点で言動しない。 ■人との感性でいろいろな価値観に触れると視野が広がると思う。 ■体力維持に努める。 ■視野を広く持つために、人が多く集まる所へ行くよう努めます。 ■会合やボランティアに参加し協力する事。 ■一人身の老人をどこでもいつでも連れていく。

⑥移住・定住

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■移住者も活躍しているところ。移住したいときに相談できる人が大山町内にいるところ。 ■移住・定住サポートが手厚いこと。空き家を積極的に利用できること。
25 歳～29 歳	■空き家ということがもっとわかる所を作って欲しい。 ■空き家の補助金。 ■支援金。 ■分譲地を作り安く土地を利用できるところ。 ■移住、定住の際に受けられる助成金の存在は大きいと思います。
30 歳～34 歳	■空き家バンクを積極的に利用できるところ。 ■（難しいけど）過疎化しないでもらいたい。 ■米子や日吉津のように、大きいスーパーが近くにあると、片道 20 分かけて買い物に行く必要がなくなるので助かります。A コープが無くなったとき、この地域はかなり危ない状態になったと感じましたが、M マートが引き継いでくれたので助かりました。
35 歳～39 歳	■移住、定住はすすめる必要がないと思う。 ■移住者が増えてにぎわっているエリアはあるが、急に過密になったようにも見える。他の過疎地域への対策の方も進めていくと良いと思う。 ■空き土地におしゃれなカフェができたところ。 ■空き家を利用できる。 ■自然を求めて県外から移り住む人数多いところ。 ■土地か余っている。 ■新居を建てる時補助金が出ること。 ■地元のマインド（地元でも中山、名和、大山は違う）※空き家って何十年も前からこうなるのはわかってましたよね？ナスパルはそうならないように。
40 歳～44 歳	■空き家活用。 ■魅力を発信。 ■不動産が安い。 ■移住者へのサポート。 ■価値の検討。 ■U ターンする人がいること。 ■空き家バンクがあるところ。
45 歳～49 歳	■空き家が多いので、利用する人の補助金を増やす。 ■利便性の良い場所の宅地。 ■移住の人のサービス。 ■家を建てる時、補助があるので助かる。
50 歳～54 歳	■空き家や山林、使っていない田畑を利用する。 ■移住のハードルが低いところ。 ■空き家、利用。 ■移住に関しては引っ越し費用（500 km 以内）を公費で負担する（5 年は必ず定住条件など付ける）上限 30 万まで。 ■移住者に町の良さを紹介する。 ■静か。 ■空き家を無くしてゆくこと。 ■県外にいても空き家情報、町営住宅の情報収集ができること。 ■住めることができる空き家。
55 歳～59 歳	■空き家が自分のところでは結構多いので。 ■地元民へのあいさつ。 ■自然豊か。 ■きれいな水、川、海、山、静かな夜。 ■空き家を利用する事は必要だが、地域に馴染めるように関わる。 ■仕事をする場所や種類が少なく定住はあまり期待できません。 ■人口増につながる空き家の利用は今後も増える。積極的な利用促進を大歓迎。 ■空き家が増えていることが予想されるが、利用のためのサポートがあるところ。
60 歳～64 歳	■インフラを固定するための移住、定住促進。 ■空き家の利用促進。 ■都会にはない思いやりのある人間関係。

60 歳～64 歳	■空き家に移住者が増え活気が戻るのはいい。 ■空き家、空き土地の活用。 ■少なくとも元気な内に我が家の土地の廃家をきれいにし、断捨離を進める。 ■宅地に変え定住者を増やす努力をしているところ。
65 歳～69 歳	■地域の結びつきが強く、協力的。 ■若者が取得できるよう補助金を出しているところ。 ■古民家を利用して、色んな業種でにぎわって欲しい。 ■外から来られた方々へのリスペクト。 ■高齢化等で耕作しなくなった田畑の活用。 ■空き家情報の発信による移住者へのアプローチ。 ■部落内でも空き家が多い。空き家を利用してほしい。ほっておけば、草が繁茂し、崩れる家屋になる。
70 歳～74 歳	■空き家を積極的に利用する。 ■海山の環境改善、空き家の利用（無料貸与）町の補助。 ■空き家を利用して様々な活用をしているところ。 ■地域で気楽に起業できるまち。 ■子供の成長環境として自然は大事なことです。
75 歳以上	■空き家等、東南アジア、中国の若い人に利用させたい。 ■思いやり。 ■古き良きものを大事にする。 ■空き家が多く減り、なんとか移住者を定住出来るように町も協力してあげて、地域活動にも参加できるように持っていけたらと思います。 ■若い人が多くなるといい！ ■空き家を生かして「人助け」や「移住者・来訪者」に提供することで「交流人口」が増やせる。 ■空き家の活用 ■大山町佐摩周辺ですが何軒か移住されてこられている方がありますがここでは日本海、大山見晴らしがよく、農協跡地、住宅団地等空き家だけでなく検討を！ ■新しい住宅地、住宅も増えることも良い。空き家をもっと宣伝して入居者を増やす。 ■空家・野放しの田畑を有効活用する。 ■築き会はこれまで通り、条例をつくって家・屋敷を町に寄付できるようにする。

【2】10年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■町内の人（地域住民）と移住者がより良い関係を築きながら地域を盛り上げている町。 ■空き家ゼロへ。 ■最低限生活必需品などはすぐに手に入るなど、移住後も大きな負担なく暮らせるまち。
25 歳～29 歳	■移住者が増える。 ■移住する場所の利便性を考えたまち。 ■多種多様な人々が平等で暮らせる町。
30 歳～34 歳	■移住者と定住者が両方とも負担感なく生活し続けるまち。 ■持ち家が老朽化した場合の改修工事も補助出来る。 ■若者に多く移住してほしい。地方特有の強すぎる住民同士のつながりが解消され、若者も住みやすい環境になってほしい。
35 歳～39 歳	■大山町外の人に来ない町。 ■移住者が増えたエリアは、以前ののどかな風景から一変してしまったので、都市化しすぎないように調整したまちづくりができればいいと思う。 ■建物やお店がおしゃれ。 ■移住者も負担感なく生活できるまち。 ■たくさん人が住める町。 ■移住者向けの空き家の賃貸事業が流行っている。 ■移住者の増加。 ■移住後、自然と打ち解けやすいよう、交流できる場などたくさんあるといいなと思う。 ■一部の移住者が悪目立ちしすぎていて「移住者」と「地元」の間には大きな距離があります。中には良い人もいるので、少しずつ距離が縮まれば。
40 歳～44 歳	■空き家のリフォーム補助 or 撤去補助。ゴミが捨てやすい。回覧板の頻度少ないまち（メールとかで）。

40 歳～44 歳	■ 空き家への移住者が増えて、活性化していければ…。 ■ 移住体験の充実。 ■ 移住者を応援できる町。 ■ 移住者にもオープンなまち。 ■ 住みやすいまち。 ■ 利用できない空き家や墓が増えない。 ■ 同級生がたくさんいるまち。 ■ もっと空き家バンクに家が増えて、選べるようになると良い。 ■ 空き家の管理や維持が負担です。経済状況、家庭環境もバラバラだとは思いますが、個々が早い段階からそれを意識して暮らせるような、空き家管理マニュアルや基準整備が、あればありがたいです。(家を建てる段階からすぐ先の将来を検討したり、早めに不用品を整理したりするような意識改革。)
45 歳～49 歳	■ 古民家活用。 ■ 不便な所がないようにできること（バスや交通系）。 ■ 人が増えて、住民税が減って欲しい。 ■ 生活空間（買い物出来る店、子供の助成金など）を充実し、生活が楽しくなる空間。 ■ 移住者＝よそ者という感じの見方をなくしていきたい。 ■ 大山町で生まれ育った子ども達が大山町に住みたいと思ってもらえるような町。移住者は、大山町のことを理解してから移住をしてほしい。（選んできてもらいたい）
50 歳～54 歳	■ I ターン、U ターン受け入れ、人口増加。 ■ 移住者が増えて子供たちが生活しているまち。移住者の職のあるまちづくり。 ■ 移住者が多くいるまち。 ■ 空き家を活用したいろんな使い方。 ■ 移住者であふれる町。 ■ 移住者を増やすなら、仕事できる場所の確保が必要。農業しかなく、農業をするにも農機が高い、助成金や地域の力を活用すべし。 ■ 入町者への理解がある町。 ■ 移住者が増えるまち。 ■ 道路沿いや住宅地に街灯が増えてほしい。夜暗すぎてとても怖い。灯りがあるところに人は集まるので、せめて街灯はもっともって増えてほしい。 ■ 差別は今も薄い、さらに無くしてほしい。 ■ 生活できるだけの収入が保障され、就労先の情報提供が多数あり、I ターンで移住してくる核家族への支援が充実しているまち。町内や県内に頼れる身内がないためのサポートがあるまち。これまで町内に来られた移住者から良い点、困った点などの意見を拾い、反映しようとしてくれるまち。今の自然豊かな環境を大切に、移住者からみた魅力ある大山町を残しつつける。農家でなくても農地を買える特例システムがあるまち。 ■ ただの空き家ではなく、賃貸一軒家として利活用ができるまち。
55 歳～59 歳	■ 交通の便の獲得（年配者）。 ■ 町外からの移住者が増えている。 ■ 空き家を再利用。 ■ 移住者も安心して暮らせる町。 ■ 大山町に住みたいと願う人が県内県外のどちらからも増えること。
60 歳～64 歳	■ 転入者の受け入れ優遇。 ■ 移住者の増加、20～40 歳位の働き世代の増加。 ■ 若い移住者が住みたいと思うまちを作る。その人達が就ける仕事を作る。 ■ 選んで住んでもらえるまち。U ターン、I ターンして起業する人たちへ手厚い支援をするまち。休耕田を活用して宅地や企業誘致のための土地利用ができるまち。 ■ 定期的に点検、メンテナンスできるようにしてほしい。
65 歳～69 歳	■ 家と家とのつながりが希薄にならないように。 ■ 町内外よりたくさんの人たちを受け入れともに暮らせるまち。 ■ 空き家が増えないように。 ■ 住み心地の良い街。 ■ 移住者を逆に皆で応援をしていくことが当たり前の町になりたい。 ■ 仕事もあり、若い移住者も増え、もう少し活気ある町。 ■ 移住者も負担なく生活できるまち。 ■ 移住者が増える魅力あるまち。 ■ 空き家を利用して、移住者を増やしてほしい。 ■ 移住者も、大山町の良いところを取り入れて生活できる町。

70 歳～74 歳	■空家家をたくす。 ■なわのわでは移住者の皆さんが頑張っている（すごい！） ■定住者の安定生活ができる町になって欲しい。 ■できる範囲で農地を宅地に変更し町外から移住できるよう町が取り組む。 ■空家がないこと ■若い移住者が増え、子育てを地域の人達皆でする。 ■空家を利用した文化発信センター。 ■移住者と親しく付き合う地元民の心の暖かいまち。 ■働く場所がもっと増えること。
75 歳以上	■移住者を応援する。 ■家にとじこもらず地域活動に参加する。 ■地域活動に積極的に皆が参加できるように、若い人は若い人なりに老人は老人なりに楽しめるように町が積極的に進めてほしい。 ■皆が参加して楽しめる活動、集落の中でもっと集まって楽しむ機会をいっぱいつくる。 ■「コミュニティビジネス」のサポートと啓発がもっと必要。先進諸国にも途上国にもモデルが多くある。 ■移住者を積極的に受け入れる。 ■公民館活用に協力する。 ■自宅が空家にならないよう努力する。 ■町づくりコンサルタント。

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■空家を改装し貸し出す。 ■地域のお店の積極的利用に努める。
25 歳～29 歳	■地域活動に参加する。 ■町のイベント等に参加する。
30 歳～34 歳	■地域活動や伝統行事に参加する。 ■税金納付。 ■地域活動への参加。 ■大山町の移住者や、その移住理由などを知る。移住者を増やすための政策や活動が行われているかを調べてみる。大山町の魅力・長所・短所・改善点について町外・県外の人など様々な人に聞いてみる。
35 歳～39 歳	■色んなおしゃれな街並みを見て勉強する。 ■不要な地域活動をやめること。 ■地域の活動に参加する。 ■大山町を売り物にするのではなく、ここでしかできないこと、暮らしを実現しに来てほしい。そんな場所をつくる。
40 歳～44 歳	■面白い企画を考えて提案。 ■イベント参加。 ■移住の相談に乗る。 ■節水。 ■地域活動に参加する。 ■手をかけ過ぎずに、住みやすい街にする。 ■同窓会で大山町のよさをPR。 ■間にNPOなどに入ってもらってはどうか。
45 歳～49 歳	■雪が降ると家から出られなくなることがなくなって欲しい。 ■移住の人と仲良くする。 ■子どもを大切に育てる。また、自分の子どもだけではなく、他人の子どものことも気に掛ける。
50 歳～54 歳	■山林、田畑を有効に使える事業を立ち上げる。 ■移住者との積極的な交流。 ■県外に大山町の良いところを発信する。 ■健康に気を付ける、ストレスをためない。 ■起業もしくは農業、福祉、色々な選択肢はあるが大山町としての支援は？ ■各自治会、自衛組織への協力。 ■地域を盛り上げる。 ■ボランティア活動への参加。 ■理解を深める。
55 歳～59 歳	■移住者を気持ち良く受け入れる。

55 歳～59 歳	■新たな産業で安定的な高収入が望める事業を展開すること。これは私にできるかどうかはわかりません。 ■公の主催、任意団体のクラブ活動に参加する、年齢にあったクラブに参加する。 ■大山町の良さをもっと PR できたらしたい、職場とか趣味の仲間にも伝える。
60 歳～64 歳	■地域の会合に参加する。 ■地域活動、参加。 ■地域の農家で団結して美味しい野菜を作り白ねぎやブロッコリーの様にブランド化出来ると良いのですが。 ■仲良くする。今はこれだけ。
65 歳～69 歳	■集まりには積極的に出かけ、他の人も誘う。 ■地域に入ってくれた方達に親切にすること。 ■応援する一員となります。 ■現在の環境を維持管理していく。 ■地域活動に参加する。
70 歳～74 歳	■集落の行事に参加する。 ■定住に向け地域内行事に誘う。 ■自治会運営に協力する。
75 歳以上	■建築物や構築物にもっと木材を使ってもらいたい。 ■水道、下水道の充実。 ■例えば、範囲を決めて、部落ごとに草刈り等をして保守する。 ■不便を便利と感じられる自然のままを大切にする。 ■子どもが意識しない安全な道路、危険個所を整備し、そして安心して飲める水道と農業用水道の違いを教える。 ■図書館の量がもう少しあればよいと思う。 ■今のところ不便さを思わない。 ■不便のないインフラがあるところ。 ■美味しい水、整備された道路、田園風景。 ■今のまま続行がいい。 ■特に山間部の放棄地～植林して周囲の水利を町が管理。

⑦道路・水道

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■水道水がおいしい。 ■現状維持。 ■おいしい水が飲めるところ。街灯の取り付けなど足りない部分が早いうちに解決されるところ。
25 歳～29 歳	■水がおいしい。 ■適度に道路の舗装をしてくれるところ。 ■現在特に困っていることはありません。
30 歳～34 歳	■不便のないインフラがあるところ。 ■バイパスが通ったおかげで交通の便が良いところ。 ■良い水。 ■インフラが維持されているところ。 ■道路・水道などのインフラが整備され、不便のないところ。
35 歳～39 歳	■水源、森林。 ■ゴクゴク飲める大山町の水は宝だと思う。 ■水がきれいで美しいし、溝も流れやすい。 ■新たな道路、昔ながらの道路が入り混じっているところ ■道路、水道の整備。 ■学校道路が歩きやすい（草刈り、雪かきありがとうございます）
40 歳～44 歳	■水が普通においしい。 ■整備。 ■インフラが適切に維持されているところ。 ■分別によるリサイクル。 ■最多限のインフラ。 ■美味しい水がある。 ■利便性の高い道路整備が続けられるところ。 ■農業などの水の整備。 ■きれいな水があたりまえにある状況。
45 歳～49 歳	■雪に困らない道路。 ■だいたい道がきれいな所。 ■不便のないインフラがあるところ。街灯が前より増えてまちが明るくなった。
50 歳～54 歳	■水がおいしいです。 ■インフラ充実。 ■現在の公共交通の整備。 ■環境整備。 ■インフラがよい。 ■今までに整備された道路・水道等。
55 歳～59 歳	■水がおいしいと言われます、大切にしたいところです。 ■道路も水道も不便なく使われています。 ■道路、水道は整っている。 ■美味しい水道水。 ■道路の路肩が草を生やしている。6～9月ごろに3回草刈りの仕事をお願いします。 ■水がおいしいこと、不便がないこと。
60 歳～64 歳	■水道の公営化。 ■道路のわきの草刈りをしてくださっている。 ■インフラの更なる整備。 ■道路整備はよいと思う。特に高速道路。 ■西坪集落道作りによる道路補修を継続する。 ■除雪を今は助け合って出来ているが、空き家が増えるごとに負担が増して来ている。
65 歳～69 歳	■おいしい水が飲める。 ■おいしい水！きれいな道路！ ■いつまでも御来屋の水はおいしいと言える。 ■小さなまちに過ぎる様々なインフラ。 ■水道水でもおいしいところ。 ■安定した水道事業と道路の維持管理をしている。 ■美味しく安全な水の供給。

65 歳～69 歳	■不便のないインフラがあるところ。
70 歳～74 歳	■生きていく上で社会インフラ、生活インフラは大切。年寄り、子供達の為にもこういう所を残したい。 ■道路、水道について満足しているし未来に今を残したい。 ■自然にある水、湧き水を大切に使用できるところ。 ■おいしい水が飲めるところ。 ■大山町特に中山地区は水が豊かでいつでもおいしいと思える状態でありこのままキープしてほしい。 ■大山がもたらす水資源が豊富などところ。 ■インフラは充実している。メンテナンス（草刈りなど）地元民が参加するまち。 ■よく整備されているのでメンテナンスをしっかり行う。
75 歳以上	■建築物や構築物にもっと木材を使ってもらいたい。 ■水道、下水道の充実。 ■例えば、範囲を決めて、部落ごとに草刈り等をして保守する。 ■不便を便利と感じられる自然のままを大切にする。 ■子どもが意識しない安全な道路、危険箇所を整備し、そして安心して飲める水道と農業用水道の違いを教える。 ■今のところ不便さを感じない ■不便のないインフラがあるところ。 ■美味しい水、整備された道路、田園風景。 ■今のまま続行がいい。 ■特に山間部の放棄地～植林して周囲の水利を町が管理。

【2】 10年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■安心して生活できるまち。 ■街灯が増え、夜でも明るい。 ■不便のない交通網。 ■おいしい水を飲み続けられるまち。
25 歳～29 歳	■水道代（下水？）を安くしてほしい。 ■開拓地の水道管の拡充。 ■現在特に困っていることはありません。
30 歳～34 歳	■今と変わらず道路や水道が使える続けるまち。 ■近所の公園や歩道の草刈りいつでも利用する時はきれいにしていってほしい。トイレはボットンではなく洋式トイレにしていってほしい。 ■9号線沿いだけでなく、山側もインフラ整備されている。 ■良い水がそこそこの水になっても地域が発展するなら受け入れられる地域。 ■今も変わらずインフラが維持され続けている状態。 ■現状が維持されている、もしくはよりよくなってほしい。
35 歳～39 歳	■水道の民営化とは無縁の町。 ■このまま現状が継続されると良い。 ■溝掃除、定期的に頑張る。 ■高齢になっても、車がなくても過ごせるまち。 ■安心して清らかな水が使用できるまち。 ■最低限のインフラが維持されている。 ■車がなくてもお年寄りが動ける町。 ■不要な道路はいらないですが、山陰道「中山」出口、赤崎方面へ行けたら便利です。駅前の学校道路を猛スピードで通るのは危ないからやめてほしいです。
40 歳～44 歳	■今と変わらず、除雪をしっかりとってくれるまち（米子より通りやすい）。 ■街灯が増えれば。 ■現状が維持できる。 ■カーボンニュートラルの実現。 ■不足なく使えとよい。 ■整ったインフラがある町。 ■快適な交通網。 ■インフラ整備に力を入れて、住みやすい街にする。 ■さらに道路インフラが充実するまち。 ■町内巡回バスがもっと頻繁にあると良いか。
45 歳～49 歳	■上下水道料金の補助の拡大。 ■変な道を直して行けたら良い。 ■老朽化を未然に防ぐ、新しくよりも交換する事の大事さ。

45 歳～49 歳	■主要インフラが整備されている。 ■今と変わらず道路や水道が使えるまち道路や水道が使える町。公共トイレがきれいなまち。
50 歳～54 歳	■インフラの充実。 ■最低でも現状維持。 ■住みやすいまち。 ■水が美味しいままであってほしいが、水道代は上がらないでほしい。 ■安全、安心のため、防犯カメラとかの公的設置が増えるといい。 ■大雪時の除雪、所要道路の安全な走行への不安が今より解消されているまち。 ■今と変わらないこと。
55 歳～59 歳	■今と変わらず良い水を。 ■町道、村道の区別のない行政の除雪。 ■雪道が通りやすいまち。 ■道路もきちんと整備してあるまち。 ■町内の道路脇の草がない（荒れ地が増加）している。 ■水がかかわらずおいしい町。 ■除雪の迅速化。 ■今と変わらず道路や水道が使えるまち。 ■公共団体の作った道路は充分だが、その維持管理。（側溝、雑草など） ■水道管の老朽化に不安なく、安定して使えること。
60 歳～64 歳	■地下水（水道）保全の為に田の確保。 ■現状の維持。 ■上水道については 10 年後といわず水道管の老朽化への対策がすぐに必要。 ■お水が美味しいので維持して欲しい。
65 歳～69 歳	■いつまでも水道でおいしい水が飲めるように。 ■この充実したインフラを維持して欲しいです。 ■近代的にする必要は無いが、広々とした空や土地を守ること。 ■道路から見る、歩く、景観が美しい街。 ■新たなインフラは原則作らない。行政の維持管理も最低限として住民のバックアップを常識化していく。（住民管理には負担を求める） ■地球温暖化で日本各地水害のニュースが TV 等で流れます。水害のない、安全なまちになってほしい。 ■今と変わらず道路や水道が使える町。 ■施設や設備の計画的な維持管理が来ている。 ■今と変わらずインフラが整備されている町。
70 歳～74 歳	■今と変わらず道路や水道が使えるまち。 ■今と変わらず便利なこと。 ■今と変わらず道路、水道が使えるまち。 ■今と同じインフラが維持できる町。 ■大山からのおいしい水がいつまでも飲みたい。 ■メンテナンスをしっかりと行う。
75 歳以上	■道路が倒木、土砂等で道をふさいでなく、スムーズに通行できる道路（現実として）。 ■部落ごとに大いに公民館を活用する。 ■今とあまり変わらない。 ■10 年後も将来もインフラが機能していること。 ■現在の給排水機能が維持されることを望む。 ■集落内の公共道路の路肩は草刈りしなくてもいいようにコンクリートにした方がいい。 ■不安のないインフラが整備されたまち。 ■水資源を守り工業排水が流れ込まないよう。 ■橋、道路、水道にも寿命があり、一度に大事にならないよう定期メンテナンスを。 ■美味しい水やきれいな景色など残っていること。 ■不便な所ながら充実。このままで良い。 ■いわゆる田んぼ道は廃止してもいいが水利小さな河川は町が管理。（防災のため）

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■草刈り、水を大事に使う。 ■周辺の清掃に努める。
25 歳～29 歳	■水の節約。
30 歳～34 歳	■畦畔の草刈りや水の節約をする。
35 歳～39 歳	■水の節約。 ■役目をさぼらない。 ■貯金。 ■油物の仕分けを細かく意識する。 ■納税を続ける。 ■落ちているゴミを捨てる。
40 歳～44 歳	■税金を納める。 ■道路の破損等を町に連絡する。 ■食品ロスの削減。 ■税金をちゃんと納める。 ■草刈り。 ■インフラ整備に協力する。 ■道路整備不要論を唱える人を論破する。 ■会社法人として、今後地域の畔草刈りなどの農業用の水路などの整備は、大きく負担していかななくてはいけない範囲と覚悟しています。そうなった場合、各集落でも同じような状況の農家さんがあるかと思うので、どのように負担を分けていくか、どんなシステム運用していくかが、明確になっているとうれしいです。覚悟をするうえで、どういうシステムでいくかというのは、地域全体で整備していただきたい問題です。
45 歳～49 歳	■道路等直していただけるよう連絡する。 ■当たり前だと思わず感謝する。
50 歳～54 歳	■節水。 ■老人でもゴミを捨てやすくゴミ庫ではなく玄関前での回収ができる。 ■行政への協力。 ■住み続ける。 ■住民の横の連絡網を充実させたい。 ■身近な道路わきの草刈りをする。
55 歳～59 歳	■水のおいしさを伝える。 ■除草剤はできるだけ使わない。 ■水のありがたみを忘れず大切に使うこと。
60 歳～64 歳	■公道側も少し草刈りをする。自所有地隣接の公道や全く使用、利用していない土地の管理について考える。 ■環境の整備。 ■水の節約はしたいが昭和な庭の植物に水やりしなくてはならず苦慮している。 ■地域道路の草刈りの実施。 ■食器の油は拭き取ってから洗う。農薬を使わない。
65 歳～69 歳	■地域の掃除、川ざらい、草刈りに参加。 ■地域の除草作業などに参加すること。 ■町が先頭に立って、土地を守ること。 ■インフラの維持管理に協力を続ける。 ■ライフラインの維持管理に住民参加。 ■草刈りや水の節約をする。 ■家の周囲の清掃をする。
70 歳～74 歳	■水の節約。 ■草刈りや道路維持に協力する。 ■資源の無駄遣いを極力少なくする。 ■地域内の美観を保つ取り組みに参加。 ■道路わきの草刈、除雪、融雪水路の水管理。
75 歳以上	■掃除。 ■町全体道路べりの草刈りが気になる。 ■見守りたい。 ■いつも道路脇の草が伸びていて景観を損なう。活気のない村、町に見える。 ■出来る範囲の環境整備をする。 ■水を大切に使う。 ■地域環境保金には協力をおし、自然の限界を大切にします。

75 歳以上	■ 畦畔の草刈りや水の節約をする。 ■ 節水、川を汚さずゴミ処理を守る。 ■ 部落内のごみ拾い、集会所や道の草取り。 ■ 草刈りは、近い将来有償ボランティアで。
--------	---

⑧ごみ・資源

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■ゴミの分別をしやすいところ。
25 歳～29 歳	■分別 ■ごみの削減に取り組んでいるところ
30 歳～34 歳	■生ゴミの削減に取り組むところ。 ■分別がしやすいところ。 ■米子市などと比べて、ごみの分別がそこまで厳しくないところ。
35 歳～39 歳	■農業における循環。 ■クリーンセンターが充実。 ■分別をしっかりとっている。 ■指定のゴミ袋。
40 歳～44 歳	■ゴミの分別をしっかりとる。 ■現状を維持したい。 ■エコに力をいれる ■大山の自然を大切にしたいです。メガソーラーは自然破壊なのでやめてほしいです。 ■近くでゴミ捨てができるところ
45 歳～49 歳	■ポイ捨てを無くすこと。 ■分別に取り組んでいる。 ■ゴミ袋のパンダのイラストがかわいい。ゴミ収集車がやさしい。
50 歳～54 歳	■ゴミの回収がきちんとされること。 ■ゴミの減量、リサイクルの推進。 ■夜間の安全性が照明とかでよくなっているので、各集落でもよくしたい。 ■ゴミ袋の折り目と記名欄が重なっていたが改善してくれた、小さな困り感に対して対応する姿勢があるところ。 ■分別や生ごみの削減に取り組む。
55 歳～59 歳	■分別がおおむねできている。 ■生ごみの削減、ゴミの分別に取り組むこと。 ■きれいな水は大切な資源です。 ■生ごみの肥料化に努力。
60 歳～64 歳	■ゴミを土地に戻す。ゴミの少ない海岸を残したい。 ■ごみの内容をまちがえない。 ■雑草は刈った後、米ぬかと混ぜて肥料として使う。
65 歳～69 歳	■一週間に2回、生ゴミが収集してもらえる。 ■ゴミの分別を進めているところ。 ■海からの資源、山からの資源。 ■分別収集の徹底等協力体制がさらにすすんだまち。 ■野菜ゴミ等、生ごみは畑に捨てる。 ■生ごみの削減の取り組むこと。 ■生ごみの乾燥による減量。 ■生ごみの削減に取り組むところ。
70 歳～74 歳	■生ゴミの削減に取り組む。 ■リサイクルに力を入れているところ。 ■生ごみはなるべくださないようにしている。 ■分別ごみをきちんと出す。 ■不法投棄のない町。 ■ゴミ出しのルールと徹底。
75 歳以上	■生ゴミ等、肥料にする道はないのか。 ■ゴミを削減。 ■生ゴミ等の可燃ゴミと不燃ゴミの分別処理。 ■生ゴミの取り組み。 ■きちんと減らすよう取り組む。 ■生ごみを土に戻すコンポスト設置補助があったと思うが全町をあげて取り組む課題ではないか？と思う。 ■中型のゴミ処理機の取り組みをしてほしい。それで堆肥を作って健康な野菜作りに使って野菜作りをされたらいいのでは？ ■誰もが自分のこととして思いやる心。

75 歳以上	■ゴミの収集がよい。 ■資源ごみの収集、燃えるゴミの収集、燃えないゴミの収集、ずっと続けていた だきたく思います。土地のある人は生ごみを土に返す。 ■ゴミ収集制度はありがたいこと、なるべく軽く少なく意識します。 ■買い物はよく考え必要なものだけ買う。生ごみは畑などの肥料にする。 ■現在、生ゴミは出さず町からいただいた生ゴミ出しません袋を活用させていただ き感謝しております。 ■コンポストの普及、プラスチックの徹底分離→処理場を造る。オムツは特別に 集めて南部町へ。
--------	---

【2】 10年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■廃油回収。福祉センターに持って行くのが大変。回収場が増えてほしい。 ■資源を持続的に使えるまち。
25 歳～29 歳	■リサイクルセンターを増やしてほしい（ペットボトル、段ボール等）。 ■ゴミが落ちていない（山や海にも）。 ■再利用が進むまち。 ■リサイクルを生かして、アート作品にする等、ごみを減らしていける町。
30 歳～34 歳	■リサイクルやリユース、リデュースが加速し進むまち。 ■地産地消が進む町。 ■移住者もわかりやすくゴミ出しできるよう、ゴミ出しに関して融通が利くよう な環境になってほしい。
35 歳～39 歳	■地産地消の町。 ■一人一人がゴミに心を配る。 ■自治会に入らなくても気軽に利用出来るゴミステーションがあるまち。 ■リサイクルが進むまち。 ■リサイクルゴミの回収の頻度を上げる。
40 歳～44 歳	■資源ゴミを出したらポイントとか何か景品がもらえ楽しみながらリサイクル取 り組めるまち。 ■道具を無駄にせず、長く使用できるようにする。 ■町内の路側や海岸にゴミのない町。建特撤去の支援。 ■日本の中のまちという意識で、役割を果たせるまち。 ■資源の無駄遣いを減らす。 ■ゴミ捨ての利便性が損なわれないまち。
45 歳～49 歳	■リサイクル再利用の資源を受け入れる施設が増えること。 ■高齢者にもわかりやすい再利用の徹底、空き地、空き家の町の買い上げ。 ■今のままで温泉とかあれば最高ですが…。 ■今のまま充実した処理方法の維持。 ■ゴミ減量意識が自然に身についているまち。 ■ゴミ捨ての利便性が損なわれないまちやリサイクル等楽しく出来たらいいと思 う。
50 歳～54 歳	■今と変わらず、ゴミやリサイクルを進めて欲しい。 ■森林等資源を再利用するまち。 ■各家で生ゴミのリサイクルができるといいですね。 ■新施設への連携したごみの削減。 ■可燃と不燃を分けきれない小物の混合ごみをもっと回収してもらいやすくな る。 ■分別やリサイクルが今より進むまち。
55 歳～59 歳	■引き続き分別ができて、大型のもの玄関先まで取りに来てもらえる。 ■リサイクルや、再利用が進むまち。 ■川の水をそのまま飲める町。 ■ジュース、ビールの缶が減少するように何かりサイクルできるように努めたい と思います。
60 歳～64 歳	■この先運転が困難になってきます。タンス、布団他など部落内での引き取りが 出来ればと思います。 ■ゴミの分別の仕方がもっとわかりやすくなったと思います。 ■ゴミが少なくなっていきたい。 ■高齢者が増え、現在のような細かい分別ができるかどうか。 ■リサイクル品の購入化。 ■有機農法が増えて、安全な野菜が採れるまち。役所に「いらぬ物＋金額」と 「ほしい物＋希望額」を張り出すコーナーがあるとリサイクルが進む。

60 歳～64 歳	■ごみをエネルギーに変え活用するまち。イベントなどでフリーマーケットの出店者を募集したり、不用品の物品寄付をする団体を募集したりするなどごみを晴らす工夫をするまち。
65 歳～69 歳	■生ゴミは自宅でたい肥として使うようになって欲しい。 ■リサイクルへの住民の理解がさらにすすんだまち。 ■リサイクルが進む町。 ■リサイクルや再利用するにあたって、窓口があれば扱い品の制限を設けて回収し、必要とする所へ届ける仕組みがあるといいかな。 ■不燃ごみを少しでも減らせるところ。 ■家庭での生ごみ処理機の普及。 ■菓子などのポリ袋の回収、再利用ができる町。
70 歳～74 歳	■リサイクルや再利用ができる商品や製品が増える。 ■ゴミのない花の咲くきれいな町。 ■リサイクルの再利用できるものの回収方法を考えて欲しい。 ■限りある資源の大切さを大事にするところ。 ■不用品（服、家具、家庭用品など）の交換、売買市場が盛んなまち。 ■リサイクル資源を大事にする。
75 歳以上	■特に生ゴミは集落ごとに空き地等を利用して自然に土に戻すことはできないか。 ■リサイクルや再利用が進む。 ■子どもがリサイクルの必要性がわかるように、ゴミの分別が行われ、子どもも積極的に参加する家庭と地域が行動する。 ■ゴミの分別をさらに細分化させる。なぜ必要なのかを町民の意識を変える努力をする。 ■リサイクル、再利用出来るもの徹底するように。 ■限りある資源の大切さを大事にするまち。 ■協力します。 ■資源ごみを仕分けし、限りある資源を有力に利用する。 ■リサイクルと再利用が進むまち。最終処分の行方が気になります。 ■資源ごみの回収が続く事。 ■出来る限りリサイクルをさせて貰っていますのでこれはこのまま誰でも続行してゆきたいものです。 ■生ごみ、プラスチック、の中間処理場を造る。

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■リサイクル ■リサイクル、分別、残食減らす。 ■リデュース、リサイクルを行う。 ■リサイクルなどに取り組む。
25 歳～29 歳	■ゴミ拾い。 ■リサイクルに心がける。 ■ごみの分別をきちんと行い、節約に取り組む。
30 歳～34 歳	■使い捨てを減らすことに気を付ける。 ■地元食品を買う。
35 歳～39 歳	■地元の資源を利用して農作物を作り地元で販売する。 ■分別に気をつける。
40 歳～44 歳	■資源ゴミ回収場所を提案。 ■分別回収に協力。 ■見つけたゴミを拾ってゴミ箱へ集める。 ■ゴミ処理の現状を知ることからしたい。 ■リサイクル。 ■資源を大切にする。 ■ルールに沿ってゴミ捨てをする。
45 歳～49 歳	■分別にと取り組む、物を買う前に考える。 ■ゴミを持ち帰る。買い物を控える。リサイクルを積極的にしていく。
50 歳～54 歳	■ゴミを減らす。 ■野菜くずを減らしてコンポストを利用して、堆肥を作って畑にまく。 ■ゴミの減量、リサイクルへの関心。 ■ボランティアへの参加。 ■可能な限りの分別及び生ごみは土に返して、可燃ごみを減らす。

55 歳～59 歳	■分別する。 ■ゴミを少なくする。 ■ごみを減らすこと、分別をしっかりして資源ゴミを増やす。 ■除草剤などの薬剤を使わないこと。
60 歳～64 歳	■なるべくゴミを出さない。 ■現在はごみ集積所の設置、維持を地域が担っているが、存在できるかどうか。 ■リサイクルの実施。 ■古着は縫い直して農作業の虫よけ用に作り直す。 ■ゴミの分別に気をつける。リサイクルできる物はリサイクルに出す。
65 歳～69 歳	■生ゴミ、不燃物は町指定袋で出す。リサイクルできるものは購入した店へ出す。 ■むやみに買わないこと。必要なものを厳選するように気を付ける。 ■田畑に感謝し、作物に感謝し、作る人に感謝すること。 ■不必要なものを購入しない。 ■余計な物は買わない。 ■使い捨てを減らすことに気を付ける。 ■コンポストの活用。 ■今でも生ごみは堆肥にして使っている。 ■リサイクル、リユース、リフォームにこころがける。
70 歳～74 歳	■不要なものは買わない。 ■少々高くても長く使えるものや服を選ぶ。 ■多く物を買わない。必要最低限な物で生活する。 ■ムダ使いに気を付ける。 ■ゴミの分別、生ごみは必ずコンポスト等で処理、化学製品を生ごみで一緒にしない。 ■生ゴミの削減に取り組んでいる。 ■ゴミの分別、リサイクル、生ゴミを減らす。 ■ごみの分別をしっかり行う。
75 歳以上	■生ゴミはすべて土に戻している。 ■ゴミの削減。 ■生ゴミを出さないようにする。 ■ゴミの分別をしっかりして、生ごみを出さない努力をする。 ■気を付けている。 ■生ごみは畑の「コンポスト」へ入れている。これは 10 年以上続いていて、やはり習慣になってしまいました。クセになった！ ■物を大切に生活する心がける。 ■生ゴミを減らす。 ■再利用出来るものはアイデアを活かし利用する。 ■物を大切に扱います。 ■使い捨てを減らすことに気を付ける。 ■ゴミを減らし、水を大切に使い、川もきれいに使う。 ■小さい時から徹底的にごみを出さないという（捨てない）ことと教育して欲しいと思います。子供達にはきちんと教えましたし私も守っています。 ■毎月、毎年のロストフードの目標を立て町民の意識を高める。

⑨情報通信

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■大山チャンネルがあり、町の情報が手に入ること。 ■大山チャンネルで子供たちを見られて嬉しい。 ■広報誌や大山チャンネルで町政など知りたい情報を身近に得られること。
25 歳～29 歳	■大山町の情報を発信するところ。
30 歳～34 歳	■ケーブルテレビで大山町の情報を発信するところ。
35 歳～39 歳	■大山チャンネル、防災大山町。 ■大山町の情報を知れるのはとても良い。 ■地域情報の発信。 ■大山町番組があるところ。 ■大山チャンネルでローカルなニュースが見られるところ。 ■目新しさだけに流されず、本当に良いもの、普遍的な価値を発信してほしい。
40 歳～44 歳	■広報大山だより、町の問題解決への透明化放送。 ■町の情報発信手段が充実。 ■刷新的な取り組み。 ■大山チャンネルはとても良いと思います。 ■ケーブルテレビ補助で情報網整備。
45 歳～49 歳	■中海テレビ等でイベントを流している。 ■ケーブルテレビや SNS で大山町の情報がわかるので助かる
50 歳～54 歳	■ケーブルテレビ。 ■マスメディアの活用。 ■中海テレビでの大山町の情報発信がよいと思う。 ■ケーブルテレビで大山町の情報発信するところ ■町内全域にケーブルが整備されているところ。独自のクオリティの高いチャンネルを持っているところ。
55 歳～59 歳	■ケーブルテレビは残すべき。
60 歳～64 歳	■中海テレビを取り入れた事はすばらしい、英断だった。 ■大山町で暮らしていると、米子市の物を利用することが多いのですが、米子市でこんな新しい物が出来たというような事も発信して行って欲しい。 ■情報網。
65 歳～69 歳	■楽しい番組内容、他地域を知る手だて。 ■ケーブルテレビを見る人が限られている。料金設定なのか、見ていない人も見られるようにして欲しい。 ■大山チャンネルの内容がかつてよりだんだんよくなってきています（主観です）。でも時々出演者の NG ワードが気にかかります。 ■現在のケーブルテレビの番組作成。 ■大山チャンネルが見られること。 ■ケーブルテレビで大山町の情報を発信するところ。
70 歳～74 歳	■テレビチャンネルで大山町情報がわかる。 ■ケーブルテレビ防災無線等の充実した情報発信。 ■光ケーブルが使えず、中海だけとなっている。残念。 ■大山チャンネルのあるところ。 ■大山チャンネルに加え、町の HP など見て楽しい内容を。 ■大山町の情報が早くとれる。
75 歳以上	■ケーブルテレビは町内のニュースが身近に知ることができる。 ■発信してほしい。 ■ケーブルテレビで提供される情報はありがたい。（必要なもの分けて見てる） ■ケーブルテレビは大いに発信してほしい。 ■大山テレビが楽しい。 ■現在行われている町放送を利用し、催し、清掃など、皆で協力しきれいな町を築き続けること。 ■ケーブルテレビで大山の情報を発信するところ。 ■大山チャンネルや町報。 ■合併などの光ファイバー設置・無料メンテナンス。

【2】 10年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■世界から注目されるまち。 ■オンラインでの手続きが可能になっている。 ■パソコン廃棄時など、個人情報削除の協力をしてほしい。 ■手続きがオンライン等でできること。 ■山や海が近いが電波が安定し、通信機器が繋がりやすいまち。 ■オンラインでも手続きができるまち。
25 歳～29 歳	■オンライン化も進むが、オンラインが苦手な人にも優しいまち。 ■中海ケーブル以外の回線も繋げられるようにしてほしい。 ■大山町外にも発信、配信。 ■山などの電波の悪いところの改善。 ■コンビニで住民票が取得できるようになったのは大きい。町外ではできていたので、そういったネットを活用してできることは足並みをそろえてほしい。
30 歳～34 歳	■オンラインで手続きができるまち。スマートフォンの大山町専用アプリがあるまち。スマホやパソコン教室が最低3 個あるまち。 ■都会に出て地元に戻って来るイメージが湧きやすくなる為の発信。 ■ドコモ光等、中海テレビ以外の回線会社が入ってほしい。 ■情報関係の知識・設備等の強化により業務・手続きの効率が行われてほしい。
35 歳～39 歳	■全てが紙面でも手続きできる町。 ■デジタルの情報を入手しにくい人へのサポートを行き届かせる。 ■分かりやすい、オンライン手続き、丁寧なPC 解説者がいるまち。 ■オンラインで自治会やまちのやりとりが普通になるまち。 ■インターネットが中海テレビ一択ではなく他の会社も選べるようになり、料金プランをたくさん選べるまち。 ■テレビからショッピング。 ■NTT の光回線が引かれること。 ■SNS（資本主義、金儲けのツール）でなく、現場、現地でしか感じることをできない情報発信。
40 歳～44 歳	■12 時と 17 時の音楽なくても良いのでは？ ■町民の声がすぐ届き解決できるまち。 ■電波が悪いので良くなれば。 ■インターネット等の高速化した町。 ■町外のデマンドバス利用ができるまち、町内の移動が低料金でできるまち。 ■町営住宅にもケーブルを。 ■お年寄りにもやさしいガイドラインがある。しかも、簡単。 ■オンライン活用。 ■携帯の圏外がないまち。 ■オンライン手続きの促進、ポイント利用。
45 歳～49 歳	■光ケーブル。 ■何においても改善してほしい。パソコンやスマホの使い方教室を開く。 ■リアルタイムで欲しい情報がわかる町の HP。 ■役場でイベントや情報を流す。 ■大山チャンネルさんがずっと大山町にいてくれたらうれしい。
50 歳～54 歳	■情報網の充実。 ■いろんな手続きが簡単になってほしいです。 ■光通信ができるインフラ。 ■全てオンラインでの手続きができればとても嬉しい…が、自分の親世代にはとても辛いことらしい。 ■オンライン手続き、コンビニ手続きができる項目が増える。 ■情報通信を利用して、企業を誘致するなどして、雇用を創出できるまち。
55 歳～59 歳	■通信速度が全国レベルの速さになって欲しい。 ■対面での手続きが引き続き出来て安心できる。 ■デジタルを誰もが利用できるまち。 ■大山町の魅力を町外にも発信する。 ■自宅で手続き可能な町。 ■ケーブルテレビで大山町の情報を発信している分、誰もが簡単にケーブルテレビがつけられるようにしてほしい。 ■IT 弱者をなくす。 ■回覧物などの紙媒体が無くなりネット化されている。

55 歳～59 歳	■各戸にオンライン通信機器の設置を希望します。
60 歳～64 歳	■PC、スマホが不得意なんでもできる手助けネットワークが充実している。 ■ケーブルテレビの受信の減額。 ■オンライン手続きは必須。特に、役場と保健センターが離れているため。 ■光通信の無料化。 ■au 系がつながりにくいので改善されて欲しい。 ■情報リテラシーを勉強できるようにしてほしい。
65 歳～69 歳	■どの地域でもきれいに TV が見られる（今は電波障害で見られない時が多い）。 ■やはり、顔の見える大山町職員さんであって欲しい。 ■高齢者が置いて行かれる町はダメ。 ■少しずつ行政も変わり、健診の予約がオンラインでできるようになり良かった。 ■スマホ、パソコン 十分習得していないのでもっと学びの場所ほしいです。 ■だれでもどこでも高速通信を活用できる。 ■オンラインで手続きが来ると、外出できない私にとってはありがたいですが、スマホを持っていません。機械の使い方も、きっとわからないと思います。 ■スマホでケーブルテレビが見られる町。
70 歳～74 歳	■年齢に関係なく、オンラインができるようにして欲しい。 ■インターネットのスピードアップ。 ■豊かな自然、文化を情報発信出来るまち。 ■オンラインで手続きが来ると便利。満足できる形が望まれる。 ■全国レベルで進化してほしい。
75 歳以上	■オンラインの手続きができる便利さも必要かもしれないが、アナログ人間には健康保険証で病院での診察が受けられるように残してほしい。 ■高齢者はむずかしい。 ■もっと大山町が求めることを発信して活性化してつなげてほしい。 ■デジタル化と、使いやすい仕組みづくり。 ■年寄りでも簡単に手続きできる町。 ■役場から遠いため若い人達には勉強して是非時間節約のためオンラインは必要。 ■海産物・ブロッコリーなど個々に受注しているが一か所にまとめる。

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■電子機器を持つ。 ■ネットリテラシーを身につける。
25 歳～29 歳	■スマホについて知る。 ■若い世代は iPhone 等の使い方は身につけていると思うので、年齢の高い世代の方々にサポートできるように伝えられる環境があれば伝えていきたい。
30 歳～34 歳	■パソコンやスマホの使い方に慣れておく。 ■現状の不便な部分の洗い出し。
35 歳～39 歳	■大山チャンネルを観る。
40 歳～44 歳	■メールになれておく、見るようにする。 ■ホームページなどの活用、閲覧。 ■使いやすい情報端末の購入。 ■情報社会へついていくための勉強。 ■億劫にならない。 ■通信会社の圏外報告フォームを積極的に活用する。
45 歳～49 歳	■ホームページを見ること。 ■大山チャンネルを応援する。SNS のページにいいねをたくさんする。
50 歳～54 歳	■若者を含めたみんなのための講習をする。 ■町の情報にふれる時間を持つこと。 ■情報ツールの発展についていく。
55 歳～59 歳	■コミュニケーション力の向上。 ■自分以外の人の手続きなども知っておく。
60 歳～64 歳	■パソコン、スマホの使い方の指導。 ■パソコン、スマホの使い方に憧れる。 ■スマホを使える様にする。 ■ネットリテラシーをもっと勉強する。
65 歳～69 歳	■ネットショッピング、生協など老後に向けて情報を得ておく。 ■年を取っても友達と話を出来る関係づくりをしていく。

65 歳～69 歳	■楽しくできれば良いが、リスクも多い。誰が守るのか。 ■可能な限りついていきたいが…。 ■年を取っているので、便利なスマホ等のことがわかりません。私にとっては段々不便な世の中になっていくようです。 ■パソコンで広報を見る。 ■パソコンやスマホをいつでも使えるようにする。
70 歳～74 歳	■パソコンやスマホの使い方に慣れておく。 ■パソコン、スマホが上手になりたい。 ■パソコン、スマホの機能の理解と使用。 ■福祉関連でふれあいサロンを地域でされるが、簡単に操作して楽しめることをこのような機会を利用して高齢の方にもパソコンに親しんでもらいたい。 ■スマホ等はなるべく慣れるようにして、いざというとき連絡出来るようにする。 ■動画編集が出来る様になると。 ■自主組織もしくは公民館でのパソコンやスマホの使い方研修会に親子で身に付ける。 ■パソコン、スマホでいろいろなことを処理する。
75 歳以上	■パソコン、スマホのある程度の発展はやむを得ないが、進みすぎると人間をだめにする。 ■子どもの生活にパソコン、スマホ使用が普通になり、家庭や地域の大人が良い使い方を示し、また勉強や遊びへの理解を示し大人が子ども目線で考えてみる。 ■高齢でむずかしい。 ■年寄りもパソコン、スマホ教室を開いていただきたい。 ■デジタル化になれるよう努力する。 ■スマホを使いこなす。 ■スマホやパソコンに慣れるよう努めます。 ■パソコンやスマホの使い方に慣れておく。 ■健康に気をつけなるべく自分自身で出来るよう心がける。 ■高齢者となって出来にくいので若い人達にやってほしい。 ■講習会を何回でも開催する。

⑩公共交通

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■駅がある。 ■デマンドバスを利用できるところ。
25 歳～29 歳	■バスをもっと増やしてください。 ■少し不便でも、自然豊かなところが大山町のいいところだと思うので残して欲しい。 ■バス停が国道にもあるところ。
30 歳～34 歳	■デマンドバスが手軽に利用できるところ。 ■バスの本数がなさすぎ。一時間に一本って不便。 ■電車、バスがちゃんと利用できるところ。
35 歳～39 歳	■山陰本線、山陰道。 ■デマンドバスが利用できるところ。 ■御来屋駅、名和駅を大事にしたい。 ■デマンドバスの利用。 ■町のバス車。 ■あるのが当たり前で普段はありがたみをあまり感じませんが、JR の駅。
40 歳～44 歳	■公共交通のバランスが良い。 ■デマンドバス。 ■なんでもバス。 ■鉄道。
45 歳～49 歳	■自家用車無くても生活できるまち。 ■もっと気軽に誰でもわかりやすく、デマンドバスを使用できるように。 ■タクシーが利用できる。 ■JR に自転車に乗せられるようになるのは助かる。タクシー会社が町内にあること。デマンドバスが利用しやすくなった。（金額、乗車方法）
50 歳～54 歳	■JR や日交バスがちゃんと来てくれるところ。 ■バス、JR の交通手段がある。 ■デマンドバスがあること。 ■デマンドバスが一律 100 円になってわかりやすくなったところ。 ■町内に 5 つ駅があるところ。
55 歳～59 歳	■各駅、バス停。 ■デマンドバスが 100 円で利用できる。
60 歳～64 歳	■安価なデマンドタクシー、J R 駅舎、駅構内トイレがある。 ■デマンドバスの増便。 ■これからの時代は必要。 ■デマンドバス 100 円はすばらしい。 ■バス利用できるところ。 ■米子駅も新しくなり、やくもも新型になり、次に帰省する時が楽しみです。電車に乗るのが好きなので、こちらの電車も全部乗ってみたいです。 ■JR の駅を誰もが気持ちよく使えるように整備したところ。JR を利用する人が車を止めることができるような駐車場を広く確保しているところ。
65 歳～69 歳	■特急の止まる町。 ■一定路線での無人バスへの転換を希望。 ■デマンドバスも良いが、あまり知られていない。 ■タクシー利用ができない町でも生活できる。 ■利用方法はわかりませんが、デマンドバスがあるところ。 ■デマンドバスが利用できる所。 ■特に高齢者は足がないので、デマンドバスは絶対必要。
70 歳～74 歳	■デマンドバスが利用できるところ。 ■デマンドバスの利用。 ■運転できなくなったら何か感じるが、今はわからない。
75 歳以上	■誰もが年取る、公共交通は大切。 ■活性化センターの辺りを整備して活性化をして皆が使える施設にして、デマンドバスが行き交通をよくしていただければ利用する人もあるのでは。 ■デマンドバスをよく利用できるのが助かっています。 ■高齢者や障がい者が買い物や文化活動、通学通勤に使えるデマンドバスなどの移動手段の充実が必要不可欠になっている。 ■デマンドバスを使いやすく。

75 歳以上	■デマンドバスの利用できることは大賛成！ ■今は自家用車で出掛けられるが将来デマンドバスが利用できると大変助かる。 ■旧村単位で NP0 法人を設置、有償運送を。デマンドバスは今のまま。
--------	---

【2】 10 年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■安心して移動ができるまち。 ■観光に来た人が車なくても、不便なく観光できる町。 ■電車またはバスの本数を増やす。 ■車をもたぬ人が自由に買い物病院に行けるシステム。 ■バスが家付近まで来てほしい。 ■デマンドバスの利用が幅広いまち。町外へ・年齢層・頻度。 ■町内外のバス乗り入れ、町外へのデマンドバス利用ができるまち。
25 歳～29 歳	■車を持っていなくても、不便がないくらい公共交通機関が発展して欲しい。 ■交通機関の拡充。 ■デマンドバスは町外と連携して、米子市内も利用できるようになってほしいです。（価格の安いスーパー、服飾、総合病院は町外にあるので）
30 歳～34 歳	■町外へのデマンドバスが利用できるまち。巡回バスも利用できるまち。 ■新幹線の誘致が進んでいる。
35 歳～39 歳	■今と変わらず利用できれば良い。 ■デマンドバスの路線が増え、どこでも行きやすくなる。 ■民間（町もバックアップ）の「私のバス、タクシー」。 ■バス、電車で米子市へ行くのが楽になるといいと思う（今は本数が少ない）。 ■町外でもデマンドバスで行ける。 ■カーシェアリング、レンタカー。 ■便の増加。 ■自家用車がない人、お年寄りや子どももデマンドバスの利用などで町内外に気軽に移動ができる。 ■脱車社会。目的のためだけの車移動から、移動間に偶然、交流の生まれる顔の見える暮らし。自転車、徒歩での移動へ。
40 歳～44 歳	■ランチや花回廊とかに行けるバスツアー（となりまちの友人宅とか）、タクシー安く利用とか。デマンドバス停車場所たくさんあるまち。 ■レンタルのアシスト自転車等新しい交通手段の導入。 ■運転免許証を返納しても大丈夫だと思えるくらい、利用しやすくなっているといい。 ■自然エネルギーの活用割合が高いまち。 ■自転車の利用ができるまち。 ■山間部のお年寄りが困らない仕組み。 ■老人や子供が利用しやすい公共交通機関の確立。 ■鉄道の利便性があるまち。
45 歳～49 歳	■格安で使える、無料で使える。 ■ライドシェア化の拡大。 ■お金だが、いろいろな所に行き来できること、何日にどこでますとかあればまとまる。 ■お年寄りが不自由なく動ける町。 ■交通弱者にやさしい町。 ■JR の終電がもっと遅い時間になるとうれしい。タクシー会社の存続。
50 歳～54 歳	■町内外のバスの充実。高齢者や若年層へのバスチケットの配布。 ■AI を使い、個々が効率的にタクシーを利用できるまち。 ■デマンドバス、シェアライドの導入。 ■最低でも現状維持。 ■年配者がイベントに参加がおおく、にぎやかになること。 ■デマンドバスの利用対象や利用の仕方などもっと視覚的に示して情報発信している。子どもから大人まで誰もが利用できるデマンドバスの充実。 ■生活や観光で5つの駅を有効利用できるまち。
55 歳～59 歳	■駅前に商店がある。 ■高校生など駅から家が遠い子どもの送迎で家族の負担が減る仕組み、バスなど。 ■高齢者がますます増えてきていると思うので、他の移動手段もいろいろあってほしい。 ■バス並みに利用できるよう。 ■無人バスの運行。

55 歳～59 歳	■公共交通の利便性アップ。 ■車を運転できなくても安心して暮らせるサポートのある町。
60 歳～64 歳	■JR 駅舎、駅構内にトイレがある。 ■町外へのバス、タクシーがもっと増えて欲しい。 ■デマンドバスの減額。 ■EV 充電スタンドの公共化。 ■町外へのバス利用ができるまち。 ■車社会なので鉄道の利用者が限られるので存続が出来ることを祈っています。 ■バスについても。 ■車を運転できない人（高齢者、障がい者、児童生徒、学生など）バスや自動車を利用してアクティブに生活できるまち。ライドシェア的なデマンドバスが走るまち。
65 歳～69 歳	■運転免許を返納しても移動手段があるまち。 ■個人で乗れる移動手段を考えて欲しい（自分で自由に移動可）。 ■いつでも電車に乗れて、動きやすくなること。すべて米子に集中しすぎて若者は出てゆく。 ■公共バスが路線を走っていても、ほとんど乗っていないので、以前からバスを小型にすればと思っていました。 ■路線バスの乗り入れ、またはコミュニティバスを走らせる。（デマンドではない手段で） ■住民が負担して使用できる小規模のワゴンバスの利用可能化。 ■病院へ行くのに、車椅子でも利用可能な交通手段があるまち。 ■町外へのデマンドバスが利用できる町。 ■行きたいところへデマンドバスに乗って行ける町。
70 歳～74 歳	■いずれ免許の返納をすると思う。町外へもバスで出かけられる事を願う。 ■町外へのデマンドバス利用ができるまち。 ■病院、買い物などに便利で料金が安い。 ■鉄道、バスの便の回数を増やしてほしい。出来れば都会のように時間を見ないで出かければ5分ほどで乗れば良い。 ■デマンドバスはまちづくりがニーズに合ったものを作成して欲しい。 ■子どもを育てたいと思える環境づくり。 ■運転が出来なくなると不便なので、デマンドバスが将来ずっと利用できて欲しい。 ■町外への利用が安価ですむ。 ■町外へのデマンドバスは高くても利用したい。 ■町外の利用。
75 歳以上	■今現在の方法では無理だと思うが、他の方法は？ ■デマンドバスが効率よく走るまち。 ■町外へのデマンドバスを利用したい。 ■各集落に時間表と停車する位置を掲載して欲しい。 ■年々免許証の返納が増えて来ても、心配なくデマンドバスが利用できる町に。 ■米子方面の病院の送迎の利便性。 ■目的地に各部落の公民館も入れてほしい。家に引きこもりにならず友人知人と交流が続けられる、目的地発の指定時間を多くする。 ■公共機関の本数を増やす。 ■町外へのデマンドバス利用ができることをお願いしたい。 ■年寄りにはデマンドバスを続けてほしい。 ■車が運転できなくても生活できるようになってほしい。 ■旧村単位で有償運送の NPO 法人を設置し、町外へ輸送する。

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■利用する。（バス、電車など） ■デマンドバスを利用してみる。
25 歳～29 歳	■交通機関を利用する
30 歳～34 歳	■デマンドバスをみんなでまとまって利用する。
35 歳～39 歳	■山陰本線をもっと使いたい。 ■中山町内の移動は自転車で頑張っています。移動間の拠点づくり。
40 歳～44 歳	■現状の公共交通を可能な限り利用する。 ■省エネを意識した生活に慣れる。

40 歳～44 歳	■協力出来ることはする。 ■飲み会の帰りに JR をつかう。
45 歳～49 歳	■車があるので何とも。 ■JR やタクシー、デマンドバスを利用する。
50 歳～54 歳	■日交のバスをもう少し小さくしてずっと通ってほしい。 ■各公共交通のまる町。 ■ボランティア活動への参加。 ■特に自家用車でなければならない時以外は、鉄道を利用する。
55 歳～59 歳	■利用する。 ■必要があればデマンドバスも利用したい。
60 歳～64 歳	■デマンドバスの PR。 ■デマンドバスを個別に利用できる方がよい。 ■バス利用する。 ■機会があればなるべく利用する。
65 歳～69 歳	■シニアカー、自転車に乗れるようにしておく。 ■なにか良いアイデアを考える。 ■デマンドバス利用について、利用状況を知りたい。 ■移動について、住民が共同で楽に使用できるまとめやくになる。 ■デマンドバスをみんなでまとまって利用する。 ■デマンドバスを利用する。
70 歳～74 歳	■デマンドバスをみんなでまとまって利用する。 ■町内周遊（中型）バスの展開。
75 歳以上	■デマンドバスの充実。 ■デマンドバスを利用することを地域の人々が進んで話し合い、長期間安定化をはかり個人の車利用を減らすよう努力する。 ■デマンドバスをみんなでまとまって利用することが望ましい。 ■運転免許返納が時間の問題と思われるのでデマンドバス機能は大いに期待している。 ■ライドシェアを取り入れること。 ■自身の運転寿命を延ばす努力と人の役にも立ちたい。 ■体力作りに心がけているが、出来る限り近いところは歩く。 ■新しいことに理解をする。 ■将来はデマンドバスと旧村単位で有償運送の NPO 法人を設立して合体。 ■予約でなしに自由に乗り降りできる。

⑪エネルギー

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■太陽光や風力など自然エネルギーを利用するところ。 ■自然エネルギー。 ■風力発電がさかんで、その景色も良いところ。
25 歳～29 歳	■風力エネルギーを利用しているところ。
30 歳～34 歳	■太陽光や風力などの自然エネルギーを利用するところ。 ■自然エネルギーを推進出来ているところ。
35 歳～39 歳	■風車がある。 ■風力発電。 ■風力発電などの自然エネルギー。 ■風力発電機が土地になじんで、海の風景の一部となっているところ。
40 歳～44 歳	■あらゆるエネルギー利用。 ■住民の省エネ意識が高いこと。 ■町内の自然資源を守り活用するところ、日本海、大山、田畑の自然環境。 ■風力。海を利用できないか。 ■メガソーラーはやめてほしいです。 ■大規模発電所に依存しないところ。
45 歳～49 歳	■自然エネルギーを利用するところ。
50 歳～54 歳	■風力発電（但し、わずかでも利益があること）。 ■あらゆる自然エネルギーの活用。 ■自然エネルギーのポテンシャルがあるところ。
55 歳～59 歳	■太陽光パネル、大きな風車は環境に影響。
60 歳～64 歳	■自々発電する。 ■太陽光→×、風力→× 10 年後にはなくなってほしい。今すぐでも。 ■太陽光、風力発電ともに。維持管理、将来の廃棄また見直し、見直す必要がある。 ■風力発電の維持。 ■ソーラーパネルが老朽化した時に、廃棄が難しいと聞いています。有害物質が含まれて埋める事も燃やすこともできないとか、処分方法が確立されているのでしょうか？
65 歳～69 歳	■水力発電のさらなる開拓。 ■小さな自治体ながら頑張って手を出しているところ。 ■太陽光、風力発電などの自然エネルギー。 ■太陽光や風力などの自然エネルギーを利用するところ。 ■自然エネルギーを利用するところ。
70 歳～74 歳	■太陽光の利用。 ■管理できない農地等、太陽光などを進める。 ■現状満足している。
75 歳以上	■100%自然エネルギー、原発は絶対ダメ。 ■太陽光や風力を利用したくても初期費用が大変で実施できない人々が多くなるので支援金を増額する。 ■風力発電は十分にある。太陽光発電はパネルと家の「寿命」による問題が多い。景観害も多い。 ■公害のない山林、耕作地を維持し安心して生活出来る町であってほしい。太陽光。 ■極力自然（森林を残したい）。 ■太陽光・風力で町内の電力を、プラス製材所をつくりバイオマス発電。

【2】10年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■自然エネルギーによる環境にやさしい町。 ■電気自動車の充電できる所が増えてほしい。 ■大山町の木などを活用した薪やペレットなど木質バイオマスエネルギーが経済的に使えるまち。
-----------	---

18 歳～24 歳	■エコなまち。
25 歳～29 歳	■再利用資源でのエネルギーの利用。
30 歳～34 歳	■薪やペレットなど木材バイオマスエネルギーが経済的に使えるまち。 ■電気料金がかからない町。
35 歳～39 歳	■風車のない町、太陽光パネルのない町。 ■新しいエネルギーを勉強し、低予算で取り入れる。 ■太陽光発電、蓄電池が全世帯あり、経済的に負担が少ない ECO なまち。 ■地域のエネルギー循環。 ■今のままでよい。ソーラーパネルは、反対。 ■原子力や火力発電に頼らない、自然を利用できるまち。災害時にも困らないようなまち。
40 歳～44 歳	■自宅でエネルギーを作れる太陽光の補助。 ■省エネ推進。 ■町内で使うエネルギーが自給できる町。 ■自然の利をいかす。 ■活用できる自然エネルギーを用いる。 ■エネルギーの自給自足。
45 歳～49 歳	■エコエネルギーの使用が高く、そのエネルギーや費用が実際に住民に還元できる形を作る。 ■ソーラーパネル廃止、外資の土地買い上げ防止の条例の設定。 ■洋上風力発電波力発電など、新たな発電がある町。（太陽光で木を切らなくてもよい） ■自然エネルギーをできるだけ使える町。
50 歳～54 歳	■副産物を利用したエネルギーの利用。 ■ブロッコリー以外の特産物を作ること。 ■太陽光、木質バイオマス、陸上・洋上風力等により町内の電力がまかなえ、かつ売電収入しより利潤が生まれるまち。
55 歳～59 歳	■太陽光や風力、一般家庭でも使えたら良いです。 ■竹を使ったエネルギー発電の発明。 ■木質に限らず植物全般から生産できるようになってると良いと思います。それによって農家が収益をあげられるようになっていること。
60 歳～64 歳	■不要木材、枝の有効活用（薪ストーブ）、共有の為の管理場ができる。 ■太陽光発電のパネルを大山にあまり設置して欲しくない。 ■水道料金等減額。 ■薪やペレットなど木質バイオマスエネルギーが経済に使えるまち→○。 ■太陽光パネルの公共設置。 ■寒い地域なので燃料代が高く、値上がりが堪えます。10 年後はわかりませんが、工夫して古い日本家屋を快適にする方法を考えたい。 ■自然エネルギーに転換するまち。家庭や店で大量に出る食品ロスエネルギーに変え活用するまち。
65 歳～69 歳	■太陽光利用がもっと進んでいると良い。 ■新しい住宅にオンドル設置。 ■小さな行政として、手を出すべきではない分野を考えてしまう。 ■燃えるゴミを利用したエネルギー発電が出来ればとてもいいと思います。 ■山林資源を管理活用する事が産業になれば。 ■自然エネルギーを利用した発電が増えているまち。
70 歳～74 歳	■だんだんと温暖化になり、これから光のエネルギーが不安なので、心配のない町にしてほしい。 ■太陽光パネルの処分が適切にできている。 ■エネルギーは町の施策に協力できる町。
75 歳以上	■もっと水力発電を増やせないか？ ■100%自然エネルギー、原発は絶対ダメ。 ■自然エネルギーが多く使えるまち。 ■薪やペレットなど木質バイオマスエネルギーが経済に使えることが出来ればよいと思う。 ■緊急防災放送の受信機（各家庭配置分）機能に発信信号、返信が出来る機能が設置して欲しい。 ■大山町にある資源を有効利用する為に研鑽する。 ■山、海をもっときれいに 特に山。 ■オール電化などを推進し効率よく安価にエネルギーを使えるようになってほしい。

75 歳以上	■太陽光発電、風力発電。 ■民間・第3セクターでもいい、製材所をつくり計画的に山林・樹木の管理をし、チップと集合材をつくる。
--------	---

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■自然を大切にする。
25 歳～29 歳	■太陽光発電について知る。 ■そもそもどのような活動をして、どんなことに問題があるのかが知らないので知る機会があればいいなと思います。
30 歳～34 歳	■薪炭林の管理などをする。
35 歳～39 歳	■エネルギーを買う、お金を貯める。 ■設置出来るように資金を確保すること。
40 歳～44 歳	■出来たらよいですが、山に行くのはハードル高いです。 ■節電。 ■省エネ器具の導入。 ■協力出来ることはする。 ■設備投資。
45 歳～49 歳	■みんなで同じ部屋にいて外の風を入れるなど自然を大切に。 ■太陽光パネルを家につけたい。
50 歳～54 歳	■みんなの生ゴミを何かのエネルギーに変えられるといいですね。 ■太陽光パネルを自宅に設置している。
55 歳～59 歳	■竹、木材の利用。
60 歳～64 歳	■なるべく節電する。 ■薪炭林の管理をする→○ 山がきれいになる。 ■太陽光パネルの設置。 ■水路の管理、手入れを進め、水道水の利用を減らす事等、出来ることから行動していく。
65 歳～69 歳	■作っていない田や畑を提供する（太陽光発電）。 ■炭の生産を再び起こし、産業とする。 ■野菜クズ利用で肥えた土を作り、美しい花々でガーデニングする（夢）美しい街づくりをしたい。 ■省エネへの努力。 ■体が動くまでは出来るが継続的は難しい。 ■薪ストーブを使用する。 ■薪や炭を木質バイオマスとして使う。
70 歳～74 歳	■エネルギー、資源のムダ使いを減らす。 ■自分の土地管理、休耕田畑に対して他は住民と協力して活用してもらえようできることから整備していきたい。（できる範囲は限られているが） ■薪ストーブ設置と薪を集めることで山林の保全。
75 歳以上	■昭和初期には高麗山のふもとで炭焼きの煙が立ちのぼっていたものである。山林、竹林を整理できる町に。 ■省エネ器具の使用。 ■これについて最後まで勉強し続けること。 ■竹林がふえて管理をしてほしい。（エネルギーに出来ればよいと思う） ■見守ること。 ■薪炭林（広葉樹林）や竹林の「墨」づくりは「炭」の利用を工夫すれば多くの可能性がある。 ■山林の管理をする。 ■川をきれいにする。 ■節電に努める。 ■町内の石油ストーブを一掃し、我が家は今冬より薪とチップ、ペレットのストーブにする。

⑫自然環境

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■川、海、山、田、畑など自然がきれい。 ■大山の豊かな自然、海。 ■大自然を守り続けるところ。 ■自然エネルギーの活用。 ■町の特色である自然を守ろうとする意識があるところ。
25 歳～29 歳	■大山と海。 ■自然保護に積極的に取り組んでいるところ。
30 歳～34 歳	■町内の自然資源を守り活用するところ。 ■山も海もあるところ。 ■豊かな自然・水質等。
35 歳～39 歳	■海山川農地。 ■里山を大事にする。 ■大山。 ■自然がたくさんあるところ、星がきれいなところ、空気がきれいなところ、海も山もあるところ。 ■環境整備。 ■現在の美しい自然環境。 ■自然が豊か。 ■大山や日本海といった自然。 ■すべて素晴らしいと思います。
40 歳～44 歳	■おいしい水。キレイな自然。 ■耕作放棄地が少ないところ。 ■たくさんの自然。 ■きれいな自然があるところ。 ■守る。 ■大山。 ■国立公園。
45 歳～49 歳	■大山の保全活動。 ■海の掃除等しているところ。 ■木、森、自然の多いところ。 ■大山、自然環境を活用したアクティビティ。
50 歳～54 歳	■海山を守る所。 ■大山というブランド。 ■のどかなところ。 ■大山や海を大切にしたいです。 ■大山の自然環境の素晴らしいことを、子供たちにしっかり伝える。 ■大山を中心とした自然。 ■大山町にはたくさんの自然、四季を感じられる風景や食材、自然に触れあえる機会があるところ。その良さがわからなくなってしまうほど当たり前で豊かで恵まれているところ。 ■美しい山と海と田園風景。
55 歳～59 歳	■大事な大山の自然を守ること。 ■きれいな水、川、海、山などの自然環境。 ■河川が安全に流れているところ。
60 歳～64 歳	■綺麗に見られる夕陽の景色。 ■自然を守っていくように努力。 ■自然を大切にしたい。 ■環境の保護、維持。 ■自然の豊かさをそのまま残すこと。 ■ジビエ工房の取り組みはよい。 ■ご先祖様が守って来た土地を守るという意識と頑張りや尊いと思う。仕事がないため若い人が戻らない現状が改善されて継承されていって欲しい。
65 歳～69 歳	■間違ってもソーラーパネルを誘致するな。 ■害獣のいない町。 ■コウノトリがやってくる町をアピールして多様な生物を守る。 ■山を大切にしたり、海を大切にしたりする人材づくり。やや見えないようにしているところがある。

65 歳～69 歳	■四季折々の風景、人々の営み、古くして新しい街を目指して！！ ■海岸の清掃活動や山林管理がある程度できている現在。 ■田、畑、梨畑を守ってもらいたい。 ■町内の自然資源を守り活用するところ。 ■町内がいつもきれいであるところ。 ■町内の自然資源を守り活用するところ。
70 歳～74 歳	■資源とは違うかも。毎年季節の恵みを採って塩漬けにするなどして食しています。山の整備が大切。 ■町内の自然資源を守り活用する。 ■山の保善、海岸線の善化。 ■自然をなくす。田畑の活用を促す。 ■子どもが海、川で遊ぶことができない。自由に魚を取ったり釣ったりしていると怒られる。海のものも同様。 ■本当に海山等自然に恵まれたところ。 ■大山を仰ぎ見、日本海を眺められる風景。 ■大山の自然・資源があるところ。 ■自然の中で暮らす魅力を伝える。 ■自然は今も大事、将来も大事。
75 歳以上	■特に国信海岸は昔のゴロゴロ石の浜にして欲しい。今のようにブロックで囲うことには反対する。 ■自然を守る。 ■川や海、山でとれるものが食べられるところ。 ■きれいな水と空気、緑の山々は未来にずっとあって欲しい。 ■竹林を活用して欲しい。 ■このごろ災害が多くなり地区ごとに備蓄庫を作られたらと感じました。 ■「生物多様性」を保てる農業や林業、水産業の可能性を大山町は多く保有している。 ■自然に恵まれているところ。 ■公害のない、山林耕作地を維持管理し、安心して生活できる町であってほしい。 ■特に山、河、川。 ■崇拜と親しみを込めて「大山」をさん付けで話すところ。 ■町内の自然資源を守り活用するところ。 ■大山や地域の森林。 ■大山・日本海の大自然。 ■ハザードマップで洪水とがけ崩れの予想される場所を年次明けに補強する。

【2】10年後の大山町の将来像（こうなってほしいまちの姿）

18 歳～24 歳	■インバウンドのまち。 ■休日などに山登りや海遊びなどを楽しめる町。 ■大山だからできることが増えている。 ■今みたいに緑あふれる町、星がよく見える町。 ■自然環境を活かした魅力の発信や住環境が発達し、不便な部分は改善して暮らしやすいまち。
25 歳～29 歳	■もっと全国的に大山が有名になれば良い。 ■自然を活かしたライフラインの拡充。
30 歳～34 歳	■豊かな自然を活かしたライフスタイルがあって、鳥獣害対策がしっかりとしたまち。 ■景観を活かしながら発展するまち。 ■現状の維持、水質の調査・保全が行われていてほしい。太陽光パネルの設置などのための森林伐採などがむやみに行われないようにしてほしい。
35 歳～39 歳	■農地の転用のない町、発電のために森が切り拓かれないことを願っています。 ■家族でこの環境で生活していることの喜び、ありがたさを共有する。 ■町民の里山管理スキルの高いまち。 ■自然と共に生きる。観光地化する。 ■豊かな自然を活かしたライフスタイルがあるまち。 ■今のままの美しい自然が維持されている。 ■人手が減り、管理されてない山の管理。 ■自然を大切に、楽しみながら生活できるまち。 ■売り物にしない、産業化しない、商品ではない。
40 歳～44 歳	■山林の管理の仕方、教えて欲しいです。竹がどんどん伸びて大変です。いらない木や竹の活用。町をあげて商売する。

40 歳～44 歳	■農地や里山が整備されている町。 ■美しい場所がたくさんあるので、駐車スペースを設けて、たくさんの人に見てもらえるようになって欲しい。 ■自然を生かしたアミューズメントがある町。 ■全国区に。 ■魅力ある自然が多いまち。 ■アウトドアが盛んなまち。
45 歳～49 歳	■自然豊かだが、住みやすい町。 ■今のままで残すことがあれば。 ■自然を活用した町、ジビエの充実。 ■自然とともに歩む町。 ■もっと自然環境を活かした活動ができるようになればうれしい。自然環境を活用した暮らしが苦手な人でもやってみたいと思える。
50 歳～54 歳	■海山を守り、自然と共存する。 ■豊かな自然はそのままに。 ■自然と共存できる社会。 ■きれいな田園風景。 ■自然を大切にしていれば共存していければ。 ■今と同様、野菜、米、魚など食べ物がおいしい町。 ■自然を活用した町。 ■自然との融合のある町にしたい。 ■このまま自然豊かな環境が維持されること。 ■まちの自然環境に人々が自信を持てるまち。（できれば、そこからメリットを享受できるまち）
55 歳～59 歳	■自然とともに生きる。出来ることは自分たちが行う。 ■人が安心して暮らせる環境を維持していること。 ■最近、上流から周囲の川に土砂が流れ込んで困っている（我が家は流れが浅くなり、池が泥で埋まってしまいました）そういう心配のない町。
60 歳～64 歳	■荒れた田畑が少ない町。 ■今のまま自然豊かに。 ■散策できるところが各集落に整備できたら町民たちの交流にもなる。 ■高齢となれば大山登山ではなく身近に自然を楽しめる環境が欲しい。 ■農村に住んだのは初めてなので、古いけれど大きくて色々工夫して建てた家の造りがおもしろい。新しい技術を取り入れつつ、古い物も大事にしていきたい。 ■自然と共存するまち。将来自然破壊にならないか熟考し開発事業に取り組むまち。 ■地域の自然・美術・資料館とその環境の整備、各館のネットワークの構築をする。例えば、幅広に里山自然地域、森の自然館地域などの地域を設定する。狭めに里山内の小川や池等の水辺の地域、田園の地域、雑木林の地域などに分けて地域を設定する。地域ごとに中心コンセプトと共に共存できる数個のコンセプトを設定する。例えば蝶の舞う庭、カブトムシ、クワガタムシの林、鳥の集う林・森、トンボの池、ホテルの水辺（すでにあると思いますが）、季節の花々に彩られた庭などなど。そして、コンセプトに沿った環境を整備する。例えば、国蝶オオムラサキを誘引するのであれば、エノキとクヌギの雑木林が必要となる。できるだけ大型の施設を作らず、生態系についての重大な変更を行わず、自然環境を活かしつつ、地域ごとにある既存の民家、空き家、施設の一部や全体を補修、改修等して、複数の建物を活用する。設けた建物と敷地内に展示室、体験スペース、休憩、飲食スペース等を設ける。各建物等の案内板、マップ等を充実させ、各建物、庭等をつなぐ、通路、散策路等を自然、美術性を生かしたデザインで整備し、情報を内外に積極的に発信する。
65 歳～69 歳	■海と大山、30 分で移動できることを周知。 ■豊かな自然を守る人が増えることを願います。 ■山林、海岸の維持管理へのある程度の行政の関与が行われている。海岸はもう少し大切にしないで！ ■田畑があり、農業が活気ある、収入もあるまち。 ■豊かな自然を活かしたライフスタイルがあるまち。
70 歳～74 歳	■豊かな自然を活かしたライフスタイルがある町。 ■自然をいかしたものが欲しい。 ■子どもの遊ぶ場面が見えるように。 ■豊かな自然を守っていく町。 ■今の自然を残してほしい。 ■豊かな自然を活かした表現豊かな文化的な町。 ■自然を守る住民の心が醸成したまち。

75 歳以上	■ゴロゴロ石の海岸は浸食されないので余分なブロックは撤去して欲しい。 ■不便だが、豊かな自然を楽しむ町。 ■森林組合がもう少し山の手入れをしてくれて、樹木が育ち売れるような山にしてほしい。 ■大山を中心とした豊かな自然がある環境。 ■家回りに障害物がないと住みやすい。 ■中山地区の方にも自然を生かした観光地が出来たらと思います。 ■開発も良い事だと思いますが、里山を守りましょう。 ■恵まれた自然を大切にするまち。 ■ゴミ収集を継続し、きちんと分別し、山林、田畑の資源を大切にする。 ■孝霊山周辺を検討し、大山に続くトレッキングコース（自然遊歩道）を整備してほしい。 ■太陽光発電、風力発電を促進する町。 ■太陽光発電と所有者のよくわからない土地だらけになっていなかったらいい。 ■空・海・山・川（池）を利用するスポーツが出揃っている休憩所の備蓄。
--------	---

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■大山の自然の魅力を伝える。 ■大山町の魅力を伝える。
25 歳～29 歳	■自然を利用した生活をする。
30 歳～34 歳	■自然の中で暮らす魅力を SNS など活用して発信する。 ■ゴミ拾い等の活動に参加する。大山町の水質や水質保全活動等について調べてみる。水質維持や自然環境の維持について調べてみる。
35 歳～39 歳	■農業振興。 ■まずは、学校の除草作業に参加。 ■自然と共に暮らすことについて考える。 ■自然の中で楽しむ。 ■ゴミを出さない、清掃活動などに参加する。 ■ありがたみを感じて日々過ごす。
40 歳～44 歳	■木や竹を使って京都の嵐山のような竹林のようなきれいな土地にする。チェーンソーを使う。 ■自然に触れること。 ■保全作業への協力。 ■災害への備え、ローリングストックの実践、食材、飲料水の備蓄。 ■休みの日に自然の中で遊ぶ。 ■地域の活動に協力する。 ■アウトドアに親しむ。
45 歳～49 歳	■大山町の自然の素晴らしさを伝える。 ■ゴミ拾い。 ■自然とともに生きる。 ■アウトドアに親しむなど自然活動が苦手だけど、自転車なら自分のライフスタイルに合うと思うので挑戦してみたい。
50 歳～54 歳	■清掃活動（海岸清掃）への参加。 ■大山の魅力、楽しいところを発信していく。 ■田畑の見た目を良くする。 ■ゴミを出さない。 ■大山のすばらしさを知人にも伝えていく。 ■自然を守る。 ■ボランティア活動への参加。 ■歩けば四季を感じる草花があり、田畑を見ればその風景で季節を感じ、空が広く、圧迫感がない風景があり、海があり、山があり、食材が豊富、決して当たり前のことではなく、これが大山町の魅力であること、自分が I ターンで大山町に來た時に感じた魅力をこれからも伝える。 ■通学路等の草刈り。
55 歳～59 歳	■省エネ。 ■農薬や除草剤をできる限り使わないこと。 ■水を大切にする。（川掃除や節水など）
60 歳～64 歳	■ゴミを減らす。 ■自然を守るには放置ではなく、人間が手を入れて管理する事が大事だと知りました。回りの環境を守る事で貢献できればと思う。

65 歳～69 歳	■自然の中で暮らすことの心の安定、一人では生きていけない現実を伝える。 ■不満を持たず、あるもので楽しみながら生きる。 ■ゴミ拾い、近所の空き地の草取り作業。 ■さまざまな保護活動への協力！ ■維持する努力。 ■自然エネルギー、薪、木質バイオマスをエネルギーに取り入れて生活する。
70 歳～74 歳	■できる限り（子供）（孫）を遊ばせるようにする。 ■大山町（田舎）の良さは各々の家庭で守る、都会では作れない緑の景観を大切にしていく。 ■大山町の自然を町外に自慢する。 ■町内の豊かな自然は忘れがたく、子孫に思いを伝えたい。
75 歳以上	■山陰新幹線に反対すること位か。スローライフ、スタイルの街づくり。 ■無理なく、ゆっくりした生活。 ■産業が自然と関係している具体例をあげ、実践例に農水産、工業の発展をあげ、子どもが考えるように努力する。 ■個人的には悩むことあるけど大山があり海があり大山町はとてもよい。 ■知人の焼き物屋があるのですが今はどうなっているのかな。焼き物をされる人が入居されたら、活性化できるのにとおもいましたが。 ■「自然環境を味わうツーリズム」などの可能性が多い。 ■なるべく自然になじむこと。 ■落ち葉、花がら、生ゴミを土に返し、土地を肥やし、おいしい野菜を作ること。 ■現時点で風水害の少ない事には感謝しかない。農地は自然の物であり転用ありきではなく農地がフル活用の姿こそ町の活力結集と住民意識の高さだと私の勝手な言い分ですが思っています。中山間地事業の出勤要請があれば参加します。 ■自然の中で暮らす魅力を伝える。 ■節電に努める、自然を守る。 ■福尾・国信・末吉海岸の大型海のプラスチックを集める。

⑬防犯・防災

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■災害が少ない。 ■まわりが見守っている環境
25 歳～29 歳	■防犯カメラを町に増やして欲しい。 ■災害の少ないところ。
30 歳～34 歳	■災害が少なく、防犯が良いところ。 ■災害・被害が少ないところ。
35 歳～39 歳	■犯罪の少ない町。 ■防災大山町の放送。 ■津波が来ないところ。 ■災害の少ないところ。 ■近所と連携して防犯対策ができるところ。
40 歳～44 歳	■避難所の認知。 ■災害が少ないところ。 ■災害が起きた時に、仕組みができる。 ■犯罪が少ないところ。
45 歳～49 歳	■災害や事件が少ない。何かがあっても安心して暮らせる。 ■犯罪が少ないように見守りしてくださっている所。 ■台風の少ないところ。 ■災害の少ないところ。治安がよいところ
50 歳～54 歳	■災害が少ないところ。 ■比較的安全に暮らせる。 ■町づくりを中心とした防災対策。 ■台風や地震があっても、そこまでひどくならないところ。
55 歳～59 歳	■災害の少ないのが良いですね。 ■災害の少ないところ。 ■各種災害が少なく大きな事にならない。 ■大きな災害が少ないところ。 ■日本人としての礼儀正しさは犯罪の減少と繋がる。災害時にも良い方向になる。 ■TV、メールは場所、時間、食事など、きちんと連絡すること。
60 歳～64 歳	■近隣を思いやる心。 ■夜間防犯の見回りをしてほしい。 ■消防の自衛力がある。 ■自主防災会議の活動の維持。 ■県内でも災害が少ないところ。 ■犯罪や災害が少ない。
65 歳～69 歳	■地域での水路の掃除など。住民主体で草刈り、掃除をするところ。 ■日本国中、災害の多い近年、命を守るシステムを整える。 ■自然災害の少ないところだと思います。 ■大災害が少なく、犯罪も少ないまち。 ■災害の少ないところ。
70 歳～74 歳	■災害がないまち。 ■駐在所の充実を。 ■扇状地系で災害が少ない ■本当に災害の少ない町なのでこのままの姿でいてほしい。 ■朝晩の防災大山町の放送が毎日されているところ。 ■災害が少ないところ。 ■大山さんのお蔭で他地区に比べ本当に災害が少ない。
75 歳以上	■昭和初期のように、家に戸締りをしないでも（夜でも）安心できる町づくり。 ■防犯体制。 ■非常時に素早く行動ができるよう災害に備える力を身に付ける。 ■近所との普段からの何気ない付き合い。 ■隣近所声をかけ合い、防犯、防災にも心強い町。 ■大山のお蔭と思うけど災害が少なくて良い。 ■災害の少ないところ。 ■地震に強いところ。 ■防犯、防災等、危険と思われることに関し今まで通り注意し放送してほしい。 ■大山さんのお蔭でしょうか。日ごろから感謝でいっぱいです。

75 歳以上	■全国的に能登半島をはじめとして自然災害が多発していますが鳥取西部地震でも大山町では被害が少なかった。 ■川掃除、堤の保全、道路端の草刈り。 ■（新聞配達人をパトロール隊員に任命）現在約 40 人が午前 1 時から 6 時の間に町内くまなく回っている彼らに辞令と謝金を払えば日本一の防犯・防災組織ができる。大いに宣伝すれば効果大。
--------	---

【2】 10 年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■シェルター設備。 ■避難所や避難ルートが明確。避難所での体制が整っているまち。 ■防災グッズを町がセットで売ったり、回覧板で情報を回して購入できたりするようにしたい。 ■災害などの際、備蓄や避難所などに困らないまち。町民も日頃から災害対策について考えられるまち。
25 歳～29 歳	■避難所が快適なまち。 ■避難所の拡充。 ■空き家や空き地の管理体制を強化すること。
30 歳～34 歳	■もしもに備える体制や避難所があるまちと防犯設備も充実しているまち。
35 歳～39 歳	■観光客の来ない町。 ■自治会の付き合いが減っているように思う。もしもの時のために日頃から顔を合わせるようになると良いと思う。 ■もしもに備える知識の勉強会やパンフレット充実。 ■避難所のリフォーム（老朽化対策）。 ■もしもに備える体制や避難所があるまち。 ■もしもの体制が整っている町。 ■犯罪が依然として少ない。 ■シェルターの確立。 ■災害時でも協力し合い、困る人がいないまち。 ■昔のような家に鍵をしないは言い過ぎですが、治安は維持してほしいです。
40 歳～44 歳	■防犯カメラの補助。ほとんどつけてる家がないので皆で一斉につけるようにする。 ■わかりやすい避難経路が示してあり、みんなが意識をもって動ける。 ■避難所までの送迎。 ■いざという時に気楽に避難できる場所のある町。 ■子どもたちが、地域とのつながりを感じられるまち。 ■身近な人同士が挨拶しあえる日常的な細く長いコミュニケーションが多くあるとよいと思います。 ■災害対策が整ったまち。 ■防災拠点。 ■災害に強いまち。 ■犯罪のないまち。
45 歳～49 歳	■災害が起きた時に強いまち。 ■日頃から意識をもって生活する。 ■がけ崩れの整備をして欲しい。 ■大山町民が安全で色々備えたものがある町に。 ■災害に強い町。 ■もしもの時に安心できる町。
50 歳～54 歳	■災害時、安心してしのげるまちの仕組み。 ■災害リスクに対応できる町。 ■減災対策のできる町づくり。 ■避難所の整備がしてある。 ■整備された避難所と助け合いの体制と、何があれば、どこに行けばよいかを町民のほとんどが理解しているまち。
55 歳～59 歳	■もしもに備える体制や避難所があり、防犯意識が高い人が多いまち。（年寄りも）。 ■もっと身近に避難所などを利活用できる、集落の公民館への備蓄。 ■自分や自分の家族だけでなく近隣の人を誰もが気にしている心を持っていること。 ■駅、駐車場など、防犯カメラを整備。

60 歳～64 歳	■安心して暮らせるまち。 ■河川管理、がけ崩れ等の対策は必須。 ■非常食などに困らない、避難所があるまち。 ■このまま安全な暮らしが続く。
65 歳～69 歳	■非常食など災害時に持ち出すことが老人には無理だと思う。 ■各集落の寄合で災害に備える話し合いができる。 ■大災害が少ない場所との広報と、それでもしっかり防災活動をしていることの両面。 ■災害、特に水害のない町。 ■もしもに備える体制や避難所があるまち。
70 歳～74 歳	■公民館があるので活用できる体制にして欲しい。 ■防災無線の定期的試験がありますが、このとき、職員はまさか机に座ってはおられないと思いますが、そのとき何をしておられるか聞いてみたい。ただ試験放送をするだけ（目的が何か？）では意味がないと思われます。場所によっては聞こえにくい等、確認が必要と思われますが？ ■沿岸部にある防災体制が整った町。 ■万が一に備えて、近所の人と仲良く災害があった時は助け合いたい。 ■災害対策がしっかり出来ているまち。 ■危険場所を明確にして防止策が万全な町。
75 歳以上	■水田の水。場所によって極端に少ないところもある。もっとため池の整備をすすめてらどうか。防災のでも。 ■各指定の避難所に水や食料品の備蓄。 ■もしもに備える体制や避難所がある。 ■防犯防災は地域で違うので、いつもいざという時に備えるように、家庭、地域の人々が良く話し合って考え、それを子供にどうするか考えさせる。 ■坂が多いと避難所が近くにあればよいと思う。 ■地区ごとに避難所を作り備蓄庫を作ったと思います。 ■各集落に防犯カメラを設置して欲しい。 ■居場所があって、仲間が出来て、健康で、得意分野でなんとなくボランティアをやっているところ。 ■予測はできないが地震と島根原発事故に備え、万が一の避難ルートやシェルターなどは大袈裟ですか。 ■大山町を災害の少ない町として売り出し移住定住、産業の誘致を促進していただきたい。 ■防犯災害のない町。 ■ボランティアの受け入れ体制、避難所の改革。

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■避難所や避難ルートを確認。 ■防災グッズの常備。 ■身近な人と災害対策について話し合う。
25 歳～29 歳	■避難経路について知る。 ■どこに AED が町の中で設置されているかわからないので、把握する。
30 歳～34 歳	■身近な人とハザードマップや避難経路を確認する。
35 歳～39 歳	■もしもに備えるライフスキルの勉強。 ■身近な人とハザードマップや避難経路を確認する。 ■災害用品の備蓄。 ■普段から災害に備えて準備をしておく。 ■近所づきあいをする。
40 歳～44 歳	■食料備蓄する日頃から。スマホバッテリー切れないようソーラー充電器購入。 ■普段から避難場所等家族で話す。 ■家族での共有。 ■防災訓練への参加。 ■地域の行事への積極的な参加。 ■ご近所さんに出会ったときの挨拶やちょっとした会話。 ■防災士の資格をとっているので、いかす。 ■協力出来ることはする。 ■コミュニティをしっかりと保つ。
45 歳～49 歳	■災害への備え。 ■地域の人がつながっているところ。

45 歳～49 歳	■各学校、大山町全体で避難訓練をする。 ■子どもともしもの時の集合場所の話をする。もしもの時の話を普段から話題にする。アウトドア（キャンプ）などやってみることでもしもの時にやれるようにする。
50 歳～54 歳	■防災対策への協力。 ■近隣との地域の情報交換。 ■地域等で訓練を行い、参加する。
55 歳～59 歳	■災害が少ないからと油断せず、日々家族地域の人々と話すこと。 ■災害時は高齢者のお宅を回ってみる。
60 歳～64 歳	■夜は出歩かない。 ■自主防災活動への参加。 ■避難経路の確認。 ■関東では農作物の盗難もあり、自宅付近も外国人の空き巣が多発していたが、老人会と子供会と協力して防犯パトロールをする事で警察署も協力していただき、犯罪が激減した。安全を守る意識を保っていきます。
65 歳～69 歳	■体力づくり。 ■集落の人と仲良く助け合う。 ■少しの異常や違和感が無いか注意して生活をする。 ■真剣で計画的な防災訓練の実施。 ■身近な人とハザードマップや避難経路を確認する。 ■身近な人（家族、地域）とハザードマップや避難所を確認する。
70 歳～74 歳	■地域の活動に参加し、皆で訓練する。 ■もしもの時に避難経路を確認する。 ■ハザードマップを地域内で共有。
75 歳以上	■自治体等が開催する避難行事への参加。 ■身近な人達にまさかの時の居場所を事前に話して伝えておく。 ■最と確認を広めたら良い。 ■日ごろから身近な人と会話をし、いざという時に一緒に避難したい。 ■ハザードマップも避難経路も確認など何もできていません。 ■災害時の訓練に参加。 ■緊急避難の必要な一人暮らしの人を日頃から見守る。

⑭地域自主組織

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■ チャレンジできる場を用意してくれているところ。 ■ 地域の一体化。 ■ 町のため住民のために活動してくださる方が多いところ。
25 歳～29 歳	■ 地域活動に参加してるところ。
30 歳～34 歳	■ 住民が地域で頑張っているところ。
35 歳～39 歳	■ ふれあいの郷かあらやま。 ■ 複数の自主組織が活動されていて、繋がりが増えている。 ■ なわほか、新しい活動をみんなで楽しんでいるところ。 ■ のびのび。 ■ 住民が地域で頑張っているところ。 ■ 地域での活動が多い。 ■ 各地域で様々な活動をして地域を盛り上げるために頑張っておられるところ。 ■ 補助金もらって何やってんのって皆言っています。
40 歳～44 歳	■ いつでも誰でも参加できるところ。 ■ これまでの活動でできたつながり。 ■ 若者の参画。 ■ 地域で様々なコミュニケーションを取って活動している。 ■ 自主的な活動をするところ。
45 歳～49 歳	■ 近所で気さくに声かけられる。 ■ 補助金の利用についての透明化。 ■ 年寄りが頑張っているところ。 ■ 各地域自主組織でいろいろな活動があって楽しい。元気な人たちが先頭になって活動しているところ。
50 歳～54 歳	■ 住民が主体性を持って取り組んでいるところ。 ■ 地域の人達で今現在続いている行事を続けてほしい。 ■ 各自治会の活性化。 ■ 自主組織の活動への参加が増えて賑やかな町になること。 ■ それぞれで取り組みを行い、組織の認知度をあげようと努力しているところ。
55 歳～59 歳	■ 中山間の取り組みがしっかりしている。
60 歳～64 歳	■ 地域で運動会などの取り組み。 ■ 地域の強いつながり。 ■ 自主組織はがんばっているが、会費や労力の負担が大きい。 ■ 西坪中山間地の会の継続。 ■ 今年初めてお祭りの手伝いに参加させていただき、沢山の人が協力している姿を見てすばらしいと思いました。
65 歳～69 歳	■ とりあえず住民の顔がわかること。 ■ 川そうじ、自井手作業、清水そうじ、堤そうじ。 ■ 住民主体で動くことができる。 ■ 各地域の素晴らしい頑張り。 ■ 村の行事を大切にしているところ。（例えば まんどい） ■ 住民が地域で頑張っているところ。 ■ 地域で共同作業をしていること。 ■ 住民が掃除等で地域維持に頑張っている。年々高齢化が多くなり参加者が減っている。 ■ 住民が地域で頑張っているところ。
70 歳～74 歳	■ 地域で頑張っている。 ■ 力をつけた自主組織はあるが、イベント開催だけとしか思えない組織もあり不安な面があるが？ ■ 地域自主組織が整っているところ。 ■ 交流の場、見回り、お助け、子供の成長支援。 ■ 自治会のルールに沿って行事など行っている、このことは将来も続けてほしい。
75 歳以上	■ もっと農業関係で頑張ってもらいたい。田植え、八手かけ等。 ■ 大山地区頑張りたい。 ■ 自主組織に具体的な提案をすることも大切。 ■ 日頃の付き合い（気さくに話し合える）。

75 歳以上	■地域それぞれの特色の中で、地域にできるつながりや活動をしているところ。 ■上中山「甲かわ」（保育園の跡地）に頑張っておられるので残していただきたいところ。 ■見守ること。 ■地域で頑張っていること。 ■住民が地域で頑張っているところ。 ■防災訓練や伝健地区の保存会。 ■現在の組織に町から一人派遣。（転員のいないところへ）
--------	--

【2】10年後の大山町の将来像（こうなっていきたいまちの姿）

18 歳～24 歳	■手伝えることはやる。 ■若者が増える、参加しているまち。 ■負担にならない範囲で人と人との繋がりがあり助け合えるまち。
25 歳～29 歳	■地域別に困っていることを解決する。
30 歳～34 歳	■地域の困りごとが解決できるまち。
35 歳～39 歳	■若い人たちの参加が増えると良いと思う。 ■お年寄りも体が弱い人も働き盛りの人も、親も子も大切にしたいまち。 ■楽しいイベントが盛りだくさんなまち。 ■強制参加ではなく、自主的に参加したいと思える活動をするまち。 ■地域だのみの解決だけでなく、町として行うこと。 ■地域の人たちで協力したり、一緒に楽しめたりするまち。 ■トップダウンでなくボトムアップ型の地域の「権力」振りかざすものでなく地域住民が作り出す力。
40 歳～44 歳	■たくさんの方が自主的に活動できる町。 ■もう少しきめ細やかな活動ができればよいと思う。 ■対応力のあるまち。 ■強い地域。 ■役場より頼りにされる自主組織。
45 歳～49 歳	■一部の人しか参加できてないイメージが強く、全員が利用できる物を。 ■地域の人とコミュニケーションをとる。 ■困りごとを解決するには高齢すぎる…。 ■年齢関係なく働ける町。 ■地域が活性化されているといいな。 ■集落でできない活動を地域自主組織でしていけること。高齢者が安心して暮らせる町。
50 歳～54 歳	■地域の方が会話するまち。 ■地域のつながりを大切にしていける町。 ■各自治会の集約。 ■いろんな相談がしやすい町。 ■多くの方が組織になんらかの関わりを持ち、集落では難しくなっていることを補完できる組織があるまち。
55 歳～59 歳	■協力しあえるまち。 ■村の人が比較的仲良し。
60 歳～64 歳	■担い手の高齢化、少子化が解消されている。 ■困りごとが誰でも相談できるまち。 ■地域に子供が育ち、伝統行事が存在できるように。 ■村の集会所が定期的にあり、協力体制が出来ていると思う。存続して欲しい。
65 歳～69 歳	■老人が多くなるが、住むのに苦労しないまち。 ■住民同士がつながることで、パイプが出来、話し合いが可能になる。 ■現状維持ができるだけで十分だが、行政の力入れももっとしっかり行うことが当然の状況。 ■お隣さん同士、仲良く暮らせる町。 ■過疎集落になれば維持することが困難になる。 ■地域の困りごとが解決できる町。
70 歳～74 歳	■地域の困りごとが解決できるまち。 ■買い物難民ができないようにして欲しい。 ■地域自主組織間の相互交流。 ■地域の人たちのよりどころになる場所。 ■自治会運営をスムーズにできるよう皆が参加、協力してほしい。

75 歳以上	■ 自助、共助、公助がさげばれているが、個人情報保護の法律が妨げになっている。 ■ いろいろなことに努力している。 ■ 自主組織に具体的に苦情を持ち込んで問題があることを訴える。 ■ 普段からの話し合える風習。 ■ 家庭が中心で話し合い、そして地域の人々と細かく具体的に話し合い、また子どもの目線で考えてみる。 ■ 集落だけでできないことを地域でやる試み。 ■ 是非地域の困りごとが解決できるまちであって欲しい。 ■ 地域の困りごとが解決できるまち。 ■ 現在のまま心穏やかに暮らせる町。 ■ 高齢者だけの組織でなく、住民と関係者も協力できるようになってほしい ■ 一人一人の困りごとや疑問を役場に行き問い合わせ、本人に届ける。こういう町会役員を育てたい。
--------	--

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■ 住民に関わりを持てるまち。 ■ 地域の活動に積極的に参加する。
25 歳～29 歳	■ 地域活動に参加する。
30 歳～34 歳	■ 地域の活動になるべく参加して、関心を深める。
35 歳～39 歳	■ イベントへ参加。 ■ 地域ごとの活動に関心を持ち参加してみる。 ■ イベントに参加する。 ■ 地域の活動に関心を持つ。 ■ 地域活動に参加。 ■ 地域の活動に参加する。 ■ 地域住民が活動できる場をつくる。
40 歳～44 歳	■ 地域活動に参加。 ■ 可能な限り活動に参加。 ■ 地域自主組織の活動について見直す。 ■ 地域の方との交流。 ■ 活動になるべく参加する。 ■ 活動に協力する。
45 歳～49 歳	■ イベントなどに出るところ。 ■ 地域の活動に参加する。周りの人のことも気に掛ける。
50 歳～54 歳	■ できれば参加する。 ■ 自分なりに地域の行事や出来事に関心を持ち続けたい。 ■ 組織への協力。 ■ ボランティア活動への参加。 ■ イベントの手伝いや草刈り等、可能な限り参加する。
55 歳～59 歳	■ 協力して参加していく。
60 歳～64 歳	■ 関心を持ち参加してみる、人間関係を作る（個々の人と）。 ■ 色々と人に相談する。 ■ 西坪中山間地の会への参画。 ■ 地域にある風習のようなものは、周りに聞きながら守っていく。
65 歳～69 歳	■ 地域の仲間作り。 ■ 地域活動に楽しんで参加する。 ■ 何かで支える一因になりたい。 ■ 広報等、町からの便りを読み町のことを知る。 ■ 現状を維持する。 ■ 地域活動に参加する。 ■ 地域の活動に関心を持ち参加する。
70 歳～74 歳	■ 関心を持って地域活動に参加する。体調が良ければ。 ■ 地域活動に出来る限り参加すること。 ■ 活動に参加、提案、意見。 ■ 自治会運営に協力する。
75 歳以上	■ いろいろな行事に参加すること。 ■ 自主組織に参加をする。 ■ 地域のイベントに協力し、参加する。

75 歳以上	■地域の活動に関心を持つことは大事なと思う。 ■コロナ以降活動が年々減っていくことがない様に集落で話し合い活動する。 ■公民館活用に参加すること。 ■公共的なイベントに参加します。（今まで海岸清掃をしています） ■個人情報も大切だが思いやりを持って付き合う。 ■現在地域自主組織に参加していますが今後も少しでも応援したい。 ■いろんな行事などに協力する。 ■妻木晩田ボランティアガイド26年間やっている。身近なボランティアにも参加する。
--------	---

⑮住民参画

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

18 歳～24 歳	■住民一人一人が町づくりにかかわるまち。 ■情報を知りたいときに自ら求めることができるところ。インターネットや広報、議会の観覧/配信等。テゴテゴプロジェクトなど中高生も町への要望を出したり関心を持ったりすることができるところ。
25 歳～29 歳	■住民が関わり合えるまち。
30 歳～34 歳	■住民が関わりを持てるまちづくりであること。
35 歳～39 歳	■住民が関わりを持てるまちづくりであるところ。 ■公民館等での催しもの。 ■今回のようなアンケート。
40 歳～44 歳	■参画できる場面が多い。 ■選挙の改善。 ■役場との距離感が近いところ。
45 歳～49 歳	■自分達、部落で考えて動いているところ。 ■まちに意見を伝えることができる仕組みがあること。（ホームページや町長への手紙や議会、職員、町長に言いやすい）
50 歳～54 歳	■地域活動が盛んなところ。 ■地域のためになる提案。
55 歳～59 歳	■住民がいろいろ参加できるイベントがある。 ■住民の関りがあるところ。
60 歳～64 歳	■色々なイベントに参加する。 ■文化祭、マルシェ等のイベント。 ■西坪まつりの継続。 ■農業は重労働なので自然に協力し合っているように思う。 ■「中学生の議会参加」のように次世代の声を町政に活かそうと考え実践しているところ。
65 歳～69 歳	■子供達から大人まで笑顔で話しかけられる。 ■住民を動かすには、まず大山町が動かなければいけない。 ■積極的に村、まちへの貢献ができる人が多いまち。 ■町づくりの前に、部落民の助け合いが必要。 ■住民が関りを持てるまちづくりがあるところ。
70 歳～74 歳	■住民が関わりを持てるまちづくり。 ■文化祭、スポーツ大会、その他町民行事。（昔、部落対抗野球大会に多くの人が応援見学） ■自治会の集まりが問題解決の場になっている。
75 歳以上	■議会報大変良くできている。 ■広報や放送で流される情報を基に参加してみる。 ■質のよいリーダーづくり。 ■町外から移動移住者が町内の具体的な活動を良く知ることができ、積極的に参加できること。 ■もっと積極的になってよいと思う。 ■「住民参加」は大切であるが、古い体制を変えないと実現できないのではないかとされる。 ■井出掃除。 ■身近な所子重伝建地区の所子町並み保存会での保存活動をしています。また、今夏久し振りに盆踊りを開催して大いに賑わいました。 ■住民が関わりを持てるまちづくりであること。 ■人柄、風景、空気の良いところ。

【2】10年後の大山町の将来像（こうなってほしいまちの姿）

18 歳～24 歳	■みんなで作るという意識であふれているまち。 ■誰でも参加しやすい。一回きりあり。 ■まちづくりへの意見を出しやすく、町民の意見が反映されるまち。
-----------	---

25 歳～29 歳	■住民と関わる中でのプライバシーに気をつけたまち。
30 歳～34 歳	■まちづくりに関わる一人だと実感できるまち。多様な協力パートナーで世代間交流が促進しまちづくりの力になるまち。
35 歳～39 歳	■まちづくりに関わる一人だと実感できるまち。 ■一部の声の大きい人たちだけでなく、素晴らしいスキルを持った住人たちが実はたくさんいる。そんな人たちも活躍できる町。
40 歳～44 歳	■参画した人が満足できる活動が多い町。 ■みんなが参加しやすいまちづくりのまち。 ■関心のある取り組み。 ■議論を活性化させる。 ■意見や提案がしやすいまち。 ■子ども食堂や住まいなど、弱者でも暮らしていける制度。
45 歳～49 歳	■若者の声が町政に反映される町。 ■年齢関係なく動ける町。 ■大山町民としての意識を高めることができればよい。 ■これからも、もしもの時に意見を言える町であってほしい。
50 歳～54 歳	■町民一人一人が町づくりに協力。 ■犯罪のない町。災害のない町になればいい。 ■まちづくりに関わる提案が実現できるまち。
55 歳～59 歳	■言いたい事、意見を言えるまち。 ■より多くの住民が町のイベントに参加している。 ■みんなが顔見知りであること。
60 歳～64 歳	■今より積極的に色々なイベントがあるまち。 ■農業が存続しているまち。
65 歳～69 歳	■10 年も 20 年もこの大地に生きるというメッセージの発信。 ■事なかれ主義を捨てる。 ■皆が喜んで参加したくなるような、村、まちへのかかわり、体制の構築。 ■まちづくりに関わる一人だと実感できるまち。
70 歳～74 歳	■まちづくりに関わる一人だと実感できるまち。 ■まちづくりに参加できるだけの余裕のある生活ができる町。 ■町全体が一つになっていると実感できる町。 ■自治会の集まりに参加してほしい。
75 歳以上	■チャレンジできる町であることを自ら実践してみる。 ■なんでもものの言える、聞いてもらえる町。 ■半分くらいはまちづくりに関わる一員だと思っている。 ■皆で意見を出し合って協力すること。 ■賑わったといっても住民の一部にすぎず「自治会の行事」なので 10 年後にはもっと多くの住民に関わってもらえるようにしたい。 ■まちづくりに関わる一人だと実感できるまち。 ■移住の条件の良さをもつとアピールする。 ■百人委員会の設置、ボトムアップ方式による町の将来を決める。

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

18 歳～24 歳	■暮らしているまちとして関心を持ち続ける。
25 歳～29 歳	■まちに興味関心をもつ。
30 歳～34 歳	■まちで起こっていることに関心を持つ。世代間交流がはかどるようなことを企画してみる。
35 歳～39 歳	■まちで起こっていることに関心をもつ。 ■一部の声の大きい人たちだけでなく、素晴らしいスキルを持った住民も活動できる場を作る。
40 歳～44 歳	■可能な限り参画して意見を言う。 ■地域のことに関心を持つ。 ■地域に関心を持つ。 ■役場と住民の関係がよくなるようにする。
45 歳～49 歳	■イベントなどに出ること。 ■町で起こっていることに関心を持つ。議会中継を YouTube で見たところ、選挙に関心はなかったけどこれからは選挙に行こうと思った。

50 歳～54 歳	■町づくりへの関心をもつ。 ■ボランティア活動への参加。 ■まちに関心を持ち、かつ勉強する。
55 歳～59 歳	■言いたい事、意見を言えるまち。 ■より多くの住民が町のイベントに参加している。 ■みんなが顔見知りであること。
60 歳～64 歳	■色々なイベントへ参加する。 ■まちで起こっていることに関心を持ち続けたい。 ■西坪まつりへの参画。 ■農業の技術を身に付ける。
65 歳～69 歳	■気が付いたことに関心、疑問を持ち、出来ることを行動に移す。 ■自立して生きる。 ■片隅での応援。 ■まちで起こっていることに関心をもち、行動をする。
70 歳～74 歳	■あまりないように思います。 ■活躍する人、団体を応援するまち。
75 歳以上	■超高齢になると難しい。 ■町内のことに関心を持ち、ニュースで知ったり、話し合いに参加したりする。 ■大事なことで私も、もっと関心を持たなくてはと思う。 ■決まったことは守り協力すること。 ■町全体のことにも関心を持つべきですが、身近（自治会）な事を中心に関心を持ちたいと思います。 ■口コミで大山の良さをアピールする。 ■百人委員会の設立に宣伝活動をする。

⑩その他

【1】大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）

35 歳～39 歳	■きれいな海、きれいな田んぼ、きれいな川、大山は大事にしたい。 ■みんなこの町が好きという気持ち
40 歳～44 歳	■助け合い。 ■良き伝統を引き継ぐために。
45 歳～49 歳	■大山町は自然豊かで子育てしやすい、歴史、自然を残したい。
50 歳～54 歳	■子どもの笑顔。 ■大山町の自然文化。 ■差別がなく、犯罪のない町にさらにしてほしい。 ■地域の行事になれば、参加して協力しようとする人がそれなりにいること。
60 歳～64 歳	■水（水道） ■大山のスキー場、自然、登山、大山寺の参道をずーっと残したい。 ■夜空 星が見える鳥取県のはずが大山町の道路の街灯が明るすぎて目がくらんで運転しにくく逆に危うい。遠くからも見えて星なんか見えない。真下の足元だけ照らせばいい。せめて電球のかさを深くして下だけ照らして。 ■基本的に大山町は、米子、松江方面、倉吉方面へのベッドタウンである。 ■老人福祉充実。 ■健康寿命の長さはすばらしいと思います。母の世代が都会では煙たがられ、肩身の狭い思いをするけれど、こちらでは主戦力で堂々と働いておられる。計画的に仕事をするため、頭もしっかりしている。
65 歳～69 歳	■県外の人を大山町に連れてくると、大山、海なんと素晴らしい、きれいなところと驚かれます。このきれいさ、すばらしさを全国に全世界に向けて発信すべき。発信がなさすぎるのでしょう。（山陰の人特有かな？） ■温泉施設（ナスパル）、木料海岸、各地区のおすすめスポット、上中山プール、大山寺神社。 ■海岸遊歩道の整備による賑わいの創出。逢坂港から豊成港（下木料）から御来屋漁港の間で整備し、人々の海辺での憩いの場とする。（散歩やサイクリング、宿泊施設の整備も含む） ■部落で協議し、村人で部落を維持している。今後も。
70 歳～74 歳	■名和神社など町も手助けして、観光客を増やして欲しい。 ■大山さんがこれからも美しい希望の持てる山でありますように。
75 歳以上	■鳥取県に大山町ありということをさらに県下に知らしめる必要があると日頃から感じている。 ■自然が多く生きられる町。 ■阿弥陀川沿いの桜並木。雑草の中に桜の木が立っている。手入れが行き届かず痛々しい。花は見事！ ■史跡を大切に（美観）を管理。 ■ことぶき学級。 ■町放送で防災、火災の放送を聞き、注意して生活することができること。 ■観光大山、風景、水。

【2】10年後の大山町の将来像（こうなってほしいまちの姿）

35 歳～39 歳	■大雪の際の通学路の確保をもっと良い具合になるように力を入れてもらいたい。 ■生まれてくる子、やってくる人も同じ気持ち。
40 歳～44 歳	■どうにかなるさと安心して過ごせるまち、何かあれば相談しやすいまち。 ■幸せを感じるまち。
45 歳～49 歳	■大山の魅力、ブランドをもっと県外にアピールし認知度を高める。 ■少人数にたくさん税金を使ってアメリカ行かなくても、平等にレベル上げる方法ある。
50 歳～54 歳	■人と人とのつながりが温かくて、農業が大切にされている町。 ■観光の発展した町。 ■一人でも二人でも一旦都会に出た子供が帰ってきて、そこに暮らし、地域の行事に参加するまち。

55 歳～59 歳	■耕作放棄地を管理一元化してほしい。 ■食料自給率が高く農家。が高収益で 100 年、200 年先も安泰と思えるようになっていくこと。
60 歳～64 歳	■逆に、米子方面からの身近なリゾートとして特長を生かしてほしい。 ■若いうちだと華やかさに欠け。仕事もないため、戻ってくる事が出来ないけれど、定年まで都会で働き年金がある程度見込めれば、米、野菜を作って自給し、健康な老後を過ごせる事をアピールして人口減少を防ぐ。
65 歳～69 歳	■米作りをしたい人、やめたい人、その橋渡しができるようなシステムがあったら良い。 ■10 年後の自分自身に危機感を感じているので（家、墓、寺、家族の事）自分自身の事に目を向けてばかりで、大山町の事には考える余裕がありません。住んでる町がよくなってくれればうれしいです。 ■海釣りなどのマリンレジャー（遊漁船等の利用など）を今後検討し発展させてはどうでしょうか？ ■オンラインでの申請可能な分野を増やしてほしい。高齢者がデジタル環境を受け入れ、各手続きのスムーズ化が実施されてほしい。デジタルと昔ながらの雰囲気や情緒をほどよくバランスさせたまち。
70 歳～74 歳	■町の玄関である名和駅をきれいにし、寄ってみたいと思える所にしたい。 ■一人暮らしでも、相談にのってもらえるやさしいまち。子供が今より沢山いるまち。
75 歳以上	■日本で一番多国籍の人の多い町、差別のない町。 ■その方策をもっと研究して欲しい。 ■大山町内外の連携をさらに進め、住民参画を積極化する。 ■若者が地元で暮らせる町になって欲しいです。 ■安価な建材の建売住宅は一掃され、空き家を回収した家々が並ぶ地区であって欲しい。 ■大山町の景観。（大山に入るものから入山料をもらう） ■公害による健康被害のないよう安心して暮らせるまち。 ■観光事業の拡大、若者の誘致。

【3】思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

30 歳～34 歳	■大山町の面白い政策や有用な政策について調べてみる。他の地方自治体の移住者増加の成功例や有用な政策について調べてみる。
35 歳～39 歳	■そんなみんなが活動できる場をつくる。
40 歳～44 歳	■そこまでの経験をまちに還元する。町長になる。
50 歳～54 歳	■病気にならず、認知症もならず、人の為にちょっとでも動けること。 ■ボランティア活動への参加。 ■地域の行事に準備から積極的に関わる。
55 歳～59 歳	■美味しいキノコ栽培で皆が高収益を得られる構造を構築したい。キノコ栽培には木が必要だから山にも手が入る。キノコの生産設備には資金が必要だからまだできませんが退職後に小規模から始めたいと思っています。
60 歳～64 歳	■海、山、川、きれいなまま残していきたいですね。ゴミ拾いゲーム（スポーツゴミ拾いとかありますよね）なかなか難しいですが…。 ■できるだけ町内で買い物や飲食をしたい。 ■自分自身が地元の問題なく暮らしていくことが大事だと思う。
65 歳～69 歳	■ボランティアで自分のできることはしている。例えば、食事を出して、家の修理をしてもらうなど。お互い様で補いあいのやり方。
75 歳以上	■高齢、少子化の中、大山町だけの問題ではないが、アジア、中国の若い有能な若者の定住を増やして欲しい。 ■年齢的にあと 10 年は出来ないが、今できる範囲でのコミュニケーション作り、人との触れ合い場作りを実践している。 ■お金が出せる（50～100 万）、母親が他界し遺産相続したので、公共空間をきれいにしたい。文化（本、映画 等）図書、音楽空間も充実させたい。 ■新聞、テレビ、ラジオで得た知識を実行し、郊外のない、健康で安心出来る生活を送ること。 ■大山の良さを口コミにより PR する。